DIGITAL PIANO
ES7
取扱説明書

このたびは、KAWAIデジタルピアノES7をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本楽器を存分にお楽しみいただき、末長くご愛用いただくためにも、この取り扱い説明書をよくお読みいただき、たいせつに保管くださいますようお願い致します。

■ 付属品（お確かめください）

☐　保証書
☐　取扱説明書（本書）
☐　カワイデジタルピアノ　ユーザー登録のご案内
☐　アフターサービスと音楽教室のご案内
☐　ACアダプター（PS-154）
☐　フットペダル（F-10H）
☐　譜面立て
（全て数量1）

■ 取扱説明書について

はじめに、取扱説明書（本書）の「ご使用前の準備」（10ページ）からお読みください。各部の名称と機能や、電源コードの接続や電源の入れ方を説明しています。
取扱説明書では、ES7をすぐお使いできるよう基本的な演奏ガイドから、様々な機能を使いこなすための操作まで説明しています。

■ 表記について

この取扱説明書では、操作方法を簡潔に説明するために［　］で囲まれた文字はボタン名を表し、“［PIANO1］ボタン”のように表記しています。

また、ボタンの長押しや同時押しなどの押し方の違いはイラストを用いて表されます。ボタンの点灯/消灯状態や押し方の例を下記に示します。

ボタンの点灯/消灯状態

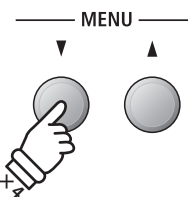
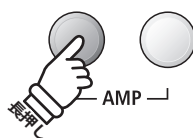
消灯：
音色や機能は選ばれていません。

点灯：
音色や機能が選ばれています。

点滅：
音色や機能の特殊な状態が選ばれています。

ボタンの押し方

ボタンを押す：
音色や設定を選びます。

ボタンを2回押す：
音色や設定を、2つ進めたり戻したりします。

ボタンを複数回押す：
音色や設定を選びます。

ボタンを長押しする：
主にエフェクト等の各ボタンの設定に入る操作です。

ボタンを押しながら、
他のボタンを押す：
主に音色を重ねるときの操作です。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。

■ 本体に表示されているマークについて

製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

注　意
感電の危険あり
本体をあけるな

注意：感電防止のため本体の内部を開けないでください。機器の内部にはお客様が修理／交換出来る部品はありません。点検や修理は必ずお買い求めいただいた販売店または同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」にある、お近くの弊社フィールドサポート担当までご依頼ください。

このマークは感電の危険があることを警告しています。

このマークは注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

■ 警告と注意、記号表示について

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。

●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。

⚠警告

100V以外禁止

電源は必ずAC100Vを使う

電圧の異なる電源を使用しないでください。発火のおそれがあります。

専用コード使用

付属の電源コードは本機でのみ使用する

付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。

コードを
傷つけない

電源コードは無理に曲げたり、重いものを乗せたり、熱いものを近づけたり、傷つけたりしない

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

本機を分解、修理、改造しない

故障・感電・ショートのおそれがあります。

この機器の上に花瓶等の液体の物を置いたり、水にぬれるような使い方をしたりしない

故障・感電・発火の原因になります。

水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

照明用のロウソクなどの裸の火を機器の上に置かない。

火災のおそれがあります。

異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く

本機の内部に異物を入れないようにする

水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

本機を落としたり、強い衝撃を加えない

怪我および破損の恐れがあります。

電源は必ず付属のACアダプターを使用する

付属のACアダプターは本機専用ですので他の機器で使用しないでください。

ACアダプターに布団をかぶせたり、こたつの中で使用しない

使用禁止

本機を次のような所では使用しない

- 窓際など直射日光の当たる場所
- 暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
- 戸外など極端に温度の低い場所
- 極端に湿度の高い場所
- 砂やホコリの多い場所
- 振動の多い場所

故障の原因になります。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

落雷の恐れのある時や長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く

感電・火災及び故障の原因になるおそれがあります。

熱がこもらないような場所に置く

正常な通気が確保できるところに設置してください。

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

本機や接続機器の故障の原因になります。

設置作業や移動作業は必ず2人で行い、取り扱いに十分注意する

重量物のため、本機を移動するときは水平に持ち上げるようにし、手をはさんだり、足の上に落とさないよう十分注意してください。

本機の上に乗ったり、重いものを乗せたりしない

変形したり、倒れるおそれがあり、故障やけがの原因になります。

電源プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておく

ACアダプターは電源スイッチを切った状態でも主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に遮断するためには、電源プラグを抜いてください。プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておいてください。

不安定な場所に置かない

怪我や破損のおそれがあります。

ヘッドホンは大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になる恐れがあります。

■ お手入れについて

本体	乾いた柔らかい布で拭いてください。
ペダル	表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。サビ落し用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。
ベンジンやシンナーで本機を拭かない	色落ちや、変形の原因になります。清掃するときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

＊お手入れの際は、電源コードを抜くこと。

■ 保証書について

本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

■ 修理について

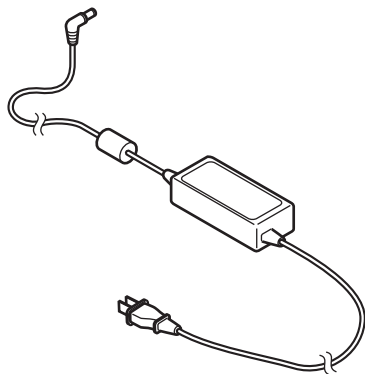
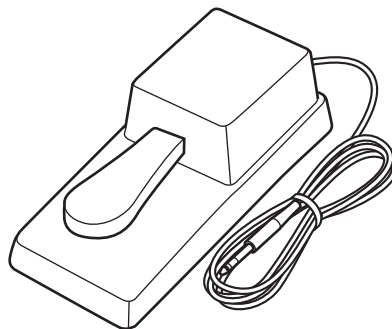
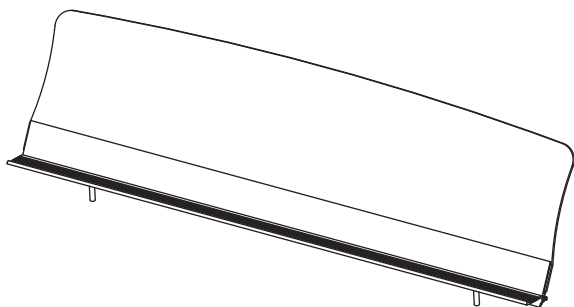
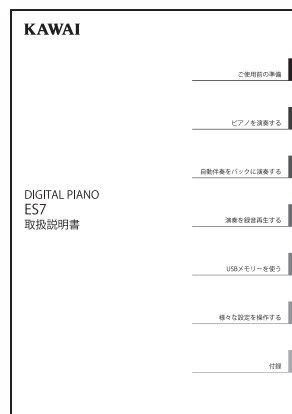
万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。弊社連絡先は取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

目次

付録

はじめに

1 付属品一覧

■ ACアダプター（PS-154）

■ フットペダル（F-10H）

■ 譜面立て

■ 取扱説明書（本書）

■ 保証書

■ カワイデジタルピアノ　ユーザー登録のご案内

■ アフターサービスと音楽教室のご案内

2 本製品の特徴

本格的なピアノタッチを実現

弱打から強打まで繊細な表現が可能なグランドピアノに近い弾き心地と優れた連打性能を備えたレスポンシブ・ハンマー・アクション2（RH2）鍵盤を搭載。さらに、優れた吸湿性と象牙の風合いを備えた象牙調仕上げ（アイボリータッチ）により、汗がついても滑りにくく心地よいタッチの感触が得られます。また、弱く弾いたときに感じられるアコースティックピアノ特有のクリック感を再現するレットオフフィールも搭載、細やかなタッチの感触まで余すことなく再現します。

カワイフルコンサートピアノEXの響板や弦の響きを忠実に再現

ES7は、世界最高峰のピアノコンクールであるショパン国際ピアノコンクールで実際に使用したカワイコンサートグランドピアノEXの音を、88個の鍵盤一つ一つについて様々な強さで丁寧に録音した、『プログレッシブハーモニックイメージング（PHI）音源』により、弱打から強打まで従来の電子ピアノを凌駕する表現力を備えました。

さらに、グランドピアノの響きや反応をディテールまで再現する『コンサートチューナー』機能を搭載。ダンパーペダルを踏んだときの響板やフレームの響きをシミュレートする「ダンパーレゾナンス」、弾いた鍵盤の音程の関係によって発生する弦の共鳴を再現する「ストリングレゾナンス」、ペダルやアクションの音までをもサンプリングした「ダンパーノイズ」「キーアクションノイズ」等を搭載しました。

コンパクトながら高性能なスピーカーシステム

場所を選ばないコンパクトなボディに大容量のバスレフ式エンクロージャーを装備、ハイクオリティでパワフルな新開発フルレンジスピーカーを搭載しました。ダイナミックで重厚な低音から繊細でクリアな高音まで、艶やかで豊かな響きを生み出します。

厳選された多彩な音色とハイクオリィティなリバーブ、エフェクト

ES7はグランドピアノ音色のほか、エレピ、オルガンやストリングス、ベースなど32種類の音色を内蔵しました。

さらに、新開発の多彩なエフェクトを搭載。深みのある美しい響きを作り出すリバーブ、音に奥行き感や厚みを加えるエフェクト、アンプシミュレーター、そしてシチュエーションに合わせて音質を選べるイコライザーが音楽の可能性をより高めます。

ドラムやベース、ギターの自動伴奏をバックにピアノ演奏ができるリズムセクション機能

お好みの音楽を、バンド演奏のように、ドラムやベース、ギターを自動伴奏させながらピアノ演奏ができる機能です。基本パターンの8ビート、16ビートから、ポップス、ロック、バラード、ワールドリズムまでの幅広い100種類のリズムが、ピアノ演奏を一層盛上げます。

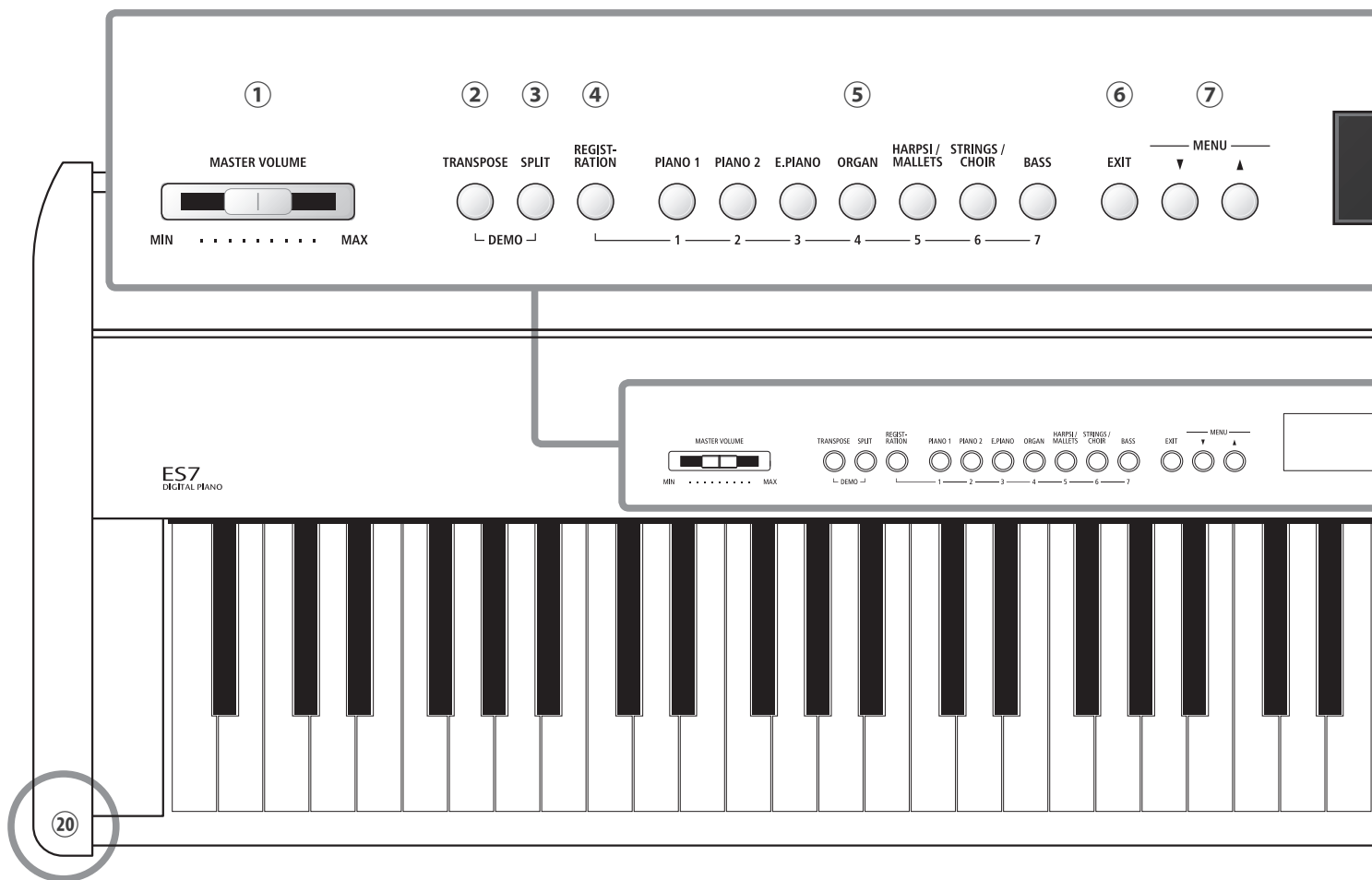
さらに、指1本で鍵盤を押さえるだけでソロフレーズを簡単に演奏することができるワンフィンガーアドリブ®機能も搭載しています。

MP3形式、WAV形式での録音/再生が可能『USBオーディオレコーダー』

録音した曲をパソコンや携帯プレーヤー等の機器で再生したり、お好みのアーティストの曲（MP3またはWAV形式）をES7で再生するなど、従来の電子ピアノの枠を超えた楽しみ方ができます。また、ES7で演奏した曲をMP3形式で録音し、Eメールに添付して友人に送付し聴いてもらう、というような楽しみ方もできます。

音楽の可能性を広げるMIDIとUSBインターフェース

他のMIDI機器と接続して演奏情報やパネル情報をやりとりできるMIDI端子を装備しています。また、パソコンとの接続を考慮しUSBインターフェースも装備しています。

各部の名称とはたらき

① MASTER VOLUME

内蔵スピーカーやヘッドフォンの音量を調節できます。MAX側にするほど音が大きくなります。

* ラインアウトには効きません。
PA機器等に接続して使用する場合、ラインアウトの音量はそのままに内蔵スピーカーの音量を調節できます。ラインアウトの音量変更については77ページを参照してください。

② TRANSPOSEボタン

半音毎に鍵盤を移調できます。

③ SPLITボタン

鍵盤を左右に分割し、それぞれ異なる音色で演奏できます。

［TRANSPOSE］ボタンと［SPLIT］ボタンを同時に押すと、内蔵されたデモ曲を演奏します。

④ REGISTRATIONボタン

音色やエフェクトなどのパネル設定を記憶しておき、ボタン操作ひとつで簡単にお好みの設定を呼び出して演奏することができます。

⑤ 音色ボタン

音色を選ぶことができます。2つ同時に押すとデュアル音色になります。

このボタンはまた、レジストレーションの設定を呼び出すときにも使用します。

⑥ EXITボタン

メニュー画面などから音色名表示へ戻るときや、前の画面へ戻るときに使用します。

* 長押しすると、ラインアウトの音量を変更できます。（→77ページ）

⑦ MENUボタン

様々な機能や設定メニュー画面などを選ぶときに使用します。

* ロータリーエフェクトが選ばれている場合は、2つ同時に押すとスロー/ファーストを切り替えることができます。（→27ページ）

⑧ ディスプレイ

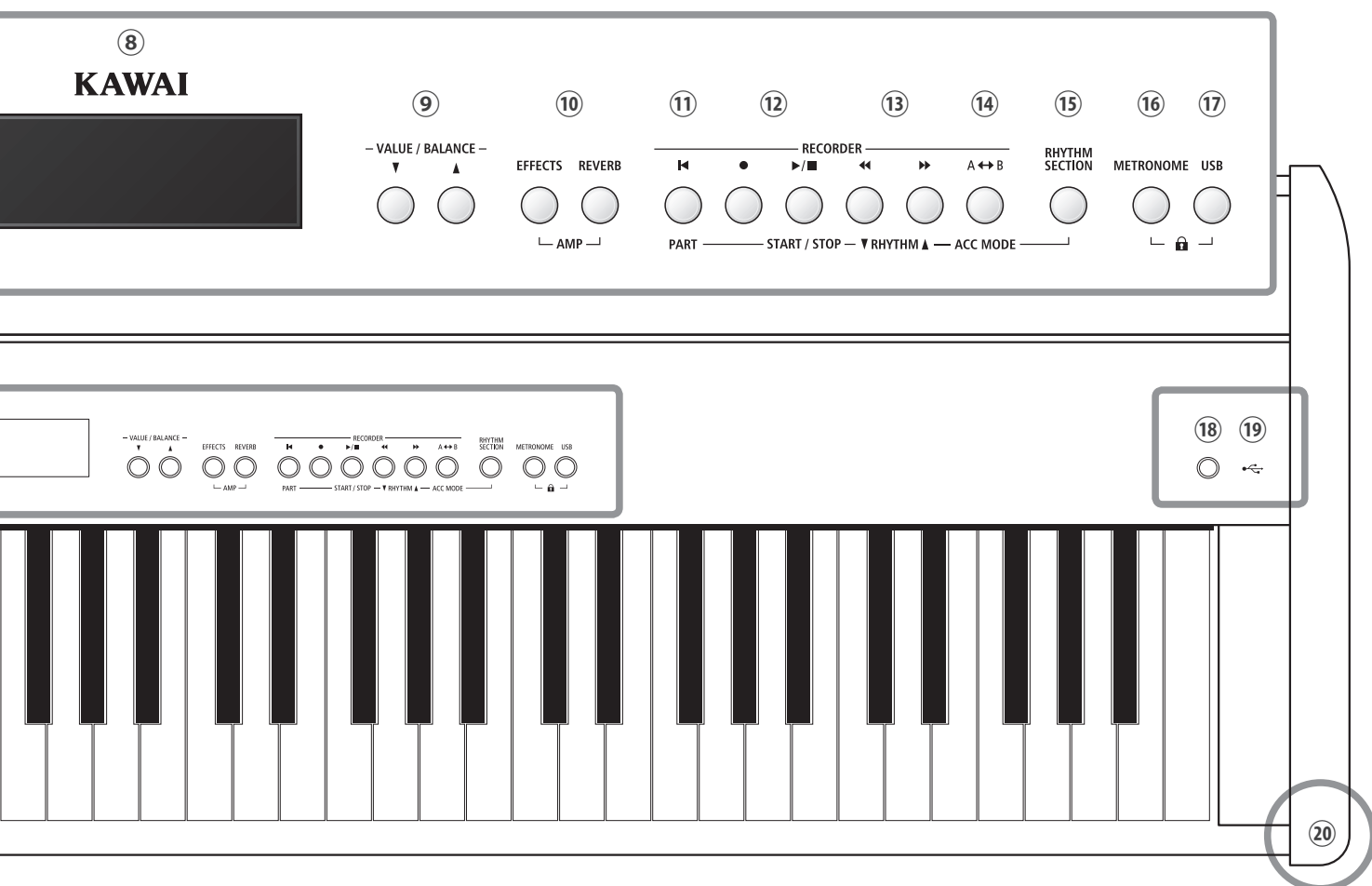
通常は選ばれている音色名を表示します。その他、いろいろな機能を使うときに値や状態などを表示します。

* ディスプレイには、あらかじめ保護用の透明シートが貼り付けてありますので、はがしてからご使用下さい。

⑨ VALUE/BALANCEボタン

様々な設定値を調節するときに使います。

デュアル/スプリットモードでは、音量バランスを調節します。

* 2つ同時に押すと、設定値が初期値に戻ります。音色名表示中は電源オン時の設定（ユーザーメモリー）に戻すことができます。（→82ページ）

⑩ EFFECTS/REVERBボタン

エフェクト、リバーブ機能のON/OFFができます。各パラメータを調節するときにも使います。

2つ同時に押すと、アンプシミュレーターの設定を変更できます。

⑪ リセットボタン

レコーダーの曲の頭出しに使います。

また、リズムセクションのパート選択にも使います。

⑫ 録音/再生ボタン

レコーダーの録音/再生に使います。

⑬ 巻戻し/早送りボタン

レコーダーの巻戻し/早送りに使います。

また、リズムセクションのリズム選択にも使います。

⑭ A↔B（繰り返し）ボタン

レコーダー曲の一部分を繰り返し再生できます。

また、リズムセクションのACC MODE（コード検出）選択にも使います。

⑮ RHYTHM SECTIONボタン

バンド演奏のようにドラムやベース、ギターを自動伴奏させながらピアノ演奏ができます。

⑯ METRONOMEボタン

メトロノームを鳴らすことができます。

⑰ USBボタン

USBデバイス内のファイル操作を行います。

［METRONOME］ボタンと［USB］ボタンを同時に押すと、パネルスイッチがロックされます。演奏中の誤操作を防止することができます。

⑱ 電源ボタン

電源をオン/オフするスイッチです。ご使用後は必ず電源を切ってください。

* ES7は節電のため、自動的に電源をオフするオートパワーオフ機能を備えています。（→117ページ）

⑲ USB to Device端子

USBメモリやUSBフロッピーディスクドライブを接続する端子です。保存されている曲を再生したり、ES7で録音した曲をUSBメモリに保存することもできます。

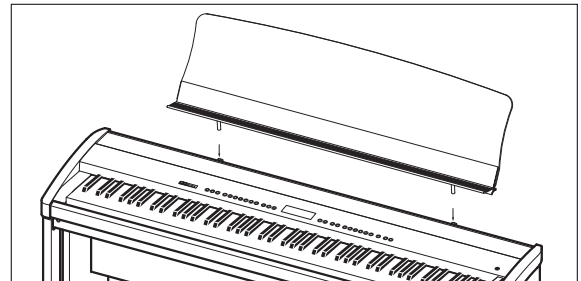
⑳ ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンは2 つまで接続できます。

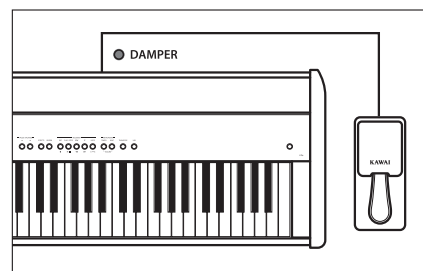
演奏前の準備

譜面台、フットペダル(F-10H、またはオプションのF-20)、ヘッドホンを接続します。

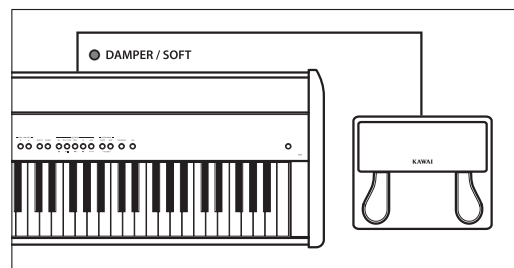
■ 譜面立てを立てる

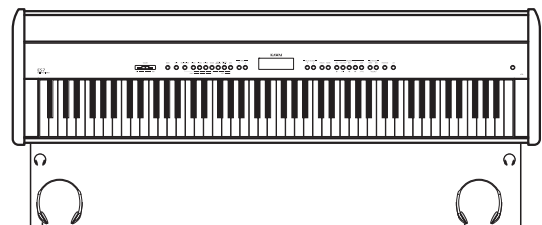
本体上部の穴に差し込みます。
・本体に差し込む時、傷がつかないよう注意して下さい。
・無理やり譜面立てを引っ張ったり、後ろに押し倒さないで下さい。

■ フットペダルを接続する

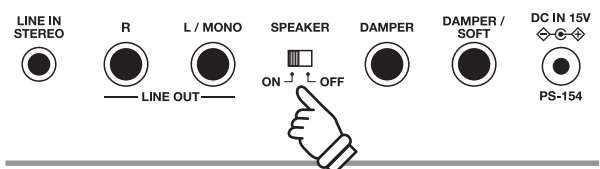
付属のフットペダルF-10Hを、DAMPER端子に接続します。
付属のフットペダルはダンパーペダルです。

ダンパーペダルとは：
鍵盤から指を離しても、ダンパーペダルを踏んでいる間は弾いた音が長く響きます。

■ 別売のフットペダルを接続する

別売のフットペダルF-20をDAMPER/SOFT端子に接続します。
F-20は、ダンパーペダル(ハーフ対応)とソフトペダルの2本ペダルです。

ソフトペダルとは：
ソフトペダルを踏んだあとに弾いた音の音量がわずかに下がると同時に、音の響きが柔らかくなります。
* ロータリーエフェクトが選ばれている場合は、ロータリースピードのスロー/ファーストを切り換えることができます。

■ 別売のヘッドホンを接続する

別売のヘッドホンをPHONES端子に接続します。
ヘッドホンは2本まで接続できます。

■ スピーカー出力をオン／オフする

背面パネルのSPEAKERスイッチを切り替えます。
ON側にすると本機のスピーカーから音が出ます。

* ヘッドホンを接続した場合は、SPEAKERスイッチのON/OFFにかかわらずスピーカーから音は出ません。

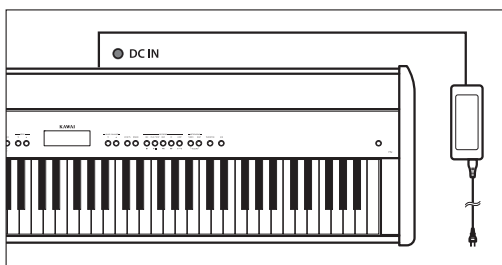
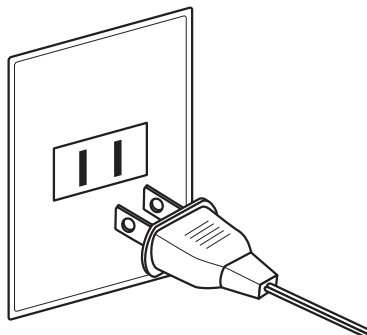
電源を入れる

電源を入れて、ピアノの演奏を始めます。

注 意

本体下側にはスピーカーシステム用の開口部があります。テーブルなどに本体を置く場合、この開口部の下に紙や薄い布などがあると異音を発生する場合があります。又、この開口部をふさぐと、本来の性能が得られなくなりますのでご注意下さい。

1. ACアダプターの接続

付属のACアダプターPS-154を本体のDC15ボルトIN15V端子に差し込みます。

次に、電源コードをAC100Vのコンセントに差し込みます。

2. 電源を入れる

電源ボタンをを押して電源をオンにします。

電源ボタンを押すと音色ボタンの[PIANO 1]が点灯し、LCDディスプレイに「コンサートグランド」と表示されます。また電源ランプも点灯します。

電源を切るときは、もう一度電源ボタンを押します。

画面の表示が消え、ボタン・電源ランプも消灯します。

* ES7は節電のため、自動的に電源をオフするオートパワーオフ機能を備えています。(→117ページ)

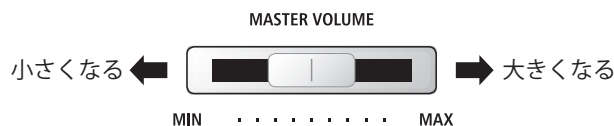
点灯

例：PIANO1カテゴリーを選ぶ

3. MASTER VOLUMEをセットする

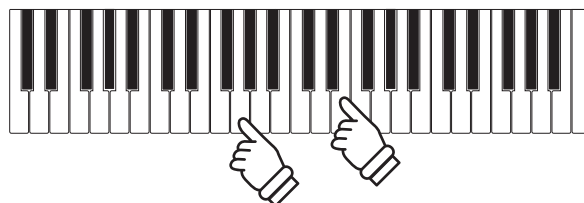
MASTER VOLUMEスライダーは、スピーカーやヘッドホンの音量を調節します。

右へ動かすと音量が大きくなり、左へ動かすと音量が小さくなります。

まず中央付近にスライダーをセットし、その後お好みの音量に調節してください。

* ラインアウトには効きません。
  PA機器等に接続して使用する場合、ラインアウトの音量はそのままに内蔵スピーカーの音量を調節できます。ラインアウトの音量変更については77ページを参照してください。

4. 音を出す

ピアノの演奏を始めます。

鍵盤を弾くと、カワイコンサートグランドピアノEXの豊かな音色を聞く事ができます。

いろいろな音色を楽しむ

ES7にはたくさんの音が内蔵されていますので、さまざまな音楽に合わせた音で演奏を楽しむことができます。この内蔵されている音を「音色」といいます。音色はそれぞれ音色ボタンに割り当てられています。

初期状態では、「PIANO 1 / コンサートグランド」の音色が選ばれています。

■ 音色名一覧

PIANO 1	
1	コンサート グランド
2	スタジオ グランド
3	メロー グランド
4	ブライト ピアノ

PIANO 2	
1	コンサート グランド 2
2	スタジオ グランド 2
3	メロー グランド 2
4	ロック ピアノ

E. PIANO	
1	クラシック E.ピアノ
2	60's E.ピアノ
3	モダン E.ピアノ
4	クラシック E.ピアノ2

ORGAN	
1	ドローバーオルガン
2	ジャズ オルガン
3	オクターブプリンシパル
4	チャーチ オルガン

HARPSI / MALLETS	
1	ハープシコード
2	ビブラフォン
3	クラビ
4	マリンバ

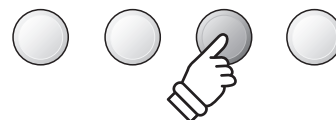
STRINGS / CHOIR			
1	スロー ストリングス	5	クワイア
2	シンセ ストリングス	6	クワイア 2
3	メロー ストリングス	7	ファンタジー
4	ストリング アンサンブル	8	ファンタジー 2

BASS	
1	ウッドベース
2	エレクトリックベース
3	フレットレスベース
4	W.ベース & シンバル

1. 音色ボタンを押して音色を選ぶ

選んだ音色ボタンが点灯し、そのボタンに割り当てられている音色が鳴ります。鍵盤を弾いてみましょう。

ディスプレイには、現在選ばれている音色名が表示されます。

クラシック E.ピアノ

例：E.PIANOカテゴリーを選びます。

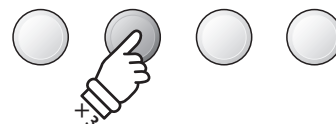
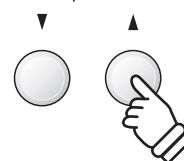
2. 音色を変更する

他の音色ボタンを押すと、そのボタンに割り当てられている音色が鳴ります。

また選択されている音色と同じ音色ボタンを押すと、そのグループ内の次のバリエーションが選ばれます。

コンサート グランド 2

⬇

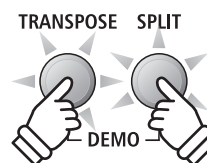
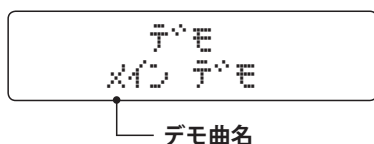
メロー グランド 2

例：PIANO2ボタンを3回押して「メローグランド2」を選びます。

［VALUE/BALANCE］ボタンを押すと順番に音色を変更することができます。

デモ曲を聴く

新開発のハイクオリティでパワフルなスピーカーによる臨場感あふれる迫力のサウンドを紹介するメインデモ曲（1曲）、それぞれの音色をボタン毎に紹介した音色デモ曲（25曲）、ドラムやベース、ギターの自動伴奏をバックにピアノ演奏ができるリズムセクション機能を使ったピアノ演奏デモ曲（1曲）を内蔵しています。
ポップスやジャズ、クラシックなど幅広い音楽ジャンルでES7サウンドのすばらしさを体感してください。

デモ曲一覧については、121ページを参照して下さい。

1. デモ曲の再生

[TRANSPOSE]ボタンと[SPLIT]ボタンを同時に押します。
[TRANSPOSE]ボタンと[SPLIT]ボタンが点滅し、メインデモ曲が再生されます。

2. デモ曲を選ぶ。

メインデモ曲が終わると音色デモ曲が再生されます。
メインデモ曲の途中でも、音色ボタンを押すとその音色のデモに移ります。

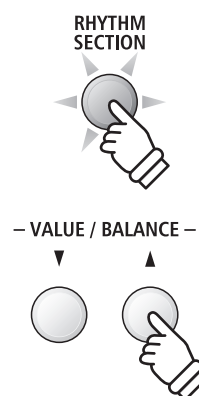
選んだ音色ボタンが点滅して、デモ曲が再生されます。

押した音色ボタンに含まれる曲が再生された後、他の音色のデモ曲が順不同に再生されます。

例：PIANO1ボタンを4回押して「ブライトピアノ」デモを選びます。

さらに、RHYTHM SECTIONボタンを押すとリズムセクションデモに移ります。

リズムセクションデモ曲が再生された後、メインデモ曲から繰り返し再生されます。

また、[VALUE/BALANCE]ボタンでもデモ曲を選択できます。

3. デモ曲の停止

[EXIT]ボタンを押します。
[TRANSPOSE]ボタンと[SPLIT]ボタンが消灯し、デモ曲が止まります。

EXIT

または

▶/■

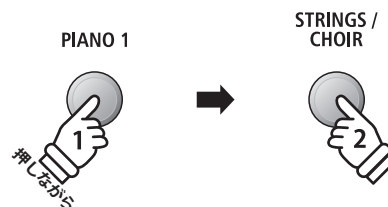
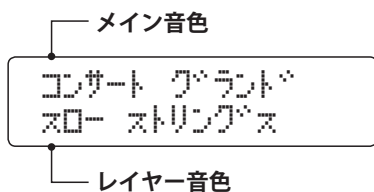
ピアノを演奏する

2つの音色を重ねる（デュアル）

デュアル演奏とは2つの音色を重ね合わせる機能です。2つの音色が同時に発音されメロディーをデュエットさせたり、同系統の音色を混ぜて厚みのある音を作り出すことで音楽表現の幅が広がります。

1. デュアル演奏に入る

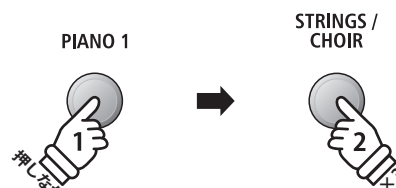
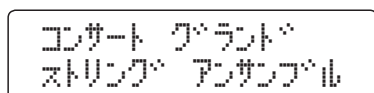
組み合わせたい音色の片方（メイン音色）を選び、その音色ボタンを押しながら、もう一方の音色ボタンを押して重ねる音色（レイヤー音色）を選びます。

両方のボタンが点灯し、選ばれた音色名がディスプレイに表示されます。

（例）［PIANO1］ボタンを押しながら［STRINGS/CHOIR］ボタンを押して、コンサートグランドとスローストリングスを組み合わせます。

2. デュアル演奏での音色変更

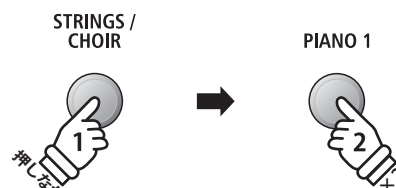
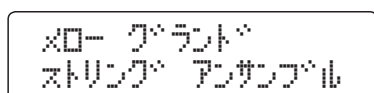
レイヤー音色のバリエーションを変更する：

メイン音色の音色ボタンを押しながら、レイヤー音色の音色ボタンを繰り返し押して、バリエーションを選びます。

ｺﾝｻｰﾄ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ
ｽﾄﾘﾝｸﾞ ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ

（例）［PIANO1］ボタンを押しながら［STRINGS/CHOIR］ボタンを3回押して、スローストリングスをストリングアンサンブルに変更します。

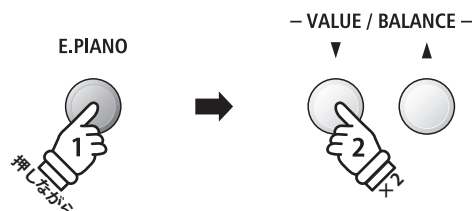
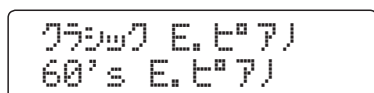
メイン音色のバリエーションを変更する：

レイヤー音色の音色ボタンを押しながら、メイン音色の音色ボタンを繰り返し押して、バリエーションを選びます。

ﾒﾛｰ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ
ｽﾄﾘﾝｸﾞ ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ

（例）［SRINGS/CHOIR］ボタンを押しながら［PIANO1］ボタンを2回押して、コンサートグランドをメローグランドに変更します。

同じボタンの音色を重ねる：

音色ボタンを押しながら、［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、バリエーションを選びます。

ｸﾗｼｯｸ E.ﾋﾟｱﾉ
60's E.ﾋﾟｱﾉ

（例）［E.PIANO］ボタンを押しながら［VALUE/BALANCE▲］ボタンを2回押して、クラシックEPと60's E.ピアノを重ねます。

* これらの設定はレジストレーションやユーザーメモリーに記憶することができます。（→34ページ、82ページ）

3. デュアルの音量バランスを調節する

メイン音色とレイヤー音色が表示されているときに、［VALUE/BALANCE］ボタンを押して2つの音色の音量バランスを調節することができます。

［VALUE/BALANCE］ボタンを押すと、音量バランスがディスプレイに表示されます。

* 初期状態では、「5-5」（左右の音色の音量が等しい）になっています。

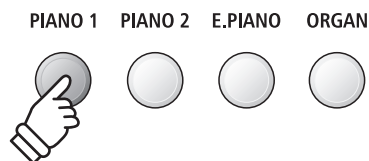
（例）［VALUE/BALANCE▼」ボタンを3回押して、レイヤー音色の音量を8に上げます。

* 音量バランスの設定はレジストレーションやユーザーメモリーに記憶することができます。（→34ページ、82ページ）
* キーセッティングメニューの「レイヤーオクターブシフト」でレイヤー音色のオクターブを変更することができます。（→100ページ）
* キーセッティングメニューの「レイヤーダイナミクス」でレイヤー音色のタッチ変化の幅を変更することができます。（→101ページ）

4. デュアル演奏を終了する

デュアル演奏の解除は、音色ボタンのいずれかを1つ押します。

押した音色が選択されると同時にデュアル演奏の設定が解除されます。

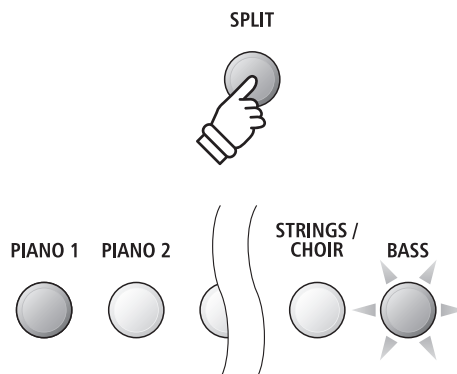
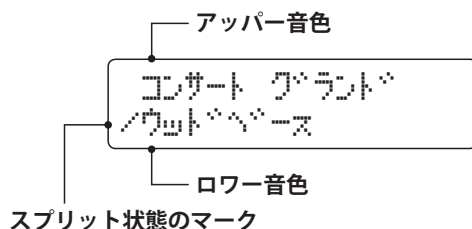
ｺﾝｻｰﾄ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ

2つの音色を並べる（スプリット）

スプリット演奏とは鍵盤を左右2つに分け、別々の音色を設定し演奏をすることです。低音側でベースパートを、高音側でメロディーパートを演奏したりすることができます。また鍵盤が分かれる位置を「スプリットポイント」といいます。

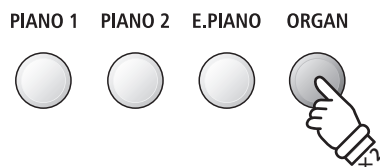
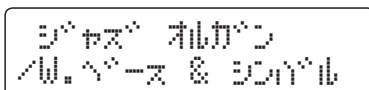
1. スプリット演奏に入る

［SPLIT］ボタン を押します。
［SPLIT］ボタンが点灯し、鍵盤の音色がスプリットポイントで分割されます。

* スプリットポイントの初期値はG2（ソ）に設定されており、鍵盤はF#2とG2の間で分割されます。

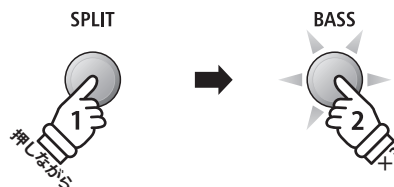
点灯している音色ボタンは、［SPLIT］ボタンを押す前に選ばれている高音側の音色（アッパー音色）、点滅している音色ボタンは、低音側の音色（ロワー音色）です。

* 初期状態では、ロワー音色はウッドベースに設定されています。

2. 高音側・低音側の音色変更

高音側の音色（アッパー音色）は、音色ボタンを押して変更します。

ジャズ オルガン
ウッドベース

（例）［ORGAN］ボタンを2回押して、ジャズオルガンを選びます。

低音側の音色（ロワー音色）は、［SPLIT］ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します

ジャズ オルガン
W.ベース & シンバル

（例）［SPLIT］ボタンを押しながら［BASS］ボタンを3回押して、W.ベース＆シンバルを選びます。

* これらの設定はレジストレーションやユーザーメモリーに記憶することができます。（→34ページ、82ページ）
* キーセッティングメニューの「ロワーオクターブシフト」でロワー音色のオクターブを変更することができます。（→97ページ）
* キーセッティングメニューの「ロワーペダルセッティング」でロワー音色にペダルが効くか効かないかを設定することができます。（→98ページ）

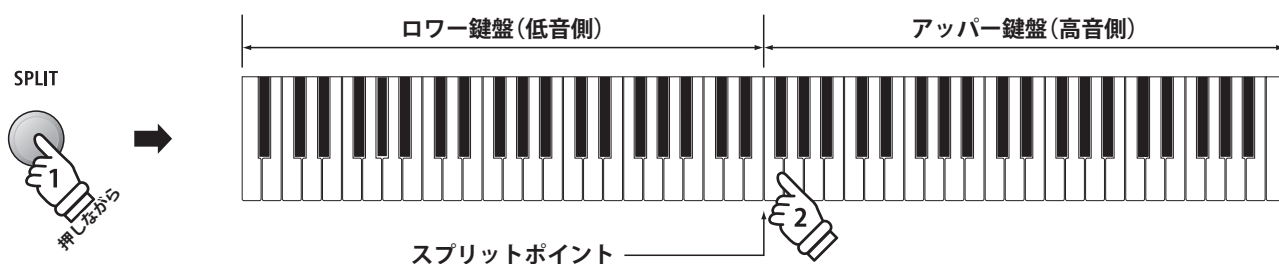
3. スプリットポイントの変更

スプリットポイントを変更したい場合は、[SPLIT] ボタン を押しながら鍵盤を押します。押した鍵盤が高音側の最低音になります。

スプリットポイントを設定すると、押した鍵盤の音名がディスプレイに表示されます。

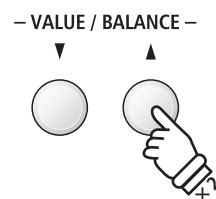
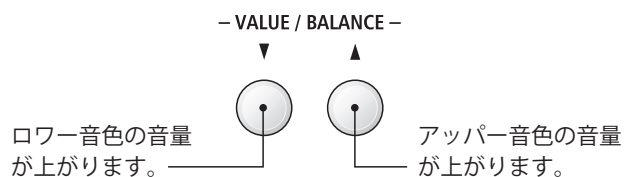
スプリット ポイント
= F3

(例) [SPLIT] ボタンを押しながらF3（ファ）の鍵盤を押して、スプリットポイントをF3（ファ）に設定します。

* スプリットポイントの設定値は、リズムセクション機能と共通になります。

4. スプリットの音量バランスを調整する

[SPLIT] ボタンが点灯しているときに、[VALUE/BALANCE] ボタンを押して2つの音色の音量バランスを調節することができます。

[VALUE/BALANCE] ボタンを押すと、音量バランスがディスプレイに表示されます。

* 初期状態では、「5-5」（左右の音色の音量が等しい）になっています。

(例) [VALUE/BALANCE▼] ボタンを2回押して、ロワー音色の音量を7に上げます。

* 音量バランスの設定はレジストレーションやユーザーメモリーに記憶することができます。（→34ページ、82ページ）

5. スプリット機能をオフにする

スプリット演奏を解除する時は、再度 [SPLIT] ボタンを押します。[SPLIT] ボタンが消灯し、通常の演奏状態に戻ります。

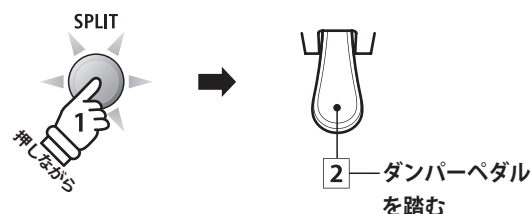
ジャズ オルガン

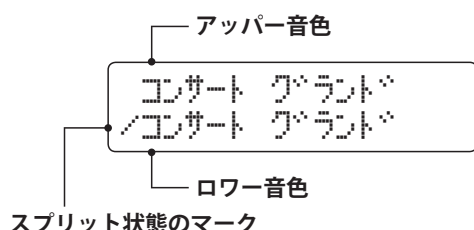
連弾演奏する（4ハンズモード）

スプリットポイントを境にして右側と左側に鍵盤を分け、それぞれ同じ音域で演奏することができるので、2台のピアノのように連弾演奏を楽しむことができます。 初期状態の設定では、通常の演奏時に対して、右側の鍵盤の音程は2オクターブ下がり、左側の鍵盤の音程は2オクターブ上がります。鍵盤が分かれる位置を「スプリットポイント」といいます。

* 4ハンズモードはベーシックセッティング（P.81）からでも入ることができます。

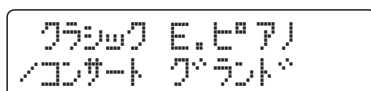
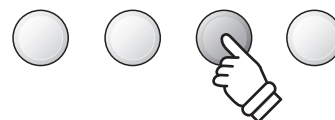
1. 4ハンズモードに入る

［SPLIT］ボタンを押しながらダンパーペダルを踏みます。
［SPLIT］ボタンが点滅し、4ハンズモードに入ります。

* 初期状態ではスプリットポイントはF3（ファ）に設定されており、鍵盤はE3とF3の間で分割されます。

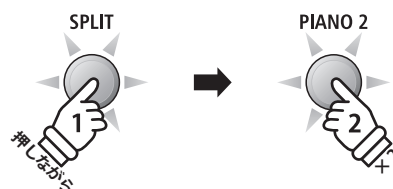
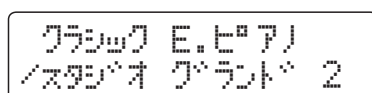
ディスプレイ上段に右側の音色（アッパー音色）、下段に左側の音色（ロワー音色）が表示されます。

* 初期状態では、アッパー、ロワー音色ともにコンサートグランドに設定されています。

2. 右側・左側の音色変更

右側の音色（アッパー音色）は、音色ボタンを押して変更します。

クラシック E.ピアノ
/コンサート グランド

PIANO 1　PIANO 2　E.PIANO　ORGAN

（例）［E.PIANO」ボタンを押して、クラシックE.P.を選びます。

左側の音色（ロワー音色）は、［SPLIT］ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します

クラシック E.ピアノ
/スタジオ グランド 2

（例）［SPLIT］ボタンを押しながら［PIANO2］ボタンを2回押して、スタジオグランド2を選びます。

* 付属のダンパーペダル（F-10H）は、アッパー音色にのみに、効きます。

* オプションの2本ペダル（F-20）や3本ペダル（F-301）を使うと、ダンパーペダル（右ペダル）は右側の鍵盤のダンパーペダルとして、ソフトペダル（左ペダル）は左側の鍵盤のダンパーペダルとして使うことができます。

* 4ハンズモードの設定はレジストレーションやユーザーメモリーに記憶することができます。（→34ページ、82ページ）

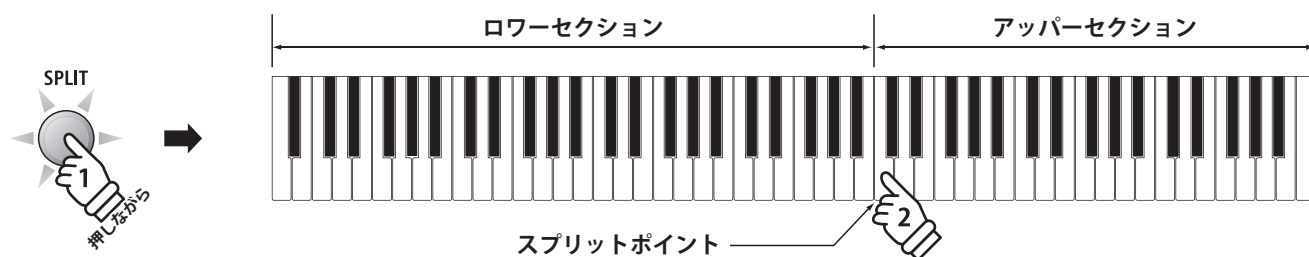
3. スプリットポイントの変更

　スプリットポイントを変更したい場合は、［SPLIT］ボタン を押しながら鍵盤を押します。押した鍵盤が右側の最低音になります。

　スプリットポイントを設定すると、押した鍵盤の音名がディスプレイに表示されます。

ｽﾌﾟﾘｯﾄﾎﾟｲﾝﾄ
= C4

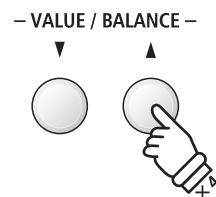
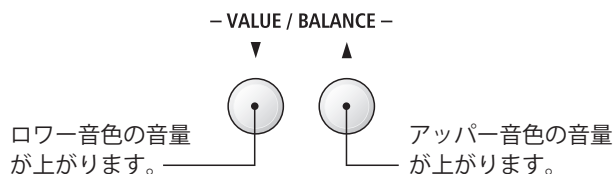
（例）［SPLIT］ボタンを押しながらC4（ド）の鍵盤を押して、スプリットポイントをC4（ド）に設定します。

* 4ハンズモードのスプリットポイントは、スプリットモードには影響しません。

4. 4ハンズモードの音量バランスを調整する

　［SPLIT］ボタンが点滅しているときに、［VALUE/BALANCE］ボタンを押して2つの音色の音量バランスを調節することができます。

　［VALUE/BALANCE］ボタンを押すと、音量バランスがディスプレイに表示されます。

* 初期状態では、「5-5」（左右の音色の音量が等しい）になっています。
* 4ハンズモードの音量バランスは、スプリットモードには影響しません。

ｸﾗｼｯｸ E.ﾋﾟｱﾉ 9
ｽﾀｼﾞｵ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ 2 1

（例）［VALUE/BALANCE▲］ボタンを4回押して、ロワー音色の音量を9に上げます。

* 音量バランスの設定はレジストレーションやユーザーメモリーに記憶することができます。（→34ページ、82ページ）

5. 4ハンズモードを抜ける

　4ハンズモードを抜ける時は、再度［SPLIT］ボタンを押します。［SPLIT］ボタンが消灯し、通常の演奏状態に戻ります。

ｸﾗｼｯｸ E.ﾋﾟｱﾉ

音に効果を加える

ES7は、効果（リバーブ/エフェクト/アンプシミュレーター）を加えて音の表情を変えることができます。これらの効果は、予め推奨の設定が音色ごとに用意されていますが、好みに合わせて変更・調節することができます。

これらの変更内容は、レジストレーションに記憶することができ（→34ページ）、また、ユーザーメモリーに記憶すれば、音色を選んだときの設定状態も保存できます（→82ページ）。

1 リバーブ

リバーブを加えると、音に残響効果が加わりコンサートホールで演奏しているような深みのある美しい響きが得られます。ES7は6種類のリバーブを用意しています。

■ リバーブの種類

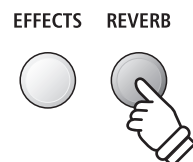
種類	効果
ルーム	室内で演奏しているような残響効果が得られます。
ラウンジ	ラウンジやロビーで演奏しているような残響効果が得られます。
スモールホール	小規模なホールで演奏しているような残響効果が得られます。
コンサートホール	大規模なホールで演奏しているような残響効果が得られます。
ライブホール	ライブホールやステージで演奏しているような残響効果が得られます。
カテドラル	大聖堂で演奏しているような残響効果が得られます。

1. リバーブのオン/オフ

［REVERB］ボタンを押して点灯させるとリバーブ効果がかかり、画面に現在選択されているリバーブの種類が表示されます。

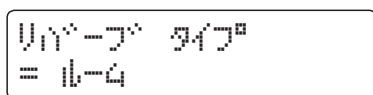
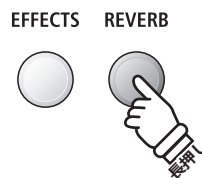
再度［REVERB］ボタンを押すと消灯し、リバーブ効果は解除されます。

```
ルーム              オン
```

EFFECTS　REVERB

2. リバーブの変更画面へ入る

［REVERB］ボタンを長押しするとリバーブ変更画面が表示されます。

```
リバーブ タイプ
= ルーム
```

EFFECTS　REVERB

■ リバーブの変更項目

変更項目	効果	範囲
タイプ	リバーブの種類を変更します。	上記参照
デプス	リバーブの量を変更します。	1～10
タイム	リバーブの長さを変更します。	1～10

3. リバーブの変更

リバーブ変更画面が表示されている間に［VALUE/BALANCE］ボタンを押すと、リバーブの種類が切り替わります。

ﾘﾊﾞｰﾌﾞ ﾀｲﾌﾟ
= ﾙｰﾑ

ﾘﾊﾞｰﾌﾞ ﾀｲﾌﾟ
= ｽﾓｰﾙﾎｰﾙ

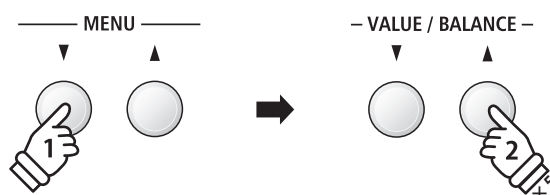
（例）［VALUE/BALANCE▲］ボタンを2回押して、ルームをスモールホールに変更します。

リバーブデプスの変更：

［MENU］ボタンを押して「リバーブデプス」を選び、［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、リバーブの量を調節します。

* リバーブデプスは、1〜10の範囲で調節できます。

ﾘﾊﾞｰﾌﾞ ﾃﾞﾌﾟｽ
= 5

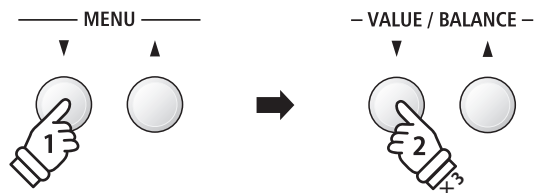
ﾘﾊﾞｰﾌﾞ ﾃﾞﾌﾟｽ
= 10

（例）［MENU▲］ボタンを1回押して「リバーブデプス」を選んだ後、［VALUE/BALANCE▲］ボタンを5回押して、値を大きくします。

リバーブタイムの変更：

［MENU］ボタンを押して「リバーブタイム」を選び、［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、リバーブの長さを調節します。

* リバーブタイムは、1〜10の範囲で調節できます。

ﾘﾊﾞｰﾌﾞ ﾀｲﾑ
= 5

ﾘﾊﾞｰﾌﾞ ﾀｲﾑ
= 2

（例）［MENU▼］ボタンを2回押して「リバーブタイム」を選んだ後、［VALUE/BALANCE▼］ボタンを3回押して、値を小さくします。

［EXIT］ボタンを押すか、そのまましばらくすると通常音色画面に戻ります。

EXIT

* 変更内容は、音色ごとに設定されます。

* 各音色の変更内容は、電源を切るまで保持されます。

* 各音色の変更内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

2 エフェクト

リバーブ以外にも音にさまざまな効果を加えることができます。エフェクトは、音に奥行き感や厚みを加える効果です。

ES7は11種類のエフェクトと4種類のコンビネーションエフェクトを用意しています。

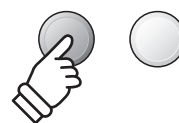
■ エフェクトの種類

種類	効果
ステレオディレイ	反射音を左右同時に出力します。
ピンポンディレイ	反射音を左右交互に出力します。
トリプルディレイ	反射音を中央、右、左と順に出力します。
コーラス	音にピッチのゆらぎをもつ音を合わせることにより、音に広がりを加えます。
クラシックコーラス	ビンテージのエレピに適したコーラスです。
トレモロ	音に“ゆらぎ”を与える効果です。
クラシックトレモロ	ビンテージのエレピに適したトレモロです。
オートパン	音を左右に振ります。正弦波で変調します。
クラシックパン	ビンテージのエレピに適したオートパンです。
ロータリー	ロータリー(回転式)スピーカーを使って得られる効果です。 オプションのF-20やF-300Hペダルを使うと、ソフトペダル(左のペダル)を押すことによって回転の速さを切り換えることができます。
フェイザー	位相変調を行い音にうねりを与えます。
コンビネーション エフェクト	異なる種類のエフェクトを組み合わせた効果です。 * 種類：フェイザー+コーラス、トレモロ+コーラス、フェイザー+パン、コーラス+コーラス

1. エフェクトのオン/オフ

［EFFECTS］ボタンを押して点灯させるとエフェクト効果がかかり、画面に現在選択されているエフェクトの種類が表示されます。

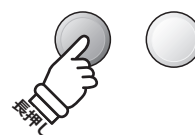
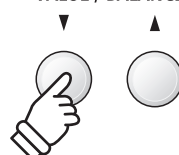
再度［EFFECTS］ボタンを押すと消灯しエフェクト効果は解除されます。

EFFECTS REVERB

2. エフェクトの種類を変更する

［EFFECTS］ボタンを長押しするとエフェクト変更画面が表示されます。

エフェクト タイプ
= ステレオ ディレイ

EFFECTS REVERB

［VALUE/BALANCE］ボタンを押すと、エフェクトの種類が切り替わります。

■ エフェクトの変更項目

種類	項目1	項目2	項目3	項目4
ステレオディレイ/ピンポンディレイ/トリプルディレイ	ドライ/ウェット	タイム	フィードバック	ハイダンプ
コーラス	ドライ/ウェット	スピード	フィードバック	デプス
クラシックコーラス	モノラル/ステレオ	スピード	–	–
トレモロ	ドライ/ウェット	スピード	–	–
クラシックトレモロ	ドライ/ウェット	スピード	–	–
オートパン	ドライ/ウェット	スピード	–	–
クラシックパン	ドライ/ウェット	スピード	–	–
ロータリー	アクセルスピード	ロータリースピード	コーラス	バランス
フェイザー	ドライ/ウェット	スピード	フィードバック	デプス
コンビネーションエフェクト	ドライ/ウェット	スピード	–	–

* ロータリーを選んだ場合、[MENU▼▲]ボタンを同時に押すことによって、ロータリースピーカーの回転の速さを切り変えることができます。オプションの2本ペダル(F-20H)、3本ペダル(F-300H)のソフトペダル(左ペダル)を押すことでも、回転の速さを切り換えることができます。

3. エフェクトの項目の変更

エフェクト変更画面が表示されている間に[MENU]ボタンを押すと、エフェクトの変更項目が切り替わります。

エフェクト タイプ
= ステレオ ディレイ

⬇

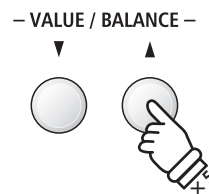
ディレイ タイム
= 5

(例) [MENU▲]ボタンを2回押して、ディレイタイムを選びます。

[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、エフェクト設定を調節します。

* エフェクト設定は、1〜10の範囲で調節できます。

ディレイ タイム
= 5

⬇

ディレイ タイム
= 10

(例) [VALUE/BALANCE▲]ボタンを5回押して、ディレイタイムを長くします。

[EXIT]ボタンを押すか、そのまましばらくすると通常音色画面に戻ります。

* 変更内容は、音色ごとに設定されます。
* 各音色の変更内容は、電源を切るまで保持されます。
* 各音色の変更内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。(→34ページ、82ページ)

3 アンプシミュレーター

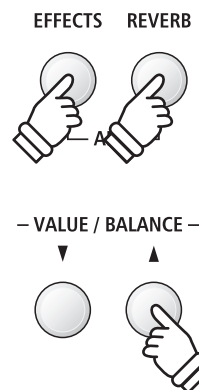
アンプやスピーカー・キャビネットの音色のキャラクターは、ビンテージエレピやドローバーオルガンのサウンドにとって重要な要素です。ES7はドライブ、レベル、2バンドEQのパラメーターを持った、3種類のアンプシミュレーターを用意しています。

1. アンプ・シミュレーターのオン/オフ

［REVERB］ボタンと［EFFECTS］ボタンを同時に押すと、アンプシミュレーター変更画面が表示されます。

ｱﾝﾌﾟ ｼﾐｭﾚｰﾀｰ
= ｵﾌ

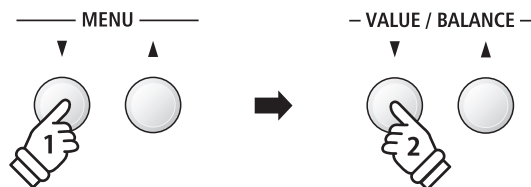
［VALUE/BALANCE］ボタンを押すと、アンプシミュレーターのON/OFFが切り替わります。

* デュアル、スプリット、4ハンズモードのとき、レイヤー音色やロワー音色には効果はかかりません。

■ アンプシミュレーターの変更項目

変更項目	効果	範囲
タイプ	アンプやスピーカーキャビネットの種類を選びます。	下記参照
ドライブ	アンプのドライブ（歪み）の量を調節します。	1〜10
レベル	アンプの出力レベルを調節します。	1〜10
EQ ロー	アンプの低域のEQレベルを調節します。	–6dB〜+6dB
EQ ハイ	アンプの高域のEQレベルを調節します。	–6dB〜+6dB

2. アンプシミュレーターの種類を変更する

アンプシミュレーター変更画面が表示されている間に［MENU］ボタンを押して、「アンプタイプ」の項目を選び、［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、お好みのアンプシミュレーターの種類を選びます。

ｱﾝﾌﾟ ﾀｲﾌﾟ
= S. Case I

■ アンプシミュレーターの種類

種類	効果
S. Case I	ビンテージのエレピに適したスーツケースタイプのアンプです。オフマイクでのシミュレーションです。
S. Case II	ビンテージのエレピに適したスーツケースタイプのアンプです。オンマイクでのシミュレーションです。
L. Cabinet	ビンテージのドローバーオルガンに適した、木製キャビネットのシミュレーションです。

3. アンプシミュレーターの項目の変更

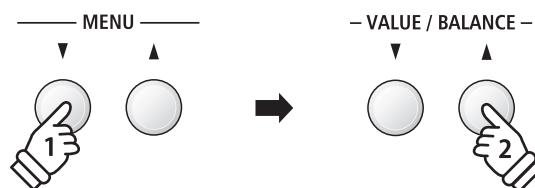
アンプシミュレーター変更画面が表示されている間に[MENU]ボタンを押すと、アンプシミュレーターの変更項目が切り替わります。

[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、アンプシミュレーターのエフェクト設定を調節します。

```
アンプ ドライブ
=   5
```

[EXIT]ボタンを押すか、そのまましばらくすると通常音色画面に戻ります。

* 変更内容は、音色ごとに設定されます。

* 各音色の変更内容は、電源をオフすると消えてしまいます。必要な変更内容はレジストレーションやユーザーメモリーに保存してください。(→34ページ、82ページ)

(例)[MENU▼]ボタンを押して「ドライブ」を選んだ後、[VALUE/BALANCE▲]ボタンを押して、歪み量を増やします。

パネル・ロック

パネル・ロックは、演奏中の誤操作を防止する為に、鍵盤とペダル以外のボタンの機能を一時的にロックすることができます。

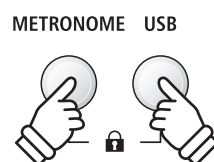
1. パネル・ロックをオンにする

[METRONOME]ボタンと[USB]ボタンを同時に押して、パネル・ロックをONにします。

パネルロックオンのメッセージ画面が表示され、パネルのボタンがロックされます。

```
パネル ロック
オン
```

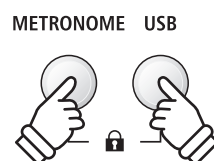
パネル・ロックがONになっているときパネルボタンを操作すると、次の画面が表示されます。

```
パネル ロック
→METRO.+USB
```

* パネル・ロックは、電源をオフしても解除されません。

2. パネル・ロックを解除する

[METRONOME]ボタンと[USB]ボタンを、再度同時に押します。

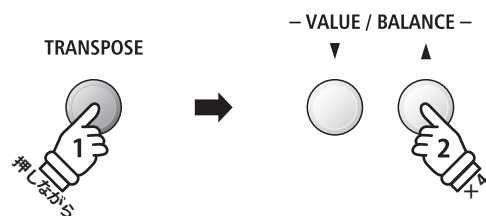
パネルロックオフのメッセージ画面が表示され、ロックが解除されます。

```
パネル ロック
オフ
```

移調する（トランスポーズ）

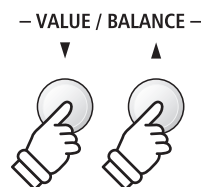
トランスポーズとは半音単位で調を変えることです。キー（調）の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

■ 鍵盤を移調する（キー トランスポーズ）：方法1

［TRANSPOSE］ボタンを押しながら、［VALUE/BALANCE］ボタンを押して調節します。

移調する値がディスプレイに表示され、移調がオンになります。

（例）［TRANSPOSE］ボタンを押しながら、［VALUE/BALANCE▲］ボタンを4回押して移調を+4にし、音程を4半音上げます。

* 半音単位、上下1オクターブずつ（-12〜+12）の範囲で設定できます。

* 2つの［VALUE/BALANCE］ボタンを同時押しすると、移調の値は0にリセットされます。

■ 鍵盤を移調する（キー トランスポーズ）：方法2

TRANSPOSEボタンを押しながら、C2〜C4の鍵盤を押して指定します。

移調する値がディスプレイに表示され、移調がオンになります。

TRANSPOSE

1

押しながら

2

C2

C4

（例）［TRANSPOSE］ボタンを押しながら、B♭2鍵盤を押して移調を-2にし、音程を2半音下げます。

* C2からC4（-12〜+12）の範囲で設定できます。

■ 鍵盤の移調（キー トランスポーズ）のオン/オフ

［TARANSPOSE］ボタンを押して、鍵盤の移調をオン/オフすることができます。

［TARANSPOSE］ボタンを消灯させると、鍵盤の移調がオフされます。

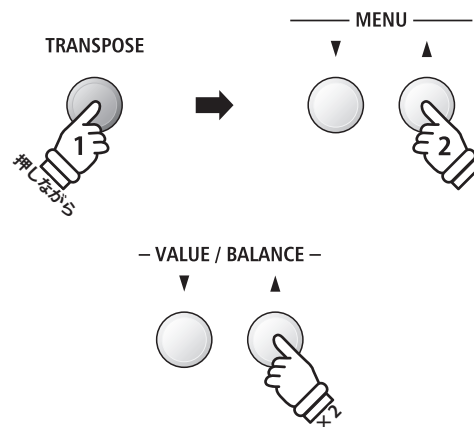
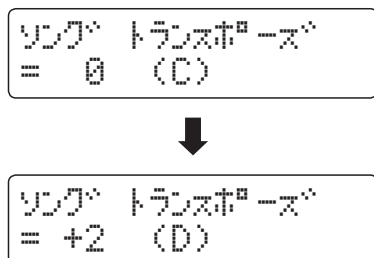
* 指定した鍵盤の移調の値は［TARANSPOSE］ボタンを消灯した後も、電源を切るまで保持されますので、その都度設定する必要はありません。
* 指定した鍵盤の移調の値は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

USBから再生されるソング（SMFファイル）、内部レコーダーのソングを移調することができます。（デモ曲を移調することはできません。）

■ 曲を移調する（ソング トランスポーズ）

［TRANSPOSE］ボタンを押しながら、［MENU］ボタンを押して、ソング トランスポーズを選びます。

ソング トランスポーズ画面が表示されている間に［VALUE/BALANCE］ボタンを押して調節します。

* 半音単位、上下1オクターブずつ（-12～+12）の範囲で設定できます。
* 2つの［VALUE/BALANCE］ボタンを同時押しすると、移調の値は0にリセットされます。
* 曲を選ぶと、移調の値は0にリセットされます。

（例）ソング トランスポーズ画面で［VALUE/BALANCE ▲］ボタンを2回押して移調を+2にし、音程を2半音上げます。

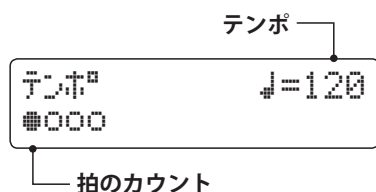
ピアノを演奏する

メトロノームを使う

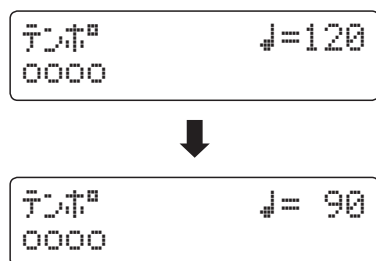
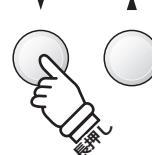
メトロノームを鳴らして、正しいテンポで練習したり、録音する際のガイドにすることができます。

1. メトロノームのオン/オフ

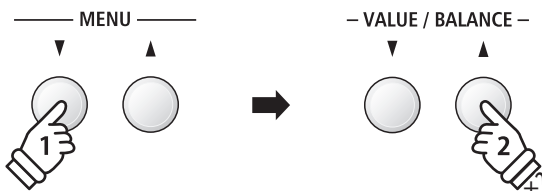
[METRONOME] ボタンを押します。[METRONOME] ボタンが点灯し、メトロノームが発音します。

ディスプレイに現在の拍のカウントと、テンポの値が表示されます。

[EXIT] ボタンを押すか、再度 [METRONOME] ボタンを押すとメトロノームが止まり、[METRONOME] ボタンが消灯します。

または
2. メトロノームの設定(テンポ、ビート、ボリューム)

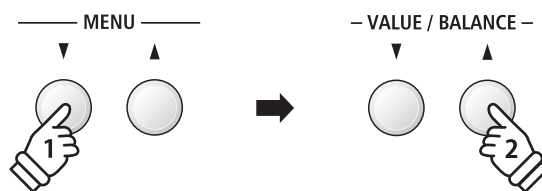
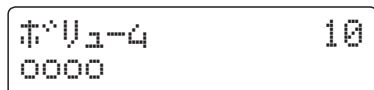
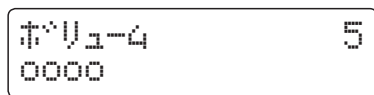
メトロノームのテンポ画面が表示されている間に、[VALUE/BALANCE] ボタンを押してテンポを調節します。

(例) [VALUE/BALANCE▼] ボタンを長押しして、テンポを下げます。

* メトロノームのテンポは、10〜400の範囲で設定できます。

[MENU] ボタンを押して、メトロノームのビート画面を選び、[VALUE/BALANCE] ボタンを押して拍子を選びます。

* 拍子は1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8 より選択することができます。

(例) [MENU] ボタンを押してビート画面を選び、ビートが1/4のときは、[VALUE/BALANCE▲] ボタンを2回押して、3/4を選びます。

2. メトロノームの設定（テンポ、ビート、ボリューム）

［MENU］ボタンを押して、メトロノームのボリューム画面を選び、［VALUE/BALANCE］ボタンを押して音量を調節します。

（例）［MENU］ボタンを押してボリューム画面を選び、［VALUE/BALANCE▲］ボタンを押してボリュームを上げます。

* メトロノームのボリュームは、0～10の範囲で設定できます。

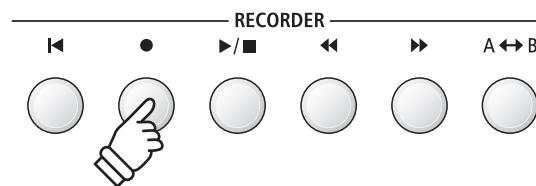
* メトロノームの設定は、電源をオフすると初期値に戻ります。必要な変更内容はレジストレーションやユーザーメモリーに保存してください。（→34ページ、82ページ）

■ メトロノームを使って録音する

メトロノーム発音中に［●（REC）］ボタンを押すと録音待機状態になり、USBメモリ装着時はInt.レコーダーかUSBレコーダーかを選びます。

このときメトロノームも［METRONOME］ボタンが点灯したまま待機状態になります。

［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押すと、1小節のカウントの後、メトロノームの発音とともに録音が始まります。

* レコーダーの詳細は46ページを参照して下さい。

パネル設定を記憶する（レジストレーション）

レジストレーションとは音色やエフェクト等のパネル上の設定をあらかじめ記憶することです。レジストレーションを使うと、ワンタッチで記憶した設定を呼び出すことができます。

ES7のレジストレーションは、7つの音色ボタン（1〜7）に各4つのメモリー（A,B,C,D）を持ち、計28個のメモリーに以下の設定を記憶することができます。

■ 記憶される設定の一覧

パネル	設定メニュー
音色（デュアル・スプリットの音色設定を含む）	ベーシックセッティング
デュアル / スプリットバランス、スプリットポイント	コンサートチューナー
リバーブ、エフェクト、アンプの設定	リズムセッティング
トランスポーズ（キートランスポーズのみ）	キーセッティング
メトロノーム設定	MIDIセッティング

* ベーシックセッティングのウォールEQ、スピーカーボリューム、ヘッドホンボリューム、ラインアウトボリューム、録音レベルは記憶されません。

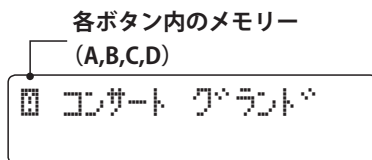
* 電源セッティングは記憶されません。

■ レジストレーションを呼び出す

［REGISTRATION］ボタンを押して点灯させると、あらかじめ選ばれていたレジストレーションが呼び出されます。

ディスプレイには、そのレジストレーションによって設定された音色名が表示されます。

各ボタン内のメモリー
（A,B,C,D）

A コンサート グランド

このとき音色ボタン［1］〜［7］のいずれかを押すと、ボタンに割り当てられたレジストレーションを呼び出すことができます。同じ音色ボタンを押すと、ボタン内のメモリーA,B,C,Dが繰り返し選択されます。

レジストレーション 4B

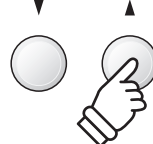
B ジャズ オルガン
/ フレットレス ベース

（例）［4］（［ORGAN］）ボタンを2回押して、メモリー「4B」を選びます。

［VALUE/BALANCE］ボタンを押すと、全28レジストレーションを連続して選択できます。

■ レジストレーションモードを抜ける（前の状態へ戻る）

再度［REGISTRATION］ボタンを押すと、ボタンが消灯し通常演奏画面へ戻ります。

このとき、レジストレーションを呼び出す前の通常演奏画面のパネル設定が再び呼び出されます。

■ レジストレーションモードを抜ける（設定を通常演奏状態へ展開する）

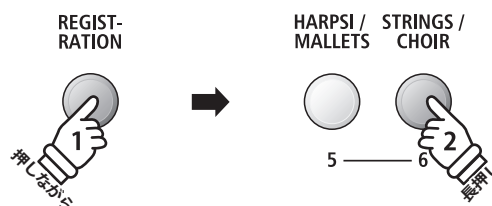
［EXIT］ボタンを押してレジストレーションモードを抜けます。

レジストレーションモードで選ばれていた設定のまま、［REGISTRATION］ボタンが消灯し、通常演奏画面へ戻ります。

■ レジストレーションに記憶する

［REGISTRATION］ボタンを押しながら、設定を記憶させたい番号の音色ボタン［1］〜［7］を長押しします。

メッセージ画面がディスプレイに表示され、現在のパネル設定が記憶されます。

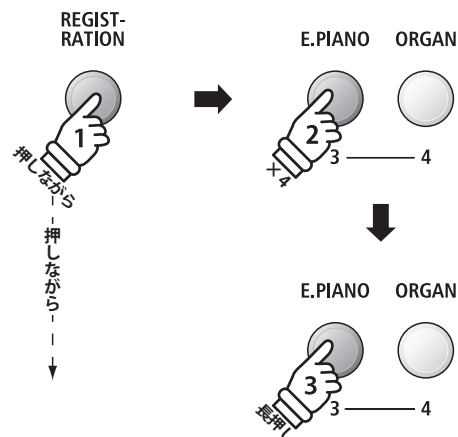
ﾚｼﾞｽﾄﾚｰｼｮﾝ 6A
ﾎｿﾞﾝｼﾏｼﾀ

（例）［REGISTRATION］ボタンを押しながら、［6］（［STRINGS/CHOIR］）ボタンを長押しして、メモリー「6A」に設定を記憶させます。

［REGISTRATION］ボタンを押しながら、同じ音色ボタンを押すと、ボタン内のメモリーA,B,C,Dを変更して記憶することができます。

* ［VALUE/BALANCE］ボタンでメモリーを選ぶこともできます。

ボタンを長押しすると、メッセージ画面がディスプレイに表示され、現在のパネル設定が記憶されます。

ﾚｼﾞｽﾄﾚｰｼｮﾝ 3D
[3]ﾎﾞﾀﾝ ﾅｶﾞｵｼ

ﾚｼﾞｽﾄﾚｰｼｮﾝ 3D
ﾎｿﾞﾝｼﾏｼﾀ

（例）［REGISTRATION］ボタンを押しながら、［3］（［E.PIANO］）ボタンを4回押し、その後［3］ボタンを長押しして、メモリー「3D」に設定を記憶させます。

■ レジストレーションを初期状態に戻す

［REGISTRATION］ボタンと［SPLIT］ボタンを押しながら電源を入れると、レジストレーションの設定を購入時の状態に戻すことができます。

リズムセクションを鳴らす

ES7のリズムセクションは、幅広い音楽ジャンルを網羅した100種類のリズムを持っています。そして、リズムの基本となるドラムのパートだけでなく、弾いた鍵盤のコード(和音)に合わせたベースとギターのシンプルな自動伴奏でピアノ演奏をサポートします。また、カウント、フィルイン、バリエーション、エンディングの伴奏パターンをパネル操作で切り替えることで、より躍動的に曲を演奏することができます。

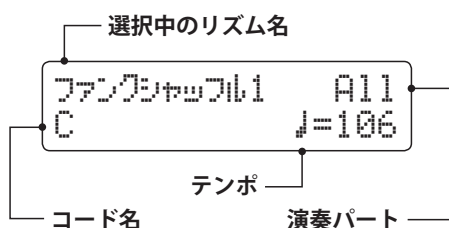
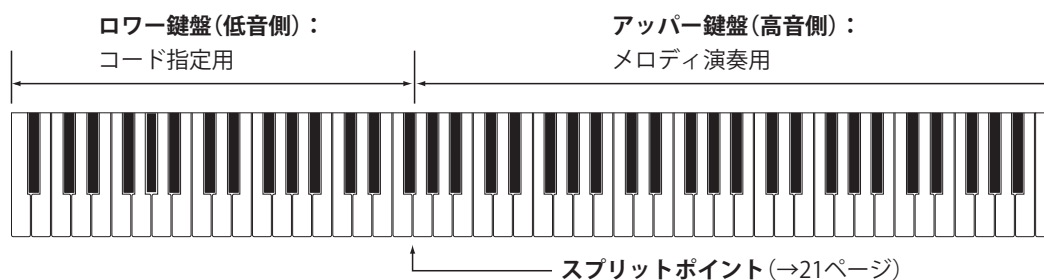
リズム一覧については、125ページを参照してください。

■ リズムセクション伴奏パターン一覧

伴奏パターン	内容	小節数
カウント(ドラムのみ)	ピアノ演奏を始めやすくするためのカウントです。	1または2
ベーシック	バッキングの基本となる、シンプルな伴奏パターンです。	4または8
バリエーション	曲が展開した時に演奏を盛り上げる、より複雑な伴奏パターンです。 バリエーション・パターンが選ばれているときは、リズム名の後に[V]マークが表示されます。	4または8
フィルイン	曲中でフレーズを繰り返す時や、ベーシックとバリエーションの伴奏パターンを切り替える時に入り、合図の役目をします。	1
エンディング	シンプルに、全パート一斉に終わります。	1

1. リズムセクションをオンにする

[RHYTHM SECTION]ボタンを押します。

[RHYTHM SECTION]ボタンが点灯し、自動伴奏の待機状態になります。
ディスプレイには、選択中のリズムについて次のように表示されます。

[RHYTHM SECTION]ボタンを点灯させると、スプリットポイントから低音側の鍵盤(ロワー鍵盤)が、自動伴奏のコードを指定するための鍵盤になります。[SPLIT]ボタンが点灯しているとき以外は、ロワー鍵盤の演奏音は鳴りません。

* スプリットポイントの初期値はG2(ソ)に設定されており、鍵盤はF#2とG2の間で分割されます。

* リズムセクションでのスプリットポイントは、スプリット演奏と共通になります。スプリットポイントの変更については21ページを参照してください。

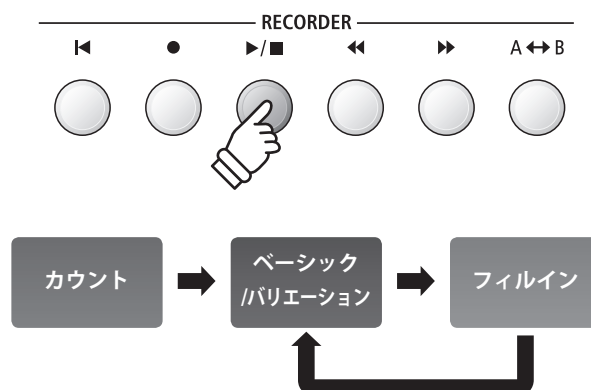
* 初期状態ではメロディーを演奏できるのはアッパー鍵盤のみですが、ACCモードを「フルキーボード」または「プリセットコード」にすると、88鍵すべてを使って自由に演奏することができます。(→44ページ,107ページ)

2. リズムセクションをスタートする

[▶/■(START/STOP)]ボタンを押します。

[▶/■(START/STOP)]ボタンが点灯し、ディスプレイにカウントダウンの数字が表示され、ドラムによるカウントが始まります。カウント演奏後ベーシックまたはバリエーションに切り替わります。

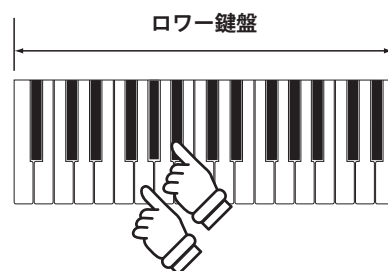
ロワー鍵盤でコードを指定し、アッパー鍵盤でメロディを演奏することができます。

リズムセッティングメニューの「オートフィルイン」を好みの小節数に設定すれば、ベーシック／バリエーションに切り替わった後から、設定された周期で自動的にフィルインが演奏されます。(→42ページ)

3. コードを押さえる

ロワー鍵盤でコード(和音)を押さえます。

押さえたコードに従って伴奏が演奏され、ディスプレイにはコード名が表示されます。

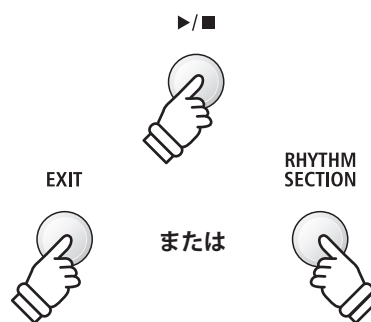
* ES7のリズムセクションは15種類のコードを検出します。詳細は126ページを参照してください。

*「ACCモード」でフルキーボードまたはプリセットコードを選ぶと、88鍵すべてを使って自由に演奏することができます。(→44ページ,107ページ)

(例) G(ソ)、B♭(シ♭)の鍵盤を押さえると、Gm(Gマイナー)のコードで伴奏します。

4. リズムセクションをストップする

[▶/■(START/STOP)]ボタンを押します。

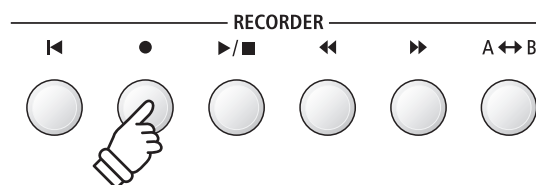
1小節のエンディングが演奏された後、自動伴奏が止まり、[▶/■(START/STOP)]ボタンが消灯します。

[EXIT]または、[RHYTHM SECTION]ボタンを押すと、通常演奏画面へ戻ります。

■ リズムセクションを使って録音する

リズムセクションがONになっているときに[●(REC)]ボタンを押すと録音待機状態になり、USBメモリ装着時はInt.レコーダーかUSBレコーダーかを選びます。

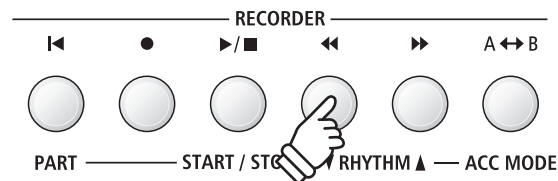
このときリズムセクションも[RHYTHM SECTION]ボタンが点灯したまま待機状態となります。

[▶/■(START/STOP)]ボタンを押すと、1小節のカウントの後、自動伴奏とともに録音が始まります。

* レコーダーの詳細は46ページを参照して下さい。

リズムを変更する

リズムセクション画面が表示されている間に、[▼RHYTHM▲]選択ボタン（レコーダーの[◀◀][▶▶]ボタン）を押して、他のリズムを選びます。

それぞれのスタイルは、ベーシックとバリエーションの2つのパターンを持っており、バリエーション・パターンが選ばれているときは、リズム名の後にVマークが表示されます。

* リズムセクションの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* リズムセクションの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）
* リズムセクションのリズム一覧は、125ページを参照してください。

リズムのビート/音楽ジャンルを変更する

[RHYTHM SECTION]ボタンを押しながら[▼RHYTHM▲]選択ボタン（レコーダーの[◀◀][▶▶]ボタン）を押します。

▲、▼を押すたびに、ビート/音楽ジャンルが切り替わり、ディスプレイにそのビート/音楽ジャンルの先頭のリズム名が表示されます。また、押したタイミングからフィルインが鳴り、次の小節で変更したベーシック/バリエーション・パターンに切り替ります。

* ビート/音楽ジャンルの種類は、リズム一覧（125ページ）をご覧ください。

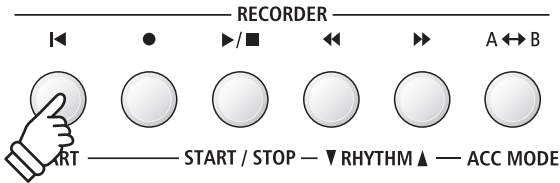
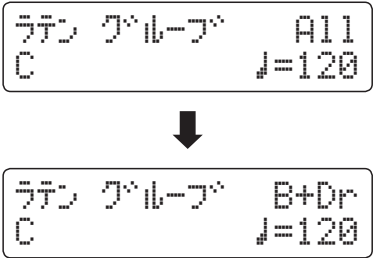
特定のパートだけを演奏する

リズムセクションは、いくつかの楽器パートで成り立っています。ES7は、ドラムスだけ鳴らすか、ベースとドラムスだけのシンプルな伴奏にするか、フルパートの伴奏にするかを選ぶことができます。

■ リズムセクション伴奏パート一覧

パート	表示	内容
ドラムス	Drum	ドラムスパートのみが演奏されます。
ベース＋ドラムス	B+Dr	ベースとドラムスの2パートで伴奏します。
オールパート	All	ドラムス、ベース、ギターなど全てのパートで伴奏します。

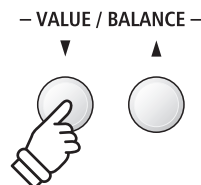
■ パートを変更する

リズムセクション画面が表示されている間に、[PART]ボタン（レコーダーの[I◀]ボタン）を押して、パート設定を選びます。

* リズムセクションの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* リズムセクションの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

リズムセクションの機能を使う

■ テンポを変更する

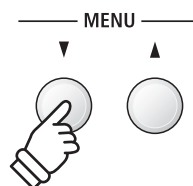
リズムセクション画面が表示されている間に、[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、テンポを選びます。

■ リズム セッティングの内容

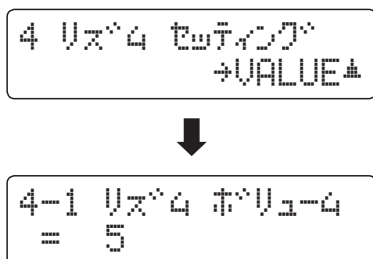
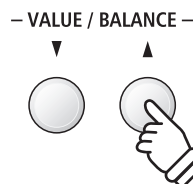
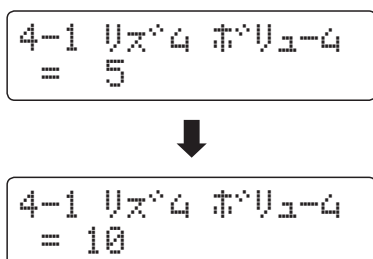
ページ	変更項目	内容	初期設定
4-1	リズム ボリューム	リズムセクションの音量を調節します。	5
4-2	オート フィルイン	オート フィルインが入る小節数を選びます。	8小節
4-3	ワンフィンガー アドリブ	「ワンフィンガー アドリブ」機能をオン/オフします。	オフ
4-4	ACC モード	自動伴奏のコード(和音)変更モードを選びます。	ノーマル
	プリセット コード	プリセット コードのコード進行パターンを選びます。	コード1

* プリセットコードのページは、ACCモードで「プリセットコード」が選ばれているときにのみ選ぶことができます。

■ リズム セッティングの変更項目を選ぶ

リズムセクション画面が表示されている間に[MENU]ボタンを押すと、メニューリスト画面が表示されますので、「リズム セッティング」メニューを選びます。

[VALUE/BALANCE▲]ボタンを押すと、リズム セッティング画面へ入ります。

(例) [MENU]ボタンを押して「リズム セッティング」メニューを選び、[VALUE/BALANCE▲]ボタンを押します。

* 電源オン時は、リズム ボリュームのページが表示されます。

[MENU]ボタンで、変更したい項目を選び、[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、リズムセッティングの設定を変更します。

(例) [VALUE/BALANCE▲]ボタンを押して、リズムの音量を調節します。

* リズムセクションの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

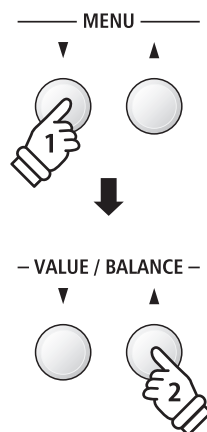
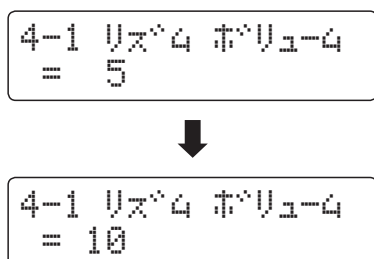
* リズムセクションの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。(→34ページ、82ページ)

1 リズムセクションの音量を変更する

鍵盤で弾いた音とバランスをとるために、リズムセクションの音量を調節することができます。

■ リズムボリューム

リズムセッティング画面が表示されている間に[MENU]ボタンを押して、リズムボリュームのページを選びます。

[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、リズムセクションの音量のを調節します。

* リズムボリュームは、1〜10の範囲で選ぶことができます。
* リズムボリュームの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* リズムボリュームの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。(→34ページ、82ページ)

2 オートフィルイン機能を使う

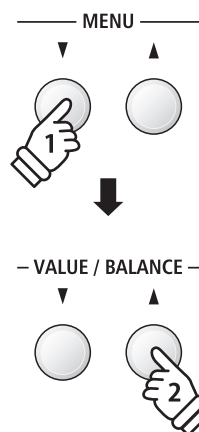
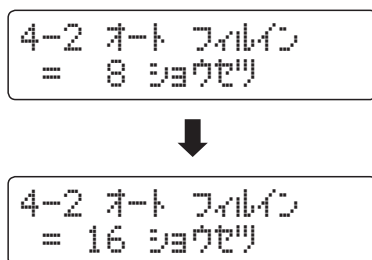
オートフィルインは設定した小節数の周期で自動的にフィルインを入れることができ、オートフィルイン設定のページで、フィルインの入る小節数を選ぶことができます。オートフィルイン機能を使わない場合は機能をオフすることもできます。

■ オートフィルイン設定の一覧

種類	内容
オフ	オートフィルイン機能を使いません。
4小節	4小節ごとにフィルインが入ります。
8小節（初期設定）	8小節ごとにフィルインが入ります。
12小節	12小節ごとにフィルインが入ります。
16小節	16小節ごとにフィルインが入ります。

■ オートフィルイン

リズムセッティング画面が表示されている間に［MENU］ボタンを押して、オートフィルインのページを選びます。

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、オートフィルインの設定を選びます。

```
4-2 オート フィルイン
 =  8 ショウセツ
```

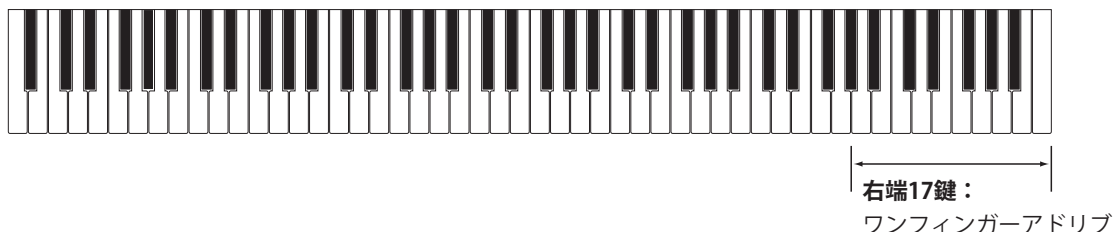
```
4-2 オート フィルイン
 = 16 ショウセツ
```

* オートフィルインの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* オートフィルインの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

3 ワンフィンガーアドリブ機能を使う

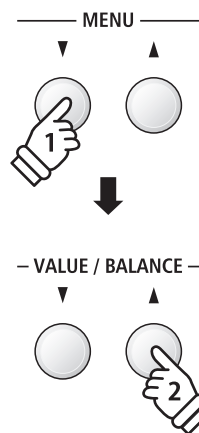
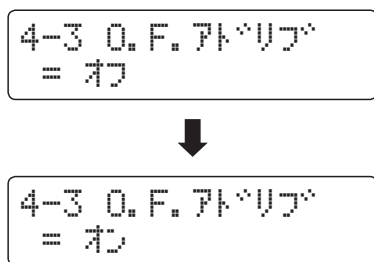
ワンフィンガーアドリブとは、指1本で、鍵盤を押している間だけコード（和音）に合ったソロフレーズを簡単に演奏することができる機能です。リズムセッティングで、ワンフィンガーアドリブ機能をオン／オフします。

右端の17鍵に、違ったフレーズが1小節ずつ割当てられており、リズムセクションに合わせて自由に組合せて演奏できます。

■ ワンフィンガーアドリブ設定の一覧

種類	内容
オフ（初期設定）	ワンフィンガーアドリブ機能は使いません。右端の17鍵盤は、音色で発音します。
オン	右端の17鍵盤を押すと、ワンフィンガーアドリブのフレーズが演奏されます。

■ ワンフィンガーアドリブ設定の変更

リズムセッティング画面が表示されている間に［MENU］ボタンを押して、ワンフィンガーアドリブのページを選びます。

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ワンフィンガーアドリブの設定を選びます。

4-3 O.F.アドリブ
= オフ

4-3 O.F.アドリブ
= オン

* ワンフィンガーアドリブの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* ワンフィンガーアドリブの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

4 ACCモード（コード指定方法）を選ぶ

ACCモードの設定ページでは、コード（和音）の指定方法を選びます。

初期状態では「ノーマル」に設定されており、スプリットポイントから低音側の鍵盤（ロワー鍵盤）が、自動伴奏のコードを指定するための鍵盤になり、高音側の鍵盤（アッパー鍵盤）がメロディを演奏するために通常の音色で発音します。

「フルキーボード」を選ぶと、88鍵すべてを使って自由に演奏することができます。ES7は、全鍵の演奏状態からリズムセクションのコードを認識します。

「プリセットコード」を選ぶと、それぞれのリズムにあらかじめ設定されているコード進行パターンで、リズムセクションが演奏されます。プリセットコード選択ページで他のコード進行パターンに変更することもできます。コード進行の一覧は、130ページを参照してください。

■ ACCモード（コード指定方法）の一覧

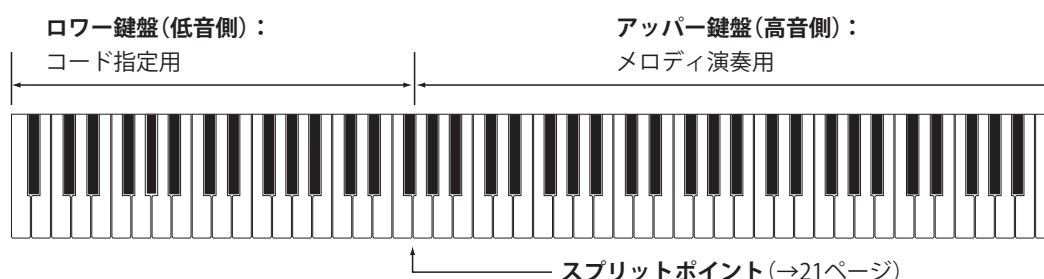
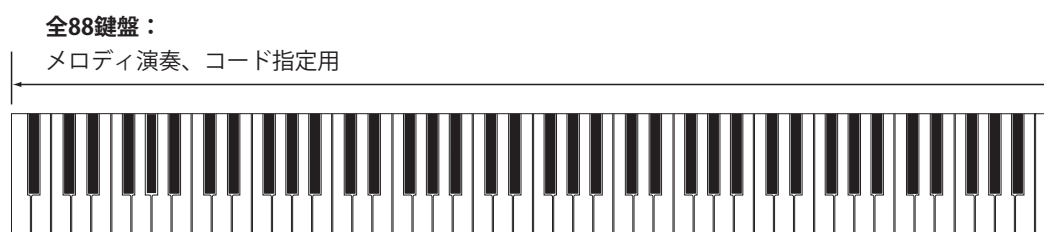
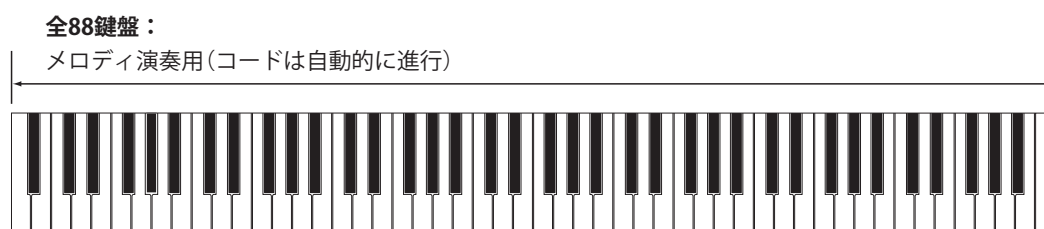
種類	内容
ノーマル（初期設定）	アッパー鍵盤でメロディー、ロワー鍵盤でコードを演奏します。
フルキーボード	全88鍵盤で、メロディーとコードを演奏します。
プリセットコード	全88鍵盤で、メロディーを演奏します。リズムセクションのコードは自動的に進行します。

■ノーマル

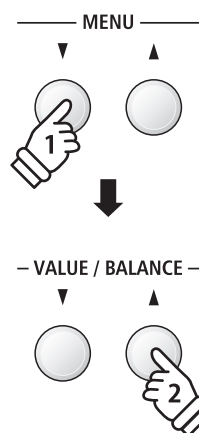
■フルキーボード

全88鍵盤：
メロディ演奏、コード指定用

■プリセットコード

全88鍵盤：
メロディ演奏用（コードは自動的に進行）

■ ACCモード（コード指定方法）の変更

リズムセッティング画面が表示されている間に［MENU］ボタンを押して、ACCモードのページを選びます。

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ACCモードを選びます。

* コードパターン機能がオンの時はオートフィルイン機能（→42ページ）は無効になり、コードパターンの最終小節で自動的にフィルインに切り替わります。

* ［ACC MODE］ボタン（レコーダーの［A↔B］ボタン）でもACCモードを切り換えることもできます。
「フルキーボード」モードでボタンが点灯し、「プリセットコード」モードでボタンが点滅します。

* ACCモードの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* ACCモードの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

プリセットコード

それぞれのリズムには、あらかじめ、お奨めのコード進行パターンが設定されていますが、プリセットコードのページで、他のコード進行パターンに変更することができます。コード進行パターンの一覧は130ページを参照してください。

* プリセットコードのページは、ACCモードで「プリセットコード」が選ばれているときのみ選ぶことができます。（→44ページ）

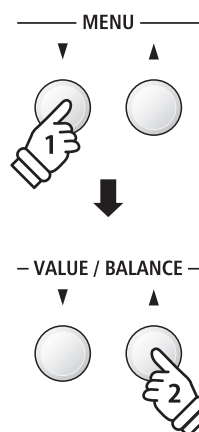
■ プリセットコードを変更する

リズムセッティング画面でACCモードがプリセットコードに設定されているとき、［MENU］ボタンを押してプリセットコードのページを選びます。

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、他のコード進行パターンを選びます。

4-4 プリセット コード
= コード2

⬇

4-4 プリセット コード
= コード7

* リズムを変更するとお奨めのコード進行パターンが選ばれますので、それまでの設定内容はクリアされます。

* プリセットコードの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

Int.（内部ソング）レコーダー

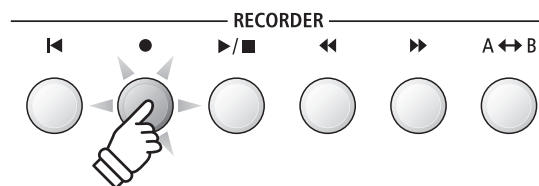
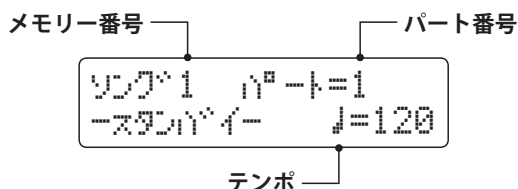
ES7本体のメモリーに10曲まで録音することができます。自分の演奏を録音しあとでじっくり聴いたり、指導者の方にお手本に録音してもらうなど、使い方は様々です。各曲とも2パートに分けて録音できるため、左手パートを先に録音しておき、再生しながら右手パートを録音することができます。また、連弾曲やアンサンブルの曲を1パートずつ録音して完成させることもできます。

また、リズムセクション（→36ページ）とともに演奏を録音することもできます。

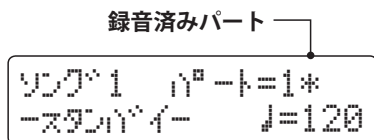
1 本体のメモリーに録音する

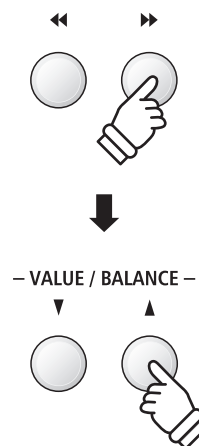
1. Int.レコーダーに入る

［●（REC）］ボタンを押します。

ボタンが点滅し、Int.（内部ソング）レコーダー画面が表示されます。

* USBメモリーが接続されている場合は、［MENU▲］ボタンを押して、「Int.レコーダー」を選びます。

2. メモリー/パートを選ぶ

［◀◀］［▶▶］ボタンで、録音するメモリーをソング1〜10から選びます。

［VALUE/BALANCE］ボタンで、録音するパート（1または2）を選びます。

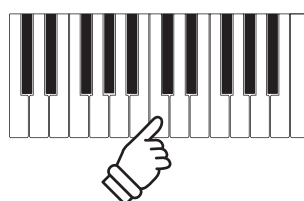
* そのパートがすでに録音されている場合は、'*'マークが表示されます。

録音するメモリーやパートを選ぶ場合は、すでに録音したパートを誤って上書きしてしまわないようにご注意ください。

3. 録音を開始する

演奏を始めます。

または

［●（REC）］ボタンと［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンが点灯して、録音が始まります。

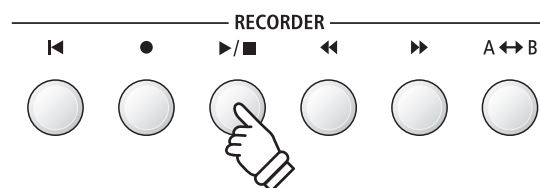
現在の小節と拍数がディスプレイに表示されます。

* 曲の始めに休みを入れたい場合は、［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押して録音を開始することもできます。

4. 録音を終了する

［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押します。［●（REC）］ボタンと［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンが消灯して、録音が終了します。

録音した曲は内部のメモリーへ自動的に保存され、再生待機状態になります。

```
ソング1  パート=1*
  1-1       ♩=120
```

Int.レコーダーの再生については、48ページを参照してください。

* レコーダーの総記憶容量は、ソング1～10の合計で約90,000音です。ボタンやペダルの操作も、1音として扱われます。
* 録音中に記憶容量がいっぱいになると録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。
* 録音した曲は、電源を切った後も内部メモリーへ保存されています。

■ 別のパートに録音する

別のパートに録音するときは、録音していないパートを選び、前述の手順を再度行ってください。

■ メトロノームを使って録音する

メトロノームを鳴らしながら録音すると、パートを分けて録音する場合や、正確なテンポで録音したい場合に便利です。
メトロノームの音は録音されません。

* メトロノームを使った録音の手順については32ページを参照して下さい。

■ 録音中のパネル操作に関して

録音中に音色やリズムを変更をしたい場合があります。レコーダーで記録されるかされないかの一覧は次のとおりです。

記録されるパネル操作
音色変更
デュアル/スプリットモードの移行

記録されないパネル操作
リバーブ設定の変更
エフェクト設定の変更
テンポ変更
デュアル/スプリットバランスの変更
トランスポーズ、チューニング、タッチカーブの変更

* 新しい曲を録音する前に、希望するテンポなどを選んでください。

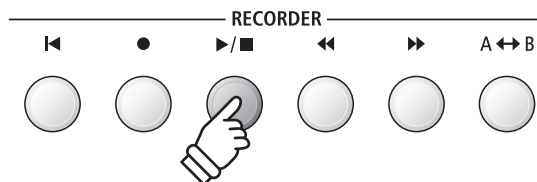
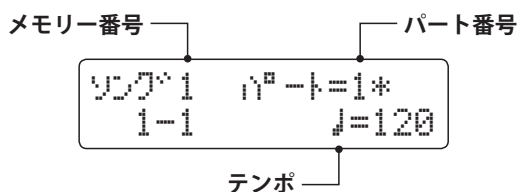
5. レコーダーモードを終わる

［EXIT］ボタンを押すと、レコーダーモードを終了し、通常の演奏状態に戻ります。

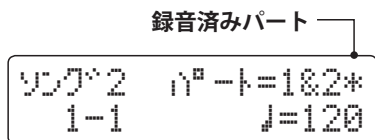
2 内部ソングを聴く

レコーダーの内部のメモリーに保存されたソングを再生します。録音したすぐ後に再生する場合は、ステップ2から初めてください。

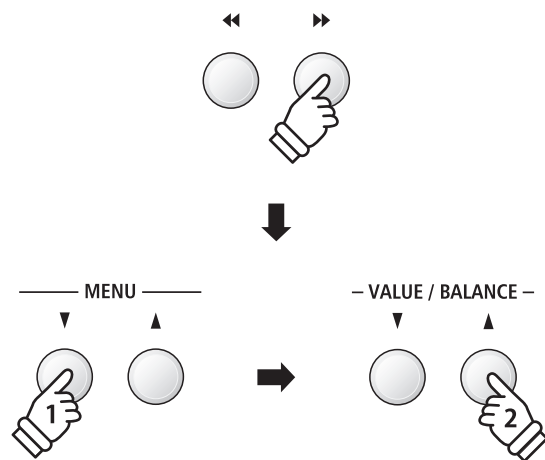
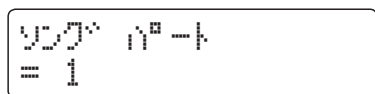
1. Int.レコーダーに入る

[▶/■(PLAY/STOP)]ボタンを押します。
Int.(内部ソング)レコーダー画面が表示されます。

* USBメモリーが接続されている場合は、[MENU▲]ボタンを押して、「Int.レコーダー」を選びます。

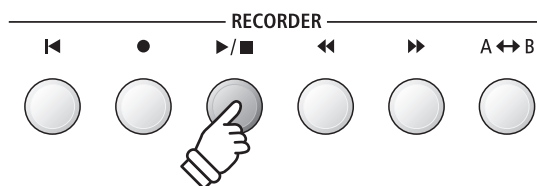
2. メモリー/パートを選ぶ

[◀◀][▶▶]ボタンで、再生する内部ソングを選びます。

[MENU]ボタンを押してソングパートのページを選び、[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、再生するパートを選びます。

* 録音されているパートは、'*'マークが表示されます。

ソング゛ パ゜ート
= 1

3. 再生を開始する

[▶/■(PLAY/STOP)]ボタンを押します。

選んだメモリー/パートの再生が始まり、現在の小節と拍数がディスプレイに表示されます。

■ レコーダーの再生を操作する

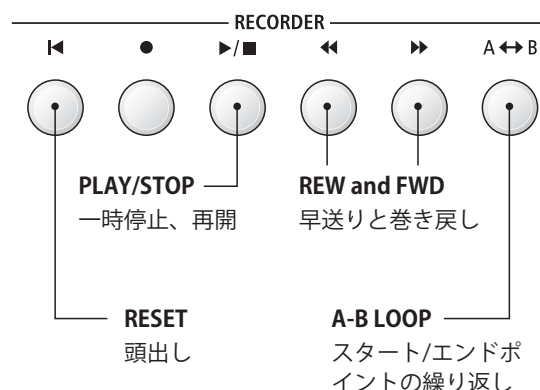
再生中、[RECORDER]のボタンで次の操作ができます。

[◀◀][▶▶]ボタン：曲を早送り、巻き戻しします。

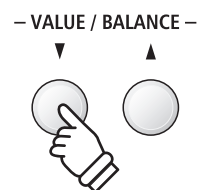
[A↔B]ボタン：2回押して、スタートポイント(A)とエンドポイント(B)を指定し、A、Bのポイントを繰り返し演奏します。

* 3回目で、繰り返しをオフします。

[▶/■]ボタン：押すと再生を一時停止し、再度押すと、再開します。

[I◀]ボタン：曲を頭出しします。

■ 再生テンポを調整する

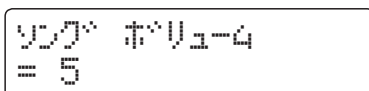
再生中に、[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、テンポを選びます。

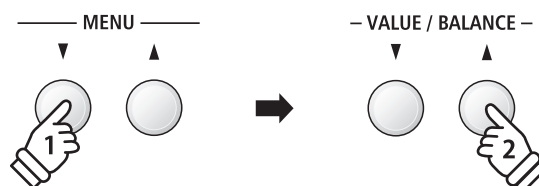
* 再生テンポは、10〜400の範囲で設定できます。

■ 再生の設定を変更する

ソングボリューム、ソングトランスポーズ、再生パートを変更します。

再生中に[MENU]ボタンを押して、目的の設定のページを選びます。

[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、設定を変更します。

```
ソング ボリューム
= 5
```

* ソングボリュームは、1〜10の範囲で選ぶことができます。
* ソングトランスポーズは、±12半音で変更できます。
* 再生パートは、パート1、パート2、パート1&2から選びます。

[EXIT]ボタンを押して、再生画面へ戻ります。

5. レコーダーモードを終わる

[EXIT]ボタンを押すと、レコーダーモードを終了し、通常の演奏状態に戻ります。

3 リズムセクションを使って録音する

リズムセクションを録音することができます。パート1にコードを指定しながらリズムセクションを録音し、パート2に全88鍵盤を使ってメロディを自由に録音する、ということもできます。

リズムセクションは、メモリのパート1にのみ録音することができます。

1. リズムセクションをオンにする

［RHYTHM SECTION］ボタンを押します。

［RHYTHM SECTION］ボタンが点灯し、自動伴奏の待機状態になります。

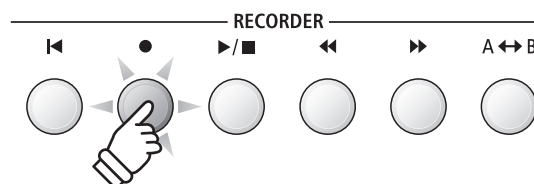
リズムセクションの設定は、［MENU］ボタンを押し、4.リズムセッティングをリストから選んで変更します。

* 詳細は40ページを参照してください。

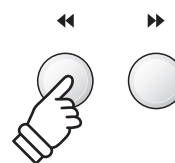
2. レコーダーモードに入る

［●（REC）］ボタンを押します。

ボタンが点滅し、Int.（内部ソング）レコーダー画面が表示されます。

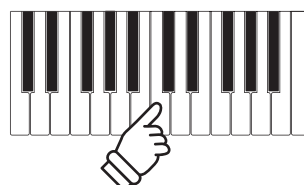
* USBメモリーが接続されている場合は、［MENU▲］ボタンを押して、「Int.レコーダー」を選びます。

3. メモリー/パートを選ぶ

［◀◀］［▶▶］ボタンで、録音するメモリーをソング1〜10から選び、［VALUE/BALANCE］ボタンでパート1を選びます。

* パート2にリズムセクションは録音できません。

4. 録音を開始する

鍵盤を弾くか、［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押します。

［●（REC）］ボタンと［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンが点灯して、録音が始まります。
［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押した場合は、1小節のカウントの後、リズムセクションの発音とともに録音が始まります。

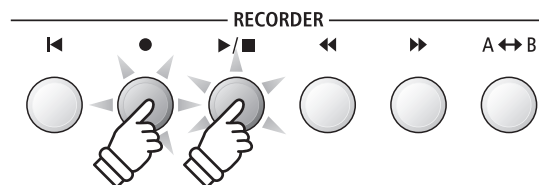
［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押すと、録音が終わります。

4 録音済みのパートを消去する

録音に失敗したり、いらなくなった内部ソングを1パートづつ消去することができます。
USBメモリ内の曲を消去する場合は60ページを参照してください。

1. 消去モードに入る

[●(REC)]ボタンと[▶/■(PLAY/STOP)]ボタンを同時に押します。

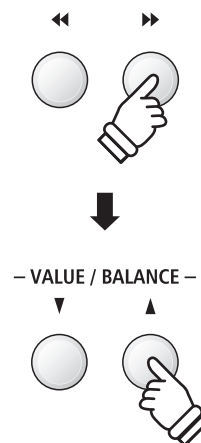
[●(REC)]ボタンと[▶/■(PLAY/STOP)]ボタンが点滅して、現在選ばれているメモリ番号とパート番号が消去画面に表示されます。

デリート　　　　　→REC
ソング1　パート=1*

2. 消去したいソングとパートを選ぶ

[◀◀][▶▶]ボタンを押して消去したいメモリ番号1〜10を選びます。

録音済みパート

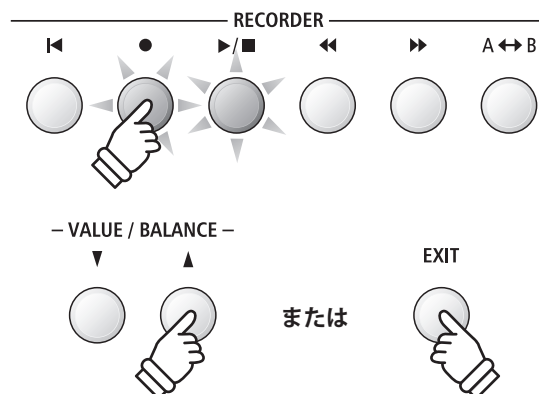
[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、消去したいパート番号を、1、2、1&2(曲全体)から選びます。

* 録音されているパートは、'*'マークが表示されます。

3. 消去する

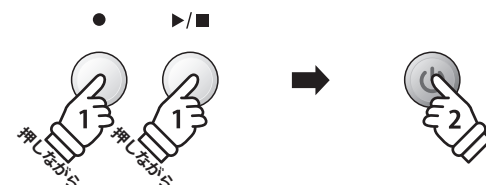
[●(REC)]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

ジッコウシマスカ?
→ VALUE▲

[VALUE/BALANCE▲]ボタンを押すと、選択したメモリー/パートの消去を実行し、再生画面へ戻ります。

キャンセルしたい場合は、[EXIT]ボタンを押します。

■ すべての曲を消去する

[▶/■(PLAY/STOP)]ボタンと[●(REC)]ボタンを押しながら電源を入れてください。

レコーダーの全てのメモリーが消去されます。

USBレコーダー

MP3やWAV形式で、USBメモリーにデジタルオーディオデータとして録音することができます。他の録音機器を用意することなく楽器上でダイレクトに高品質のオーディオ録音ができ、バンドメンバーにメールで送ったり、オーディオプレイヤーで再生したり、ワークステーションでリミックスしたりと、様々な使い方ができます。

■ オーディオ録音フォーマット仕様

ファイル形式	仕様	ビットレート
MP3	44.1 kHz、16bit、ステレオ	192 kbit/s(固定)
WAV	44.1 kHz、16bit、ステレオ	1,411 kbit/s

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

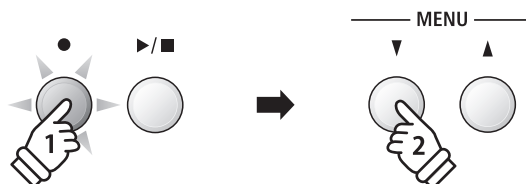
MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT.

1 USBメモリーに録音する

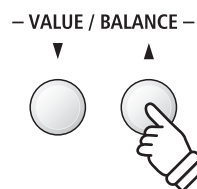
1. USBレコーダーに入る

USBメモリーを接続してください。

[●(REC)]ボタンを押してボタンを点滅させ、[MENU▼]ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。

ディスプレイにUSBレコーダー(ファイル形式選択)画面が表示されます。

2. ファイル形式を選ぶ

[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、録音したいファイル形式(MP3またはWAV)から選びます。

```
USB レコーダー
    フォーマット = MP3
```

* MP3形式は、WAV形式に比べ、メモリーの容量を必要としません。

* 1Gバイトのメモリーの場合、MP3形式で12時間を越える録音ができます。

3. 録音を開始する

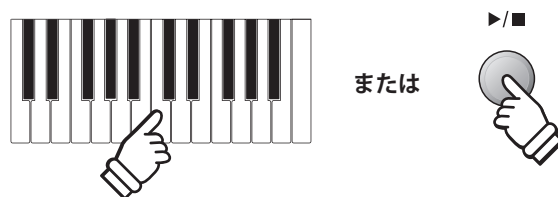
演奏を始めます。

[●(REC)]ボタンと[▶/■(PLAY/STOP)]ボタンが点灯して、録音が始まります。

録音時間がディスプレイに表示されます。

または

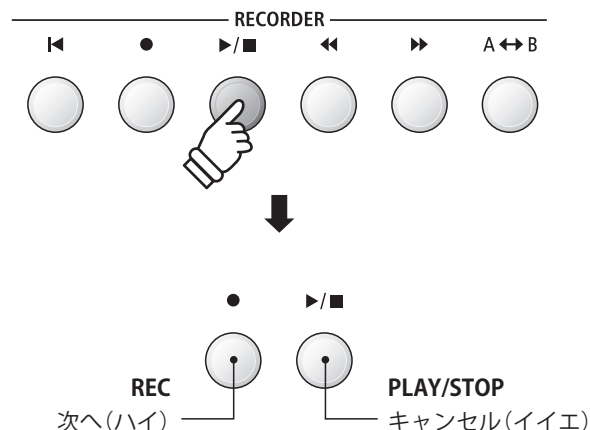
* 曲の始めに休みを入れたい場合は、[▶/■(PLAY/STOP)]ボタンを押して録音を開始することもできます。

演奏を録音再生する

4. 録音をストップして保存する

演奏が終わったら［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押して録音を終了します。［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンと［●（REC）］ボタンが消灯し録音が停止します。

録音した演奏をUSBメモリに保存するか決めます。保存する場合は［●（REC）］ボタンを、保存しない場合は［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押してください。

USBﾍ ﾎｿﾞﾝｼﾏｽｶ?
ﾊｲ→REC　ｲｲｴ→STOP

［●（REC）］ボタンを押すと次へ進みます。［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押した場合、録音結果は破棄されます。

5. ファイル名をつける

［●（REC）］ボタンを押すと、ファイル名の編集画面が表示されます。

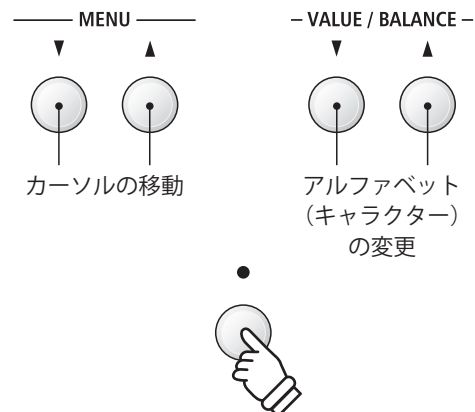
ﾌｧｲﾙﾈｰﾑ:　　→REC
Jazzy Tune

［MENU］ボタンを押してカーソルを移動し、［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ファイル名をつけます。

［●（REC）］ボタンを押すと、編集したファイル名でオーディオファイルに保存されます。

ディスプレイにUSBレコーダー画面が表示され、再生待機状態になります。

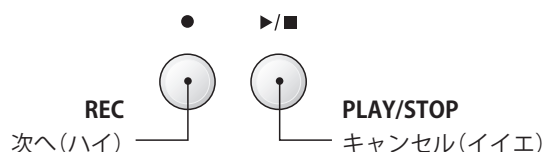
Jazzy Tune　MP3
00'00"　Vol.=5

USBレコーダーの再生については、54ページを参照してください。

* 初期ファイル名には、“Audio-000.MP3”,“Audio-000.WAV”のように、自動的に新たな番号がつけられています。
* ファイル名は最大11文字です。
* ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。異なるフォルダーへは保存できません。
* ラインインの音は録音されません。

■ ファイルの上書きについて

編集したファイル名のファイルがすでにある場合は、ディスプレイに、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

ｳﾜｶﾞｷｼﾏｽｶ?
ﾊｲ→REC　ｲｲｴ→STOP

［●（REC）］ボタンを押すと上書きされます。［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押した場合は、ファイル名編集画面へ戻ります。

2 オーディオファイルを聴く

USBメモリーに保存されたMP3やWAV形式のオーディオファイルを再生できます。
本格的なバッキングトラックを鳴らしながら1人でパフォーマンスしたり、曲を聞いて、コードやメロディを聞き取る作業を行うときなどに便利です。

■ オーディオ再生フォーマット仕様

ファイル形式	仕様	ビットレート
MP3	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz、モノ/ステレオ	8～320 kbit/s
WAV	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz、モノ/ステレオ、16bit	－

■ USBメモリーの準備

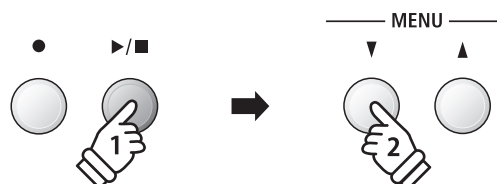
まず、用意したMP3またはWAVファイルをUSBメモリーへコピーします。

* USBメモリーは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

1. USBレコーダーに入る

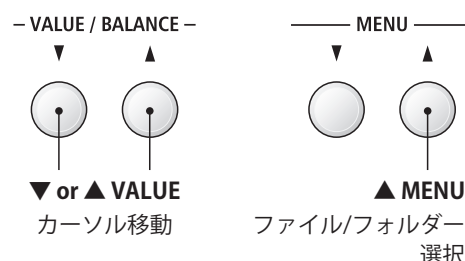
USBメモリーを接続してください。

［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押して、［MENU▼］ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。

ディスプレイにUSBレコーダー（ファイルリスト）画面が表示されます。

■ ファイルリスト画面表示について

ファイルリスト画面は、USBメモリーに保存されているファイルとフォルダーをリスト表示します。

▶は、選択中のファイル/フォルダーを示すカーソルです。
〈　　〉は、フォルダー名です。

ファイルリスト画面は次の様になります。
実際に表示されるのは2行までですが、下記のイラストは、カーソルより上の表示イメージを拡張しています。

* フォルダーはリストのトップに、ファイルはアルファベット順に配置されます。
* USBレコーダーでは、MP3、WAV、MIDファイルのみリストに表示されます。
* ファイル名は、最大11文字まで表示され、それ以降は表示されません。

2. ファイルを選び再生を開始する

［VALUE/BALANCE］でファイルを選び、［MENU▲］ボタンを押して決定します。

ディスプレイに再生画面が表示されます。

```
Man's World.mp3
 00'00"  Vol.=5
```

［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押します。
［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンが点灯し、選んだファイルの再生が始ります。

<チェイン再生>
［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを長押しすると、ボタンが点滅し「チェイン再生」が始ります。チェイン再生は、選んだファイルの再生の後、現在のフォルダー内のファイルをアルファベット順に順次再生します。

* ID3タグ等、ES7が認識可能なアーティスト名や曲名情報は、ファイル名に続いてディスプレイの1行目に表示されます。

* ファイル名やID3タグに日本語表記が使用されている場合は、正しく表示されません。

■ レコーダーの再生を操作する

再生中、［RECORDER］のボタンで次の操作ができます。
［◀◀］［▶▶］ボタン：曲を早送り、巻き戻しします。

［A↔B］ボタン：2回押して、スタートポイント（A）とエンドポイント（B）を指定し、A、Bのポイントを繰り返し演奏します。

* 3回目で、繰り返しをオフします。

［▶/■］ボタン：押すと再生を一時停止し、再度押すと、再開します。

［I◀］ボタン：曲を頭出しします。

RECORDER

PLAY/STOP
一時停止、再開

REW and FWD
早送りと巻き戻し

RESET
頭出し

A-B LOOP
スタート/エンドポイントの繰り返し

■ 再生の音量を調整する

再生中に、［VALUE/BALANCE］ボタンを押して音量を調節します。

* 音量は、1～10の範囲で設定できます。

* 一般に販売されているオーディオファイルはマスタリング処理が施されている為に波形が限界まで大きくしてあるのに対し、楽器（ピアノ）はダイナミックレンジ幅が大きいため、普通に録音した波形は小さくなります。そこに大きな音量差が生まれるため、音量調整やデフォルトの音量設定が必要になります。

3. レコーダーモードを終わる

［EXIT］ボタンを押すと、レコーダーモードを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

3 MIDIファイルを聴く

USBメモリーに保存されたMIDIファイルを再生できます。

お手持ちのSMF形式のMIDIファイルを、ES7の『プログレッシブハーモニックイメージング（PHI）音源』で聴くことができます。

■ MIDIファイル再生フォーマット仕様

ファイル形式	仕様
MID	フォーマット0、フォーマット1
KSO	内部ソングフォーマット

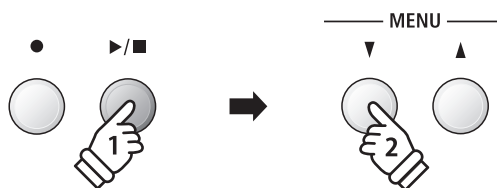
■ USBメモリーの準備

まず、用意したMIDIファイルをUSBメモリーへコピーします。

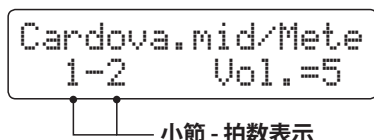
* USBメモリーは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

1. USBレコーダーに入る

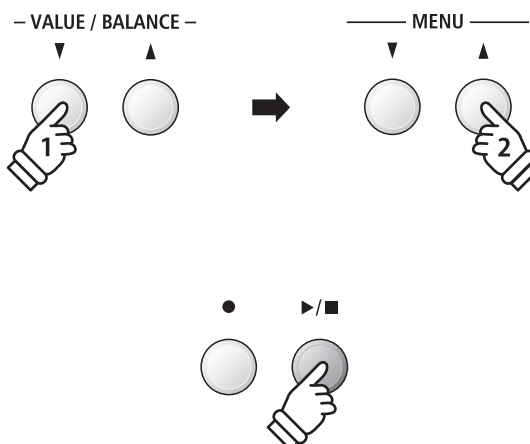
USBメモリーを接続してください。

［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押して、［MENU▼］ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。

ディスプレイにUSBレコーダー（ファイルリスト）画面が表示されます。

* ファイルリスト画面については、54ページを参照してください。

2. ファイルを選び再生を開始する

［VALUE/BALANCE］でファイルを選び、［MENU▲］ボタンを押して決定します。

ディスプレイに再生画面が表示されます。

［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押します。

［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンが点灯し、選んだファイルの再生が始ります。

<チェイン再生>

［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを長押しすると、ボタンが点滅し「チェイン再生」が始ります。チェイン再生は、選んだファイルの再生の後、現在のフォルダー内のファイルをアルファベット順に順次再生します。

* ES7に搭載されていない音色を含むMIDIファイル（GMソングなど）を再生した場合、元の曲の音色が正確に再現されない場合があります。（ES7は、GM規格には対応していません）

■ レコーダーの再生を操作する

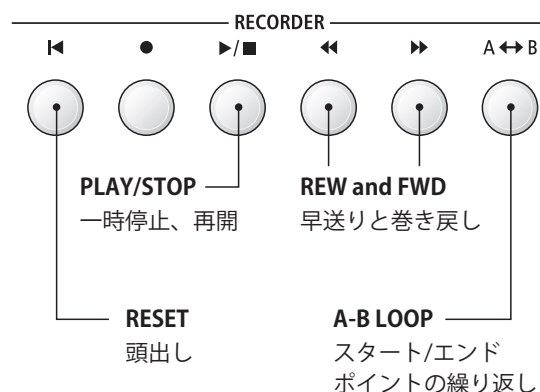
再生中、[RECORDER]のボタンで次の操作ができます。

[◀◀][▶▶]ボタン：曲を早送り、巻き戻しします。

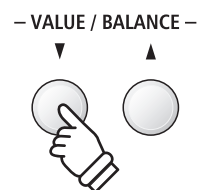
[A↔B]ボタン：2回押して、スタートポイント(A)とエンドポイント(B)を指定し、A、Bのポイントを繰り返し演奏します。

* 3回目で、繰り返しをオフします。

[▶/■]ボタン：押すと再生を一時停止し、再度押すと、再開します。

[I◀]ボタン：曲を頭出しします。

■ 再生の音量を調整する

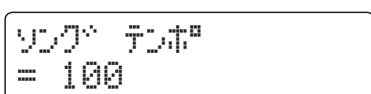
再生中に、[VALUE/BALANCE]ボタンを押して音量を調節します。

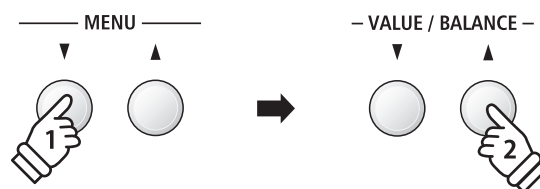
* 音量は、1〜10の範囲で設定できます。
* MIDIファイルの再生に合わせて演奏する際、鍵盤演奏との音量のバランスを調節することができます。

■ 再生の設定を変更する

テンポ、ソングトランスポーズ、再生パート(マイナスワン)を変更します。

再生中に[MENU]ボタンを押して、目的の設定のページを選びます。

[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、設定を変更します。

ｿﾝｸﾞ ﾃﾝﾎﾟ
= 100

* テンポは、10〜400の範囲で選ぶことができます。
* ソングトランスポーズは、±12半音で変更できます。
* マイナスワンパートは、パート1〜16、オフを選べます。

[EXIT]ボタンを押して、再生画面へ戻ります。

3. レコーダーモードを終わる

[EXIT]ボタンを押すと、レコーダーモードを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

4 リズムセクションを使って録音する

リズムセクションによるドラム、ベース、ギターの自動伴奏を使った演奏を、高品質なサウンドでオーディオ録音できます。バンドメンバーにメールで送ったり、オーディオプレイヤーで再生したり、ワークステーションでリミックスしたりと、様々な使い方ができます。

1. リズムセクションをオンにする

［RHYTHM SECTION］ボタンが点灯し、自動伴奏の待機状態になります。

リズムセクションの設定は、［MENU］ボタンを押し、4.リズムセッティングをリストから選んで変更します。

* 詳細は40ページを参照してください。

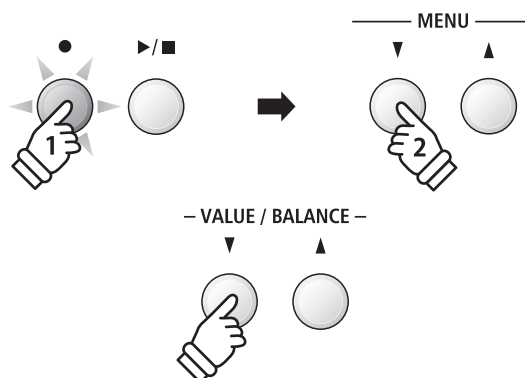
2. レコーダーモードに入る

USBメモリーを接続してください。

［●（REC）］ボタンを押してボタンを点滅させ、［MENU▼］ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。

ディスプレイにUSBレコーダー（ファイル形式選択）画面が表示されます。

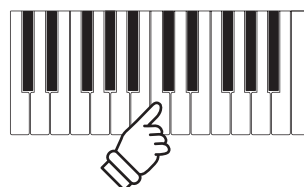
```
USB レコーダー
    フォーマット = MP3
```

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、録音したいファイル形式（MP3またはWAV）から選びます。

3. 録音を開始する

鍵盤を弾くか、［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押します。

［●（REC）］ボタンと［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンが点灯して、録音が始まります。

［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押した場合は、1小節のカウントの後、メトロノームの発音とともに録音が始まります。

［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押すと、録音が終わります。

または

4. ファイル名をつけて保存する

53ページを参照してください。

5 内部ソングをオーディオファイルにする

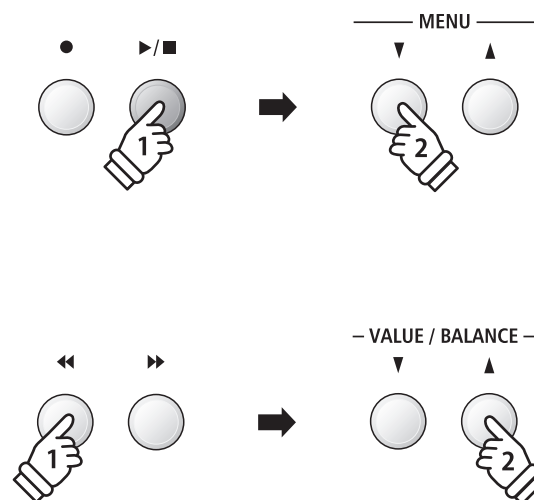
内部メモリーに録音されたMIDIソングをMP3/WAV形式に変換しながら、USBメモリーへ録音することができます。

1. 内部ソングを選ぶ

USBメモリーを接続してください。

[▶/■(PLAY/STOP)]ボタンを押して、[MENU▲]ボタンを押して、「Int.レコーダー」を選びます。

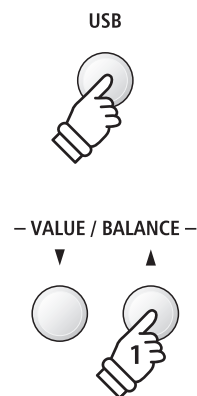
ディスプレイにInt.(内部ソング)レコーダー画面が表示されます

[◀◀][▶▶]ボタンで、再生する内部ソングを選びます。

2. オーディオ変換機能を選ぶ

[USB]ボタンを押します。

ディスプレイにオーディオ変換画面が表示されます。

オーディオ ヘンカン
フォーマット = MP3

[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、変換したいファイル形式(MP3またはWAV)から選びます。

3. 変換を開始する

[▶/■(PLAY/STOP)]ボタンを押すと、変換が始まります。

ディスプレイに変換状態が表示されます。

ソング1 パート=1*
00'00" ヘンカンチュウ

* 鍵盤を弾いた音もオーディオファイルへ録音されます。

* 再生が終わると変換は終了し、自動的に保存の確認画面が表示されます。

4. ファイル名をつけて保存する

53ページを参照してください。

6 USBメモリ内のファイルを消去する

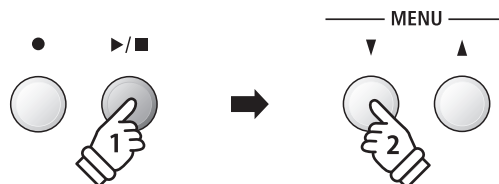
USBメモリ内のMP3/WAVファイルやMIDIソングファイルを消去することができます。一度USBメモリーから消去したファイルは、回復できません。

1. USBレコーダーに入る

USBメモリーを接続してください。

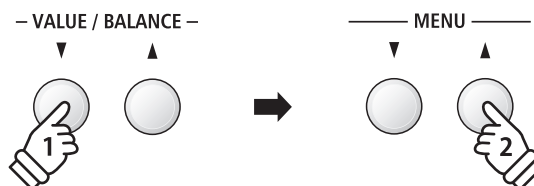
［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押して、［MENU▼］ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。

ディスプレイにUSBレコーダー（ファイルリスト）画面が表示されます。

* ファイルリスト画面については、54ページを参照してください。

2. ファイルを選ぶ

［VALUE/BALANCE］でファイルを選び、［MENU▲］ボタンを押して決定します。

ディスプレイに再生画面が表示されます。

```
Audio_001.mp3
 00'00"  Vol.=5
```

3. 消去モードに入る

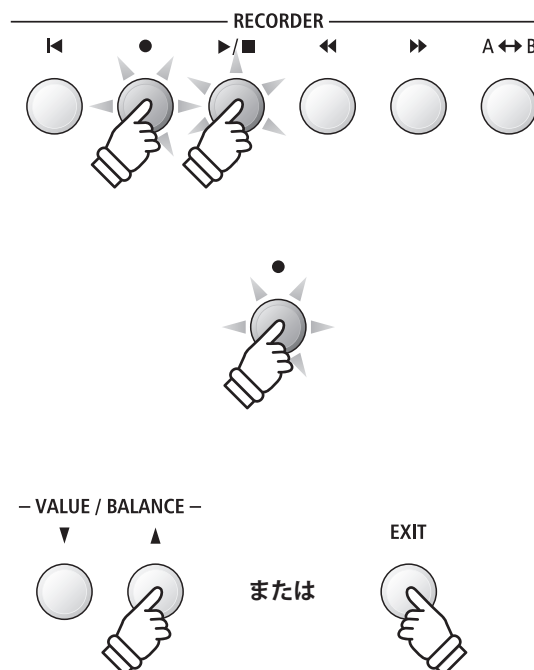
［●（REC）］ボタンと［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを同時に押します。
［●（REC）］ボタンと［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンが点滅して、消去画面が表示されます。

```
ﾃﾞﾘｰﾄ          →REC
Audio_001.mp3
```

［●（REC）］ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ ?
        →VALUE▲
```

［VALUE/BALANCE▲］ボタンを押すと、選択したファイルの消去を実行し、ファイルリスト画面へ戻ります。

キャンセルしたい場合は、［EXIT］ボタンを押します。

USBメニューについて

USBメモリを接続して、本体に録音したデータをUSBメモリに保存したり、USBメモリをフォーマットするなどの操作を行います。

■ USBメニューの内容

ページ	項目	内容
1	ロード内部ソング	USBメモリ内の内部フォーマットソングを本機のメモリーに読み込みます。
2	ロードレジスト	USBメモリ内のレジストファイルを本機のメモリーに読み込みます。
3	セーブSMFソング	本体に録音した曲を、パソコンなどで再生可能なSMFでUSBメモリに保存します。
4	セーブ内部ソング	本体に録音した曲を、再ロード可能な内部フォーマットでUSBメモリに保存します。
5	セーブレジスト	本体に保存したレジストレーション設定を、USBメモリに保存します。
6	リネーム	USBメモリ内のファイル名を変更します。
7	デリート	USBメモリ内のファイルを消去します。
8	フォーマット	USBメモリを初期化します。

1. USBメニューへ入る

USBメモリーを接続してください。

USB

［USB］ボタンを押します。

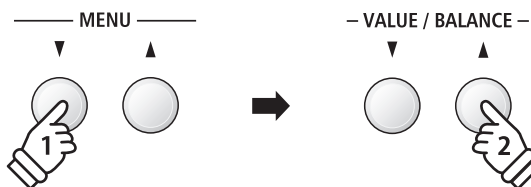
［USB］ボタンが点灯し、USBモードのメニューリスト画面が表示されます。

1 ﾛｰﾄﾞ ﾅｲﾌﾞｿﾝｸﾞ
➔VALUE▲

2. USBメニューの機能を選ぶ

［MENU］ボタンを押して、目的のUSBメニューの機能ページを選びます。

3 ｾｰﾌﾞ SMFｿﾝｸﾞ
➔VALUE▲

［VALUE/BALANCE▲］ボタンを押して、決定します。

3. USBメニューを終わる

［EXIT］または［USB］ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

USB

1 内部ソングをロードする

USBメモリを接続して、USBメモリ内の本機でセーブした曲を読み込む（ロードする）ことができます。読み込んだ曲はES7で再生することができます。

1. 内部ソングロード機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、［USB］ボタンを押します。

［MENU］ボタンで、「ロード ナイブソング」を選び、［VALUE/BALANCE▲］ボタンを押して、内部ソングのロード機能を選びます。

ディスプレイにファイルリスト画面が表示されます。

* ファイルリスト画面については、54ページを参照してください。

2. ロードするファイルを選ぶ

［VALUE/BALANCE］でファイルを選び、［MENU▲］ボタンを押して決定します。

ディスプレイにロード先指定画面が表示されます。

▶FnkyMiracle KSO
Simple Song KSO

3. ロード先の内部メモリーを指定する

［VALUE/BALANCE］でロード先の内部メモリーを指定します。

* すでに録音されているパートには、'*'マークがついています。

4. ロードする

［●（REC）］ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

［VALUE/BALANCE▲］ボタンを押すと、選択したファイルのロードを実行します。
キャンセルしたい場合は、［EXIT］ボタンを押します。

ロードした曲を聞くときは、48ページを参照してください。

シ゛ッコウシマシタ。

5. USBメニューを終わる

［EXIT］または［USB］ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

2 レジストレーションをロードする

USBメモリを接続して、USBメモリ内の本機でセーブしたレジストレーションファイルを読み込む（ロードする）ことができます。レジストレーションファイルには、「シングル」と「オール」の2つの形式があります。

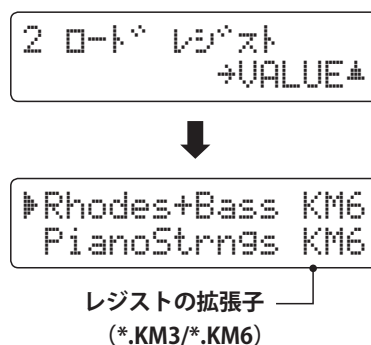
■ レジストレーションファイルの種類

種類	内容	拡張子
シングル	一つのレジストレーションを格納します。	KM6
オール	全ての28レジストレーションを格納します。	KM3

1. レジストレーションのロード機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、［USB］ボタンを押します。

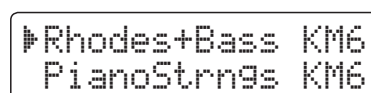
［MENU］ボタンで、「ロード レジスト」を選び、［VALUE/BALANCE▲］ボタンを押して、レジストレーションのロード機能を選びます。

ディスプレイにファイルリスト画面が表示されます。

* ファイルリスト画面については、54ページを参照してください。

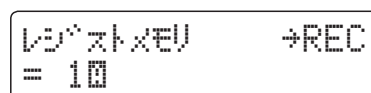
2. ロードするファイルを選ぶ

［VALUE/BALANCE］でファイルを選び、［MENU▲］ボタンを押して決定します。

ディスプレイにロード先指定画面が表示されます。

▶Rhodes+Bass KM6
PianoStrngs KM6

3. ロード先のレジストレーションメモリーを指定する

［VALUE/BALANCE］でロード先のレジストレーションメモリーを指定します。

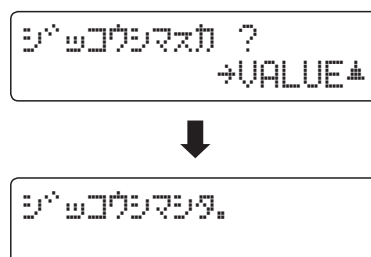
*「オール」（KM3）のファイルを選んだ場合は、この画面はスキップされます。

ﾚｼﾞｽﾄﾒﾓﾘ →REC
= 10

4. ロードする

［●（REC）］ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

［VALUE/BALANCE▲］ボタンを押すと、選択したファイルのロードを実行します。
キャンセルしたい場合は、［EXIT］ボタンを押します。

ロードしたレジストレーションを使うときは、34ページを参照してください。

ｼﾞｯｺｳｼﾏｼﾀ.

3 SMF（MIDIファイル）形式で保存する

内部レコーダーのソングメモリーの内容を、SMF形式でUSBメモリーに保存します。

1. SMFセーブ機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、［USB］ボタンを押します。

［MENU］ボタンで、「セーブSMFソング」を選び、［VALUE/BALANCE▲］ボタンを押して、SMFソングのセーブ機能を選びます。

ディスプレイにソングメモリー選択画面が表示されます。

3 ｾｰﾌﾞ SMFｿﾝｸﾞ
→VALUE▲

ｾｰﾌﾞ SMFｿﾝｸﾞ→REC
= Song1*

2. 保存したいソングを選ぶ

［VALUE/BALANCE］で保存したい内部ソングメモリーを選びます。

［●（REC）］ボタンを押すと、ファイル名の編集画面が表示されます。

ｾｰﾌﾞ SMFｿﾝｸﾞ→REC
= Song3*

ﾌｧｲﾙﾈｰﾑ: →REC
Song-000 MID

3. ファイル名をつける

［MENU］ボタンを押してカーソルを移動し、［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ファイル名をつけます。

* ファイル名は最大11文字です。

* ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。異なるフォルダーへは保存できません。

ﾌｧｲﾙﾈｰﾑ: →REC
Streetlife MID

4. 保存する

［●（REC）］ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

［VALUE/BALANCE▲］ボタンを押すと、ファイルの保存を実行します。
キャンセルしたい場合は、［EXIT］ボタンを押します。

ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ ?
→VALUE▲

ｼﾞｯｺｳｼﾏｼﾀ.

5. USBメニューを終わる

［EXIT］または［USB］ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

4 内部ソング形式で保存する

内部レコーダーのソングメモリーの内容を、内部ソング形式でUSBメモリーに保存します。

1. 内部ソングセーブ機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、[USB]ボタンを押します。

[MENU]ボタンで、「セーブ ナイブソング」を選び、[VALUE/BALANCE▲]ボタンを押して、内部ソングのセーブ機能を選びます。

ディスプレイにソングメモリー選択画面が表示されます。

4 ｾｰﾌﾞﾅｲﾌﾞｿﾝｸﾞ
→VALUE▲

ｾｰﾌﾞﾅｲﾌﾞｿﾝｸﾞ →REC
= Song1*

2. 保存したいソングを選ぶ

[VALUE/BALANCE]で保存したい内部ソングメモリーを選びます。

[●(REC)]ボタンを押すと、ファイル名の編集画面が表示されます。

ｾｰﾌﾞﾅｲﾌﾞｿﾝｸﾞ →REC
= Song4*

ﾌｧｲﾙﾈｰﾑ: →REC
Song-000 KSO

3. ファイル名をつける

[MENU]ボタンを押してカーソルを移動し、[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、ファイル名をつけます。

* ファイル名は最大11文字です。

* ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。異なるフォルダーへは保存できません。

ﾌｧｲﾙﾈｰﾑ: →REC
Streetlife KSO

4. 保存する

[●(REC)]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

[VALUE/BALANCE▲]ボタンを押すと、ファイルの保存を実行します。
キャンセルしたい場合は、[EXIT]ボタンを押します。

ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ ?
→VALUE▲

ｼﾞｯｺｳｼﾏｼﾀ｡

5. USBメニューを終わる

[EXIT]または[USB]ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

5 レジストレーションを保存する

本機のレジストレーションメモリーの内容をUSBメモリーに保存できます。レジストレーションファイルには、「シングル」と「オール」の2つの形式があります。

■ レジストレーションファイルの種類

種類	内容	拡張子
シングル	一つのレジストレーションを格納します。	KM6
オール	全ての28レジストレーションを格納します。	KM3

1. レジストセーブ機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、[USB]ボタンを押します。

[MENU]ボタンで、「セーブ レジスト」を選び、[VALUE/BALANCE▲]ボタンを押して、レジストレーションのセーブ機能を選びます。

ｾｰﾌﾞ ﾚｼﾞｽﾄ →REC
= All

ディスプレイにソングメモリー選択画面が表示されます。

2. 保存したいレジストレーションを選ぶ

[VALUE/BALANCE]で保存したいレジストレーションメモリーを選びます。

ｾｰﾌﾞ ﾚｼﾞｽﾄ →REC
= 28

* 「All」を選ぶと、全てのレジストレーションを一つのファイルへ保存します。

[●(REC)]ボタンを押すと、ファイル名の編集画面が表示されます。

ﾌｧｲﾙﾈｰﾑ: →REC
OneReg-000 KM6

3. ファイル名をつける

[MENU]ボタンを押してカーソルを移動し、[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、ファイル名をつけます。

ﾌｧｲﾙﾈｰﾑ: →REC
DonnyH_ KM6

* ファイル名は最大11文字です。

* ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。異なるフォルダーへは保存できません。

4. 保存する

[●(REC)]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ ?
→VALUE▲

[VALUE/BALANCE▲]ボタンを押すと、ファイルの保存を実行します。
キャンセルしたい場合は、[EXIT]ボタンを押します。

ｼﾞｯｺｳｼﾏｼﾀ.

6 ファイル名を変更する

USBメモリ内のファイル名を変更することができます。

1. リネーム機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、[USB]ボタンを押します。

[MENU]ボタンで、「リネーム」を選び、[VALUE/BALANCE▲]ボタンを押して、ファイル名の変更(リネーム)機能を選びます。

ディスプレイにファイルリスト画面が表示されます。

* ファイルリスト画面については、54ページを参照してください。

6 リネーム
→VALUE▲

▶Audio_002 MP3
Audio_003 MP3

2. リネームしたいファイルを選ぶ

[VALUE/BALANCE]でファイルを選び、[MENU▲]ボタンを押して決定します。

ディスプレイにファイル名の編集画面が表示されます。

▶Audio_003 MP3
Audio_004 MP3

3. ファイル名をつける

[MENU]ボタンを押してカーソルを移動し、[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、ファイル名をつけます。

* ファイル名は最大11文字です。

ファイルネーム: →REC
James'G MP3

4. リネームを実行する

[●(REC)]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

[VALUE/BALANCE▲]ボタンを押すと、選択したファイルのリネームを実行します。
キャンセルしたい場合は、[EXIT]ボタンを押します。

ジッコウシマスカ ?
→VALUE▲

ジッコウシマシタ。

5. USBメニューを終わる

[EXIT]または[USB]ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

7 ファイルを消去する

USBメモリ内のファイルを消去することができます。一度USBメモリーから消去したファイルは、回復できません。

1. デリート機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、[USB]ボタンを押します。

[MENU]ボタンで、「デリート」を選び、[VALUE/BALANCE▲]ボタンを押して、ファイルの消去（デリート）機能を選びます。

ディスプレイにファイルリスト画面が表示されます。

* ファイルリスト画面については、54ページを参照してください。

2. デリートしたいファイルを選ぶ

[VALUE/BALANCE]でファイルを選び、[MENU▲]ボタンを押して決定します。

▶Audio_003 MP3
Audio_004 MP3

3. デリートを実行する

[●(REC)]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

[VALUE/BALANCE▲]ボタンを押すと、選択したファイルのデリートを実行します。
キャンセルしたい場合は、[EXIT]ボタンを押します。

ジッコウシマシタ。

4. USBメニューを終わる

[EXIT]または[USB]ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

8 フォーマット(初期化)する

接続したUSBメモリをフォーマットすることができます。

フォーマットを実行するとUSBメモリ内のデータがすべて消去されますので、十分ご注意ください。

1. フォーマット機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、[USB]ボタンを押します。

[MENU]ボタンで、「フォーマット」を選び、[VALUE/BALANCE▲]ボタンを押して、USBメモリーのフォーマット機能を選びます。

ディスプレイに確認のメッセージが表示されます。

フォーマット ?
ハイ→REC イイエ→STOP

2. 確認する

[●(REC)]ボタンを押すと、次の確認画面へ進みます。[▶/■(PLAY/STOP)]ボタンを押した場合は、フォーマットはキャンセルされます。

フォーマット ?
ハイ→REC イイエ→STOP

3. フォーマットを実行する

[VALUE/BALANCE▲]ボタンを押すと、フォーマットを実行します。

キャンセルしたい場合は、[EXIT]ボタンを押します。

ジッコウシマスカ ?
→VALUE▲

フォーマットチュウ...
30%

ジッコウシマシタ。

4. USBメニューを終わる

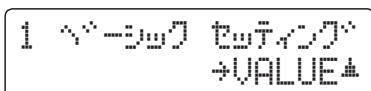
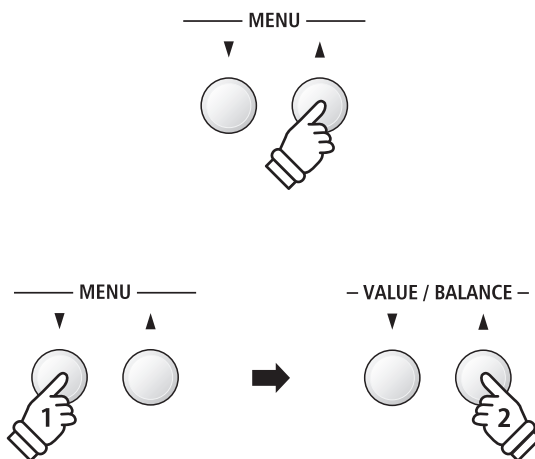
[EXIT]または[USB]ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

設定メニューについて

設定メニューでは、演奏を楽しむためのさまざまな設定ができます。
これらの設定は、28のレジストレーションメモリーへ保存したり、ユーザーメモリー機能で、電源オン時の設定とすることができます。

■ 設定メニューへ入る

通常の演奏画面で[MENU]ボタンを押すと、メニューリスト画面が表示されます。

```
1 ﾍﾞｰｼｯｸ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ
          →VALUE▲
```

[MENU]ボタンを押して、目的のメニューを選びます。
[VALUE/BALANCE▲]ボタンを押すと、そのメニューの設定画面へ入ります。

■ 設定メニューを終わる

[EXIT]ボタンを押すと、メニューリスト画面に戻ります。

再度[EXIT]ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

■ 設定メニュー一覧

1. ベーシックセッティング
イコライザー、ウォールEQ、スピーカーボリューム、
ヘッドホンボリューム、ラインアウトボリューム、録音レベル、
チューニング、ダンパーホールド、4ハンズ、ユーザーメモリー、
ファクトリーリセット、表示言語

2. コンサートチューナー
タッチカーブ、ボイシング、ダンパーレゾナンス、
ダンパーノイズ、ストリングレゾナンス、キーオフエフェクト、
キーアクションノイズ、ハンマーディレイ、音律、
ストレッチチューニング、音律の主音、ユーザー音律

3. キーセッティング
ロワーオクターブシフト、ロワーペダルオン／オフ、
スプリットバランス、レイヤーオクターブシフト、
レイヤーダイナミクス、デュアルバランス

4. リズムセッティング
リズムボリューム、オートフィルイン、ワンフィンガーアドリブ、
ACCモード、プリセットコード

5. MIDIセッティング
MIDIチャンネル、プログラムチェンジ送信、
ローカルコントロール、プログラムチェンジ送信オン／オフ、
マルチティンバーモード、チャンネルミュート

6. 電源セッティング
オートパワーオフ

ベーシックセッティング

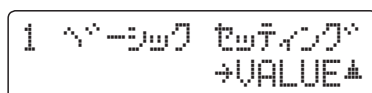
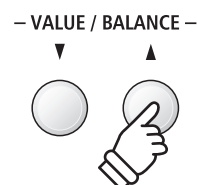
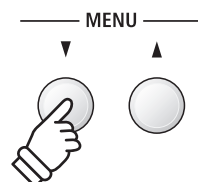
ベーシックセッティングでは通常演奏時に関わる設定を操作したり、各種設定を保存したりすることができます。

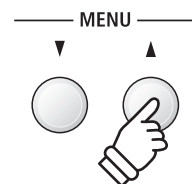
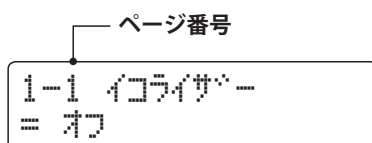
■ ベーシックセッティングの内容と工場出荷時の設定

ページ	項目	内容	初期設定
1-1	イコライザー	全体の音質を変えます。	オフ
1-2	ウォールEQ	設置場所によってスピーカーシステムを最適化します。	オフ
1-3	スピーカーボリューム	スピーカー出力の最大音量を変えます。	ノーマル
1-4	ヘッドホンボリューム	ヘッドホン出力の最大音量を変えます。	ノーマル
1-5	ラインアウトボリューム	ラインアウト出力のレベルを調節します。	10
1-6	録音レベル	MP3/WAVオーディオレコーダーの録音レベルを調節します。	0dB
1-7	チューニング	0.5Hz単位で、ピッチを調節します。	440.0Hz
1-8	ダンパーホールド	オルガンやストリングスの音へのサスティンペダルの効果を選びます。	オフ
1-9	4ハンズモード	「4ハンズモード」をオン／オフします。	オフ
1-10	ユーザーメモリー	電源オン時の設定として、パネル設定を保存します。	ー
1-11	ファクトリーリセット	工場出荷時の状態へ戻します。	ー
1-12	表示言語	ディスプレイに表示される言語を選びます。	ニホンゴ

■ ベーシックセッティングへ入る

メニューリスト画面に入った後、［MENU］ボタンを押して「ベーシックセッティング」を選びます。

1 ベ゛ーシック セッティンク゛
→VALUE▲

［VALUE/BALANCE▲］ボタンを押すと、「ベーシックセッティング」の設定画面へ入ります。

■ 変更したい項目を選ぶ

ベーシックセッティング画面で［MENU］ボタンを押し、変更したい項目を選びます。

1-1 全体の音質を変える（イコライザー）

イコライザーによって演奏や設置場所に応じて、適した音質に設定することができます。イコライザーの種類は以下のようになっています。

■ イコライザーの種類

種類	効果
オフ	トーンコントロールはかかりません。
ラウドネス	小さい音量時でも通常音量時のような適切な音質が得られます。
バスブースト	低音を強調した音質です。
トレブルブースト	高音を強調した音質です。
ミッドカット	やわらかい音質です。
ユーザー	自分で音質を調整できます。

1. イコライザーの設定に入る

ベーシックセッティング画面（→71ページ）で［MENU］ボタンを押し、イコライザーの設定ページを選びます。

1-1 ｲｺﾗｲｻﾞｰ
= ｵﾌ

2. イコライザーの種類を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押すと、イコライザーの種類が変更されます。

* イコライザーの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* イコライザーの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

1-1 ｲｺﾗｲｻﾞｰ
= ｵﾌ

1-1 ｲｺﾗｲｻﾞｰ
= ﾊﾞｽﾌﾞｰｽﾄ

3. イコライザーの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、イコライザーの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

■ ユーザーEQ設定項目

周波数帯域	内容
ロー	低音域（20～100Hz）をブースト/カットします。
ミッドロー	中低音域（355～1000Hz）をブースト/カットします。
ミッドハイト	中高音域（1120～3150Hz）をブースト/カットします。
ハイ	高音域（5000～20000Hz）をブースト/カットします。

1. ユーザーEQ設定へ入る

イコライザーの設定ページで［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、「ユーザー」を選びます。

［MENU▲］ボタンを押すと、ユーザーEQの設定ページが表示されます。

1-1 イコライザー
= ユーザー

1-1 ユーザー ロー
= 0 dB

2. ユーザーEQを設定する

［MENU］ボタンを押して、設定したい周波数帯域を選びます。
［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、選んだ周波数帯域を調節します。

* 各帯域は、-6dB～+6dBの範囲で調節できます。

1-1 ユーザー ロー
= 0 dB

1-1 ユーザー ハイ
= +6 dB

3. ユーザーEQ設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、ユーザーEQの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-2 ウォールEQの設定

壁から離れた場所に設置するときや本機の後ろで聴くとき、もしくは壁の近くに設置するときになど、設置場所によってスピーカーシステムを最適化します。

* この設定は、ヘッドホン出力やラインアウトには効きません。

■ ウォールEQの設定

種類	内容
オフ（初期設定）	壁から離れた場所に設置したり、本機の後ろで聴く場合の設定です。
オン	壁の近くに設置する場合の設定です。

1. ウォールEQの設定に入る

ベーシックセッティング画面（→71ページ）で［MENU］ボタンを押し、ウォールEQの設定ページを選びます。

```
1-2 ウォール EQ
= オフ
```

2. ウォールEQの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ウォールEQをオン/オフします。

* ウォールEQの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* ウォールEQの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。（→82ページ）

```
1-2 ウォール EQ
= オフ
```

```
1-2 ウォール EQ
= オン
```

3. ウォールEQの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、ウォールEQの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-3 スピーカーボリューム

初期設定は、『ノーマル』になっています。『チイサイ』に設定すると、スピーカーの最大音量が小さくなります。大きな音量が必要ない場合は、この設定にすることで、より細かく音量調整することが可能となります。

* この設定は、ヘッドホン出力やラインアウトには効きません。

■ スピーカーボリュームの設定

種類	内容
ノーマル（初期設定）	通常の音量でスピーカーが鳴ります。
チイサイ	小さい音量でスピーカーが鳴ります。

1. スピーカーボリュームの設定に入る

ベーシックセッティング画面（→71ページ）で［MENU］ボタンを押し、スピーカー音量の設定ページを選びます。

```
1-3 ｽﾋﾟｰｶｰﾎﾞﾘｭｰﾑ
= ﾉｰﾏﾙ
```

2. スピーカーボリュームの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、スピーカー音量の「ノーマル」と「チイサイ」を選択します。

* スピーカー音量の設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* スピーカー音量の設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。（→82ページ）

```
1-3 ｽﾋﾟｰｶｰﾎﾞﾘｭｰﾑ
= ﾉｰﾏﾙ
```

```
1-3 ｽﾋﾟｰｶｰﾎﾞﾘｭｰﾑ
= ﾁｲｻｲ
```

3. スピーカーボリュームの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、スピーカー音量の設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-4 ヘッドホンボリューム

初期設定は、『ノーマル』になっています。『オオキイ』に設定にすると、ヘッドホンの最大音量が大きくなります。音量の小さいヘッドホンを使用するときなどに有効です。

* この設定は、スピーカー出力やラインアウトには効きません。

■ ヘッドホンボリュームの設定

種類	内容
ノーマル（初期設定）	通常の音量でヘッドホンが鳴ります。
オオキイ	大きい音量でヘッドホンが鳴ります。

1. ヘッドホンボリュームの設定に入る

ベーシックセッティング画面（→71ページ）で［MENU］ボタンを押し、ヘッドホン音量の設定ページを選びます。

```
1-4 ﾍｯﾄﾞﾎﾝﾎﾞﾘｭｰﾑ
= ﾉｰﾏﾙ
```

2. ヘッドホンボリュームの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ヘッドホン音量の「ノーマル」と「オオキイ」を選択します。

* ヘッドホン音量の設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ヘッドホン音量の設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。（→82ページ）

```
1-4 ﾍｯﾄﾞﾎﾝﾎﾞﾘｭｰﾑ
= ﾉｰﾏﾙ
```

```
1-4 ﾍｯﾄﾞﾎﾝﾎﾞﾘｭｰﾑ
= ｵｵｷｲ
```

3. ヘッドホンボリュームの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、ヘッドホン音量の設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-5 ラインアウトボリューム

ラインアウトの音量を調節します。

ラインアウトボリュームとマスターボリューム（→15ページ）は独立して効きますので、PA機器に接続した場合など、ライン出力と内蔵スピーカーのモニター音量をそれぞれ調節することができます。

* この設定は、スピーカー/ヘッドホン出力には効きません。

1. ラインアウトボリュームの設定に入る

ベーシックセッティング画面（→71ページ）で［MENU］ボタンを押し、ラインアウトボリュームの設定ページを選びます。

```
1-5 ラインアウトボリューム
= 10
```

2. ラインアウトボリュームの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ラインアウトボリュームを調節します。

* ラインアウトボリュームは、0〜10の範囲で調節できます。
* ラインアウトボリュームの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ラインアウトボリュームの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。（→82ページ）

```
1-5 ラインアウトボリューム
= 10
```

```
1-5 ラインアウトボリューム
= 3
```

3. ラインアウトボリュームの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、ラインアウトボリュームの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

■ 演奏中のラインアウトボリュームの調節

演奏中などに素早くラインアウトボリュームを調節したい場合は、次の手順で調節します。

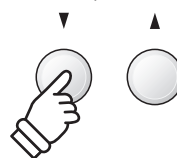
EXIT

［EXIT］ボタンを長押しすると、ラインアウトボリューム調節画面が表示されます。

```
ラインアウトボリューム
= 10
```

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ラインアウトボリュームを調節します。

– VALUE / BALANCE –
▼ ▲

［EXIT］ボタンを押すか、そのまま数秒すると元の画面へ戻ります。

1-6 オーディオ録音レベル

一般に販売されているオーディオファイルはマスタリング処理が施されている為に波形が限界まで大きくしてあるのに対し、楽器（ピアノ）はダイナミックレンジ幅が大きいため、普通に録音した波形は小さくなります。ここでは、MP3/WAVオーディオレコーダーの録音レベルを+15dBまで上げることができます。

1. オーディオ録音レベルの設定に入る

ベーシックセッティング画面（→71ページ）で［MENU］ボタンを押し、オーディオ録音レベルの設定ページを選びます。

```
1-6 ﾛｸｵﾝ ﾚﾍﾞﾙ
= 0 dB
```

2. オーディオ録音レベルの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、オーディオ録音レベルを調節します。

* オーディオ録音レベルは、0〜+15dBの範囲で調節できます。
* オーディオ録音レベルを上げると、大きな音やフォルティッシモでの演奏で録音が歪むことがありますのでご注意ください。
* オーディオ録音レベルの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* オーディオ録音レベルの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。（→82ページ）

```
1-6 ﾛｸｵﾝ ﾚﾍﾞﾙ
= 0 dB
```

```
1-6 ﾛｸｵﾝ ﾚﾍﾞﾙ
= +10 dB
```

3. オーディオ録音レベルの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、オーディオ録音レベルの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-7 チューニング

チューニングとは他の楽器とピッチ(音程)を合わせるときに行います。合奏のときやCDの再生に合わせて演奏するときなど、音程を合わせたいときに使用します。

1. チューニングの設定に入る

ベーシックセッティング画面(→71ページ)で[MENU]ボタンを押し、チューニングの設定ページを選びます。

```
1-7 チューニング
= 440.0 Hz
```

2. チューニングの設定を変更する

[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、チューニングを、0.5Hz単位で調節します。

* チューニングは、427.0Hzから453.0Hzの範囲で調節できます。

* チューニングの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* チューニングの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。(→34ページ、82ページ)

```
1-7 チューニング
= 440.0 Hz
```

```
1-7 チューニング
= 437.5 Hz
```

3. チューニングの設定を終わる

[EXIT]ボタンを押すと、チューニングの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度[EXIT]ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-8 ダンパーホールドのON/OFF

ダンパーホールドとは、ストリングアンサンブルのような持続音色（鍵盤を押しつづけている間鳴りつづける音色）に対して、ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾いたときに鍵盤から手を離した後も音を持続させる機能です。

■ ダンパーホールドの設定

種類	内容
オフ（初期設定）	ダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離した後、音が減衰します。
オン	ダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離した後も音が持続します。

1. ダンパーホールドの設定に入る

ベーシックセッティング画面（→71ページ）で［MENU］ボタンを押し、ダンパーホールドの設定ページを選びます。

1-8 ﾀﾞﾝﾊﾟｰ ﾎｰﾙﾄﾞ
= ｵﾌ

2. ダンパーホールドの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ダンパーホールドをオン/オフします。

* ダンパーホールドの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ダンパーホールドの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

1-8 ﾀﾞﾝﾊﾟｰ ﾎｰﾙﾄﾞ
= ｵﾌ

1-8 ﾀﾞﾝﾊﾟｰ ﾎｰﾙﾄﾞ
= ｵﾝ

3. ダンパーホールドの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、ダンパーホールドの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-9 4ハンズモードのON/OFF

4ハンズモードのオン/オフができます。4ハンズモードの操作は［SPLIT］ボタンとペダルを使って入ったときと同様です。初期設定ではスプリットポイントはF3（ファ）に設定されています。

* 4ハンズモードについては、22ページを参照してください。

■ 4ハンズモードの設定

種類	内容
オフ（初期設定）	4ハンズモードをオフします。
オン	4ハンズモードをオンします。

1. 4ハンズモードの設定に入る

ベーシックセッティング画面（→71ページ）で［MENU］ボタンを押し、4ハンズモードの設定ページを選びます。

1-9 4ﾊﾝｽﾞ ﾓｰﾄﾞ
= ｵﾌ

2. 4ハンズモードの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、4ハンズモードをオン/オフします。

* 4ハンズモードをオンにすると、［SPLIT］ボタンが点滅します。
* 4ハンズモードの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* 4ハンズモードの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

1-9 4ﾊﾝｽﾞ ﾓｰﾄﾞ
= ｵﾌ

1-9 4ﾊﾝｽﾞ ﾓｰﾄﾞ
= ｵﾝ

3. 4ハンズモードの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、4ハンズモードの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

1-10 ユーザーメモリーの使い方

自分の好みの設定を本体に記憶することで、電源を入れ直してもその設定で演奏することができます。その操作をユーザーメモリーと言います。記憶される内容は以下のとおりです。

■ ユーザーメモリーに記憶される内容

パネル
音色（デュアル・スプリットの音色設定を含む）
デュアル / スプリットバランス、スプリットポイント
リバーブ、エフェクト、アンプの設定
トランスポーズ（キートランスポーズのみ）
メトロノーム設定

設定メニュー
ベーシックセッティング
コンサートチューナー
リズムセッティング
キーセッティング
MIDIセッティング

* 電源セッティングは自動的に記憶されます。

1. ユーザーメモリー機能を選ぶ

ベーシックセッティング画面（→71ページ）で［MENU］ボタンを押し、ユーザーメモリー機能ページを選びます。

```
1-10 ﾕｰｻﾞｰ ﾒﾓﾘｰ
ﾎｿﾞﾝｼﾏｽｶ?    →REC
```

2. ユーザーメモリーに保存する

［●（REC）］ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

［VALUE/BALANCE▲］ボタンを押すと、保存を実行します。

保存が終わると、自動的に通常の演奏画面へ戻ります。

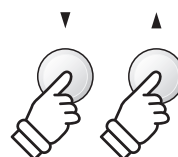
* 電源セッティングは、ユーザーメモリーには記憶されません。電源オフ時に、自動的に記憶されます。

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ?
          →VALUE▲
```

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｼﾀ｡
```

■ ユーザーメモリーの呼び出し

通常の演奏画面で、2つの［VALUE/BALANCE］ボタンを同時に押します。

ユーザーメモリーが呼び出され、全てのパネル設定が電源オン時の状態に戻ります。

1-11 ファクトリーリセットの使い方

ファクトリーリセットを行うとユーザーメモリーで設定した内容を全て消去し、購入時の設定に戻すことができます。

* この機能は、レジストレーションやレコーダーの内容は消去しません。

1. ファクトリーリセット機能を選ぶ

ベーシックセッティング画面(→71ページ)で[MENU]ボタンを押し、ファクトリーリセット機能ページを選びます。

1-11 ﾌｧｸﾄﾘｰ ﾘｾｯﾄ
ﾘｾｯﾄｼﾏｽｶ? →REC

2. リセットを実行する

[●(REC)]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

[VALUE/BALANCE▲]ボタンを押すと、リセットを実行します。

ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ?
→VALUE▲

ｼﾞｯｺｳｼﾏｼﾀ。

リセットが終わると、自動的に通常の演奏画面へ戻ります。

* レジストレーションの設定を購入時の設定に戻すには35ページを参照してください。
* レコーダーのデータを全て消去して購入時の状態に戻すには51ページを参照してください。

1-12 表示言語の設定

ディスプレイに表示される言語を日本語と英語の 2 言語より選択できます。

1. 表示言語の設定ページに入る

ベーシックセッティング画面(→71ページ)で[MENU]ボタンを押し、表示言語の設定ページを選びます。

1-12 ﾋｮｳｼﾞｹﾞﾝｺﾞ
= ﾆﾎﾝｺﾞ

2. 表示言語を選択する

[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、日本語か英語かを選びます。

1-12 Language
= English

3. 表示言語の設定を終わる

[EXIT]ボタンを押すと、表示言語の設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

Concert Grand

再度[EXIT]ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

コンサートチューナー

ピアノ調律師はアコースティックピアノには欠くことができません。調律師は調律/整調/整音作業により、ピアニストの趣好に合わせてピアノの調整をします。

「コンサートチューナー」はこれらの作業を電子的にシミュレートし、演奏者の好みに近いピアノに調整することができます。またこれらの設定は、レジストレーションに記憶することができます。レジストレーションについては P.34をご参照ください。

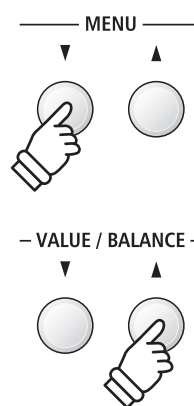
■ コンサートチューナーの内容と工場出荷時の設定

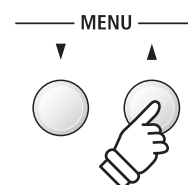
ページ	項目	内容	初期設定
2-1	タッチカーブ	鍵盤のタッチレスポンスのカーブを選択します。	ノーマル
2-2	ボイシング	弦を叩くハンマーの調整をシミュレートします。	ノーマル
2-3	ダンパーレゾナンス	ダンパーペダルを踏んだときのピアノ全体の共鳴効果音の量を調整します。	5
2-4	ダンパーノイズ	ダンパーペダルを操作したとき発生するノイズ音の音量を調整します。	5
2-5	ストリングレゾナンス	ピアノの弦の共鳴効果音の量を調整します。	5
2-6	キーオフエフェクト	ピアノの鍵盤を強く弾いてから離したときのダンパーが弦に触れる音の音量を調整します。	5
2-7	キーアクションノイズ	鍵盤のアクションが戻るときの音の音量を調整します。	5
2-8	ハンマーディレイ	弱打で演奏したときのハンマーが弦をたたく時の遅れ（タイミング）を調整します。	オフ
2-9	音律設定	音律を選択します。	平均律（ピアノ）
	ストレッチチューニング	平均律を選んだときのストレッチチューニング（ピアノ調律曲線）に関する設定を行います。	ノーマル
	音律の主音	平均律以外の音律は調号に合わせた音律ですので、音律の主音を設定します。	C

■ コンサートチューナーへ入る

メニューリスト画面に入った後、[MENU]ボタンを押して「コンサートチューナー」を選びます。

```
2 コンサート チューナー
          →VALUE▲
```

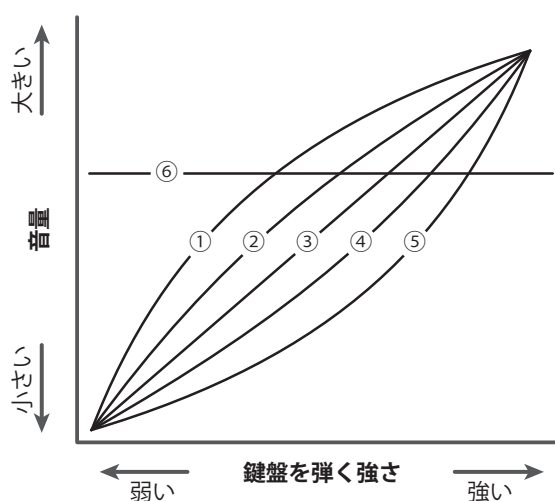
[VALUE/BALANCE▲]ボタンを押すと、「コンサートチューナー」の設定画面へ入ります。

■ 変更したい項目を選ぶ

コンサートチューナー画面で[MENU]ボタンを押し、変更したい項目を選びます。

2-1 タッチカーブ

ピアノでは鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。この鍵盤を弾く強さと音量との関係を表したものをタッチカーブと呼びます。

ES7では、6種類のタッチカーブに加え、演奏する人の力に最も適したタッチカーブを作るユーザータッチカーブ作成機能を搭載しています。

■ タッチカーブの種類

種類	効果
ライト＋	弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
ライト	小さなお子様や、オルガンプレーヤー向きのタッチカーブです。
ノーマル（初期設定）	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
ヘビー	強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。
ヘビー＋	指の力の強い人向きのタッチカーブです。
オフ	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。
ユーザー 1/2	ユーザーが入力したタッチによりタッチカーブが作成されます。

①	ライト＋
②	ライト
③	ノーマル（初期設定）
④	ヘビー
⑤	ヘビー＋
⑥	オフ

2-1 タッチカーブ（続き）

1. タッチカーブの設定に入る

コンサートチューナー画面（→84ページ）で［MENU］ボタンを押し、タッチカーブの設定ページを選びます。

2-1 ﾀｯﾁｶｰﾌﾞ
= ﾉｰﾏﾙ

2. タッチカーブの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、タッチカーブの種類を選びます。

* タッチカーブの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* タッチカーブの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

2-1 ﾀｯﾁｶｰﾌﾞ
= ﾉｰﾏﾙ

2-1 ﾀｯﾁｶｰﾌﾞ
= ﾍﾋﾞｰ+

■ ユーザータッチカーブの作成

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ユーザー1またはユーザー2を表示させます。
［●（REC）］ボタンを押すと、ユーザータッチカーブ作成画面が表示されます。

2-1 ﾀｯﾁｶｰﾌﾞ
= ﾕｰｻﾞｰ1 →REC

適当な鍵盤を使って弱打から強打まで弾いて下さい。

ｴﾝｿｳ ｶｲｼ
ｼﾞｬｸﾀﾞ → ｷｮｳﾀﾞ

［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押します。
「アナライズコンプリート」と表示されたら作成完了です。

ｴﾝｿｳ ｼｭｳﾘｮｳ ｼﾀﾗ
STOPﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ｡

ｱﾅﾗｲｽﾞ
ｺﾝﾌﾟﾘｰﾄ

作成結果を保存するかどうかの確認画面が表示されますので、鍵盤を演奏してタッチを確認してください。

ﾎｿﾞﾝｼﾏｽｶ?
ﾊｲ→REC ｲｲｴ→STOP

［●（REC）］ボタンを押すと作成されたタッチカーブが保存されます。キャンセルしたい場合は、［▶/■（PLAY/STOP）］ボタンを押してください。

3. タッチカーブの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、タッチカーブの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-2 ボイシング

　アコースティックピアノにおける、弦を叩くハンマーの状態をシミュレートしたもので、6種類のハンマータイプが選べます。

■ ハンマーの状態の種類

種類	効果
ノーマル	通常の設定です。
メロウ1	やわらかめのハンマーをシミュレートしたソフトな音色になります。
メロウ2	メロウ1よりやわらかなハンマーをシミュレートした音色になります。
ダイナミック	タッチの強弱に応じてソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
ブライト1	硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。
ブライト2	ブライト1より硬めのハンマーをシミュレートした音色になります。

1. ボイシングの設定に入る

　コンサートチューナー画面（→84ページ）で［MENU］ボタンを押し、ボイシングの設定ページを選びます。

2-2 ボイシング
= ノーマル

2. ボイシングの設定を変更する

　［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ボイシングの設定を選びます。

* ボイシングの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ボイシングの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

2-2 ボイシング
= ノーマル

2-2 ボイシング
= ダイナミック

3. ボイシングの設定を終わる

　［EXIT］ボタンを押すと、ボイシングの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

　再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-3 ダンパーレゾナンス

ダンパーペダルを踏んだときのピアノ全体の共鳴効果をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を調整することができます。

* ダンパーレゾナンスはピアノ音色にのみ効果があります。

1. ダンパーレゾナンスの設定に入る

コンサートチューナー画面（→84ページ）で［MENU］ボタンを押し、ダンパーレゾナンスの設定ページを選びます。

2-3 ﾀﾞﾝﾊﾟｰﾚｿﾞﾅﾝｽ
= 5

2. ダンパーレゾナンスの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ダンパーレゾナンスの設定を選びます。

* ダンパーレゾナンスは、オフ、1〜10の範囲で調節できます。
* ダンパーレゾナンスの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ダンパーレゾナンスの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

2-3 ﾀﾞﾝﾊﾟｰﾚｿﾞﾅﾝｽ
= 5

2-3 ﾀﾞﾝﾊﾟｰﾚｿﾞﾅﾝｽ
= 2

3. ダンパーレゾナンスの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、ダンパーレゾナンスの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-4 ダンパーノイズ

ダンパーペダルを踏んだときと離したとき、ダンパーヘッドが弦に触れたり、離れたりする際のノイズ音をシミュレートしたもので、このノイズの音量を調整することができます。

* ダンパーノイズはピアノ音色にのみ効果があります。

1. ダンパーノイズの設定に入る

コンサートチューナー画面（→84ページ）で［MENU］ボタンを押し、ダンパーノイズの設定ページを選びます。

```
2-4 ﾀﾞﾝﾊﾟｰﾉｲｽﾞ
= 5
```

2. ダンパーノイズの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ダンパーノイズの設定を選びます。

* ダンパーノイズは、オフ、1〜10の範囲で調節できます。
* ダンパーノイズの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ダンパーノイズの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

```
2-4 ﾀﾞﾝﾊﾟｰﾉｲｽﾞ
= 5
```

```
2-4 ﾀﾞﾝﾊﾟｰﾉｲｽﾞ
= 2
```

3. ダンパーノイズの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、ダンパーノイズの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-5 ストリングレゾナンス

ピアノの弦の共鳴効果（ストリングレゾナンス）をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を好みに合わせて調整することができます。

* ダンパーペダルを踏んだまま弾いた場合はストリングレゾナンス効果はありません。

* ストリングレゾナンスはピアノ音色にのみ効果があります。

■ ストリングレゾンナスとは？

ピアノは各鍵盤毎に弦が張られています。ある鍵盤を押さえた状態で他の鍵盤を弾くと、2つの鍵盤の音程の関係によって弦の共鳴が発生して音が出ます。これが「ストリングレゾナンス」です。
例えばドの鍵盤を押さえたままの時、下図の鍵盤を弾くとドの鍵盤の弦が共鳴して音が出ます。ドの鍵盤をそっと押さえたままにして下図の鍵盤を弾いてすぐに止めると共鳴音が鳴っていることが良くわかります。

1. ストリングレゾンナスの設定に入る

コンサートチューナー画面（→84ページ）で［MENU］ボタンを押し、ストリングレゾンナスの設定ページを選びます。

2-5 ｽﾄﾘﾝｸﾞﾚｿﾞﾅﾝｽ
= 5

2. ストリングレゾンナスの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ストリングレゾンナスの設定を選びます。

* ストリングレゾンナスは、オフ、1～10の範囲で調節できます。

* ストリングレゾンナスの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* ストリングレゾンナスの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

2-5 ｽﾄﾘﾝｸﾞﾚｿﾞﾅﾝｽ
= 5

2-5 ｽﾄﾘﾝｸﾞﾚｿﾞﾅﾝｽ
= 8

3. ストリングレゾンナスの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、ストリングレゾンナスの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-6 キーオフエフェクト

キーオフエフェクトは、特に低音でピアノの鍵盤を強く弾いてから離したときに、音が止まる直前にダンパーが弦に触れる音をシミュレートしたものです。この音量をお好みに合わせて調整することができます。

* キーオフエフェクトは、ピアノ音色とエレピ音色の「クラシックE.ピアノ」「クラシックE.ピアノ2」「60sエレクトリックピアノ」にのみ効果があります。

* エレピ音色については、鍵盤が離された時に鳴るノイズ音の音量を調整します。

1. キーオフエフェクトの設定に入る

コンサートチューナー画面（→84ページ）で［MENU］ボタンを押し、キーオフエフェクトの設定ページを選びます。

```
2-6 キーオフエフェクト
= 5
```

2. キーオフエフェクトの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、キーオフエフェクトの設定を選びます。

* キーオフエフェクトは、オフ、1〜10の範囲で調節できます。

* キーオフエフェクトの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* キーオフエフェクトの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

```
2-6 キーオフエフェクト
= 5
```

```
2-6 キーオフエフェクト
= 10
```

3. キーオフエフェクトの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、キーオフエフェクトの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-7 キーアクションノイズ

鍵盤を離したときの、鍵盤アクションが戻った時に発生する音をシミュレートしたものです。この音量をお好みに合わせて調整することができます。

* キーアクションノイズは、ピアノ音色とハープシコードにのみ効果があります。

1. キーアクションノイズの設定に入る

コンサートチューナー画面（→84ページ）で［MENU］ボタンを押し、キーアクションノイズの設定ページを選びます。

2-7 キーアクションノイズ
= 5

2. キーアクションノイズの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、キーアクションノイズの設定を選びます。

* キーアクションノイズは、オフ、1～10の範囲で調節できます。
* キーアクションノイズの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* キーアクションノイズの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

2-7 キーアクションノイズ
= 5

2-7 キーアクションノイズ
= オフ

3. キーアクションノイズの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、キーアクションノイズの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-8 ハンマーディレイ

ピアニシモで弾いたときに、ハンマーが弦を叩くタイミングがわずかに遅くなる動作をシミュレートします。このハンマーの遅れを演奏しやすいタイミングに調整することができます。

* ハンマーディレイは、ピアノ音色にのみ効果があります。

1. ハンマーディレイの設定に入る

コンサートチューナー画面（→84ページ）で［MENU］ボタンを押し、ハンマーディレイの設定ページを選びます。

```
2-8 ﾊﾝﾏｰﾃﾞｨﾚｲ
= ｵﾌ
```

2. ハンマーディレイの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ハンマーディレイの設定を選びます。

* ハンマーディレイは、オフ、1〜10の範囲で調節できます。
* ハンマーディレイの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ハンマーディレイの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

```
2-8 ﾊﾝﾏｰﾃﾞｨﾚｲ
= ｵﾌ
```

```
2-8 ﾊﾝﾏｰﾃﾞｨﾚｲ
= 5
```

3. ハンマーディレイの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、ハンマーディレイの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

2-9 音律の設定

ES7ではピアノの調律法として最も一般的な平均律だけでなく、ルネッサンス、バロック等の時代に用いられた古典音律にも設定することができます。

■ 音律の種類

音律名	音律の説明
平均律（ピアノ） （Equal P.only）	ピアノの音色が選択されている場合は、ピアノの調律曲線に従います。それ以外の音色が選択されていれば、平均律（フラット）に従います。
純正律〈長調/短調〉 （Pure Major/minor）	3度と5度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。 純正律は、長調と短調で異なります。長調と同様の効果を短調でも得られます。
ピタゴラス音律 （Pythagorean）	5度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特徴です。
中全音律 （Meantone）	3度のうなりをなくした調律法で純正律の特徴の5度が著しく不協和であることを改良したもので、平均律よりも和音が美しく響きます。
ヴェルクマイスター第III法 （Werkmeister） キルンベルガー第III法 （Kirnberger）	調号の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調号が増えるに従って、緊張感が高く、メロディーが美しいピタゴラス音律に近づけていくもので、古典音楽の作曲家の意図した"調性の性格"を反映することのできる調律法です。
平均律（フラット） （Equal Flat）	ピアノの調律曲線を使わない平坦な平均律です。どのように移調しても和音の響きが変らないという特徴があります。
平均律 （Equal Stretch）	ピアノの調律曲線を使った平均律です。ピアノの調律法として、最もポピュラーなものです。
ユーザー音律	オリジナルの音律を設定できます。

1. 音律の設定に入る

コンサートチューナー画面（→84ページ）で［MENU］ボタンを押し、音律の設定ページを選びます。

2-9 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ﾍｲｷﾝﾘﾂ(ﾋﾟｱﾉ)

2. 音律の設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、音律の設定を選びます。

* 音律の設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* 音律の設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

2-9 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ﾍｲｷﾝﾘﾂ(ﾋﾟｱﾉ)

2-9 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ﾁｭｳｾﾞﾝｵﾝﾘﾂ

ストレッチチューニング

ストレッチチューニングとは通常の平均律に比べ低音側は低く、高音側は高くするピアノ特有の調律のことです。ES7は2種類のストレッチチューニングから選ぶことができます。この機能は音律で「平均律（ピアノ）」あるいは「平均律」が選ばれている時のみディスプレイに表示されます。

■ ストレッチチューニングの設定を変更する

音律で「平均律（ピアノ）」あるいは「平均律」が選ばれている時に、［MENU］ボタンを押して、ストレッチチューニングの設定ページを選びます。

2-9 ｽﾄﾚｯﾁﾁｭｰﾆﾝｸﾞ
= ﾉｰﾏﾙ

2-9 ｽﾄﾚｯﾁﾁｭｰﾆﾝｸﾞ
= ﾜｲﾄﾞ

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、「ノーマル」と「ワイド」から、設定を選びます。「ワイド」にすると低音側はより低く、高音側はより高くなります。

音律の主音の設定

平均律以外の音律は調号に合わせた音律ですので、音律の主音を設定します。演奏する曲の調号に合わせます。この機能は「純正律（長調/短調）」「ピタゴラス音律」「中全音律」「ヴェルクマイスター第Ⅲ法」「キルンベルガー第Ⅲ法」が選ばれている時のみディスプレイに表示されます。

■ 音律の主音の設定を変更する

音律で「純正律（長調/短調）」「ピタゴラス音律」「中全音律」「ヴェルクマイスター第Ⅲ法」「キルンベルガー第Ⅲ法」が選ばれている時に、［MENU］ボタンを押して、音律の主音の設定ページを選びます。

2-9 ｵﾝﾘﾂ ｼｭｵﾝ
= C

2-9 ｵﾝﾘﾂ ｼｭｵﾝ
= F

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、音律の主音を変更します。

* 音律の主音は、C音からB音の12音の範囲で選びます。

ユーザー音律の設定

ユーザー音律では各音のセント値（100 セント＝半音）が設定できます。

■ 音律のセント値を調整する

音律で「ユーザー音律」が選ばれている時に、［MENU］ボタンを押して、ユーザー音律の調整したい音をC音からB音の12音から選びます。

2-9 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ﾕｰｻﾞｰ

2-9 ﾕｰｻﾞｰｵﾝﾘﾂ C
= +20

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、各音のセント値を調整します。

* 各音は、-50〜+50セントの範囲で調整することができます。

キーセッティング

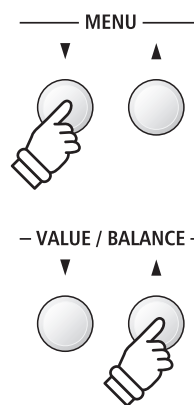
キーセッティングではデュアル演奏やスプリット演奏時における、音色のオクターブ設定やダンパーの設定を行います。

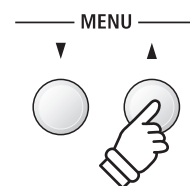
■ キーセッティングの内容

ページ	種類	説明	初期設定
3-1	ロアーオクターブ	スプリット演奏時、低音側の鍵盤のピッチをオクターブ単位で上げます。	0
3-2	ロアーペダル	スプリット演奏時、低音側の鍵盤のペダル機能をオン/オフします。	オフ
3-3	スプリットバランス	スプリット演奏時、低音側の鍵盤と高音側の鍵盤の音量バランスを調節します。	5:5
3-4	レイヤーオクターブ	デュアル演奏時、重ねる音色のピッチをオクターブ単位で上げ下げします。	0
3-5	レイヤーダイナミクス	デュアル演奏時、重ねる音色のタッチ変化を調整します。	10
3-6	デュアルバランス	デュアル演奏時、主音色と重ねる音色の音量バランスを調節します。	5:5

■ キーセッティングへ入る

メニューリスト画面に入った後、［MENU］ボタンを押して「キーセッティング」を選びます。

［VALUE/BALANCE▲］ボタンを押すと、「キーセッティング」の設定画面へ入ります。

■ 変更したい項目を選ぶ

キーセッティング画面で［MENU］ボタンを押し、変更したい項目を選びます。

3-1 ロアーオクターブシフト

ロアーオクターブシフトとは、スプリット演奏時に低音側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動することです。

1. ロアーオクターブシフトの設定に入る

キーセッティング画面（→96ページ）で［MENU］ボタンを押し、ロアーオクターブシフトの設定ページを選びます。

3-1 ロワー オクターブ゛
= 0

2. ロアーオクターブシフトの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ロアーオクターブシフトを設定します。

* 低音側の鍵盤のピッチを3オクターブまで上げることができます。
* ロアーオクターブシフトの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ロアーオクターブシフトの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

3-1 ロワー オクターブ゛
= 0

3-1 ロワー オクターブ゛
= +3

3. ロアーオクターブシフトの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、ロアーオクターブシフトの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

3-2 ロアーペダルのON/OFF

スプリット演奏時にペダルを使用した際、低音側鍵盤の音にペダル機能のオン/オフを設定できます。高音側鍵盤のペダル機能は常にオンとなります。

■ ロワーペダルの設定

種類	内容
オフ（初期設定）	低音側鍵盤の音にはペダル機能が働かず、高音側鍵盤の音にのみペダル機能が働きます。
オン	ペダルを踏んで演奏したときに低音側鍵盤の音にもペダル機能が働きます。

1. ロワーペダルの設定に入る

キーセッティング画面（→96ページ）で［MENU］ボタンを押し、ロワーペダルの設定ページを選びます。

3-2 ﾛﾜｰ ﾍﾟﾀﾞﾙ
= ｵﾌ

2. ロワーペダルの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ロワーペダルをオン/オフします。

* ロワーペダルの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* ロワーペダルの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

3-2 ﾛﾜｰ ﾍﾟﾀﾞﾙ
= ｵﾌ

3-2 ﾛﾜｰ ﾍﾟﾀﾞﾙ
= ｵﾝ

3. ロワーペダルの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、ロワーペダルの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

3-3 スプリットバランス

スプリット演奏時の低音側鍵盤と高音側鍵盤の音量バランスを調節します。

* スプリット演奏画面からの調節は、21ページを参照してください。

1. スプリットバランスの設定に入る

キーセッティング画面（→96ページ）で［MENU］ボタンを押し、スプリットバランスの設定ページを選びます。

3-3 ｽﾌﾟﾘｯﾄ ﾊﾞﾗﾝｽ
= 5:5

2. スプリットバランスの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、音量バランスを調節します。

高音側の音量が上がると、低音側の音量が下がります。

* スプリットバランスの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* スプリットバランスの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

3-3 ｽﾌﾟﾘｯﾄ ﾊﾞﾗﾝｽ
= 5:5

3-3 ｽﾌﾟﾘｯﾄ ﾊﾞﾗﾝｽ
= 1:9

3. スプリットバランスの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、スプリットバランスの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

3-4 レイヤーオクターブシフト

　レイヤーオクターブシフトとはデュアル演奏で2つの音色を重ねて弾くときに、片側の音色（レイヤー音色：ディスプレイの 2 行目に表示されている音色）の音域をオクターブ単位で移動することです。

　例えば「コンサートグランドピアノ」と「ストリングアンサンブル」をデュアルで重ねて演奏するときに、ストリングアンサンブルの音色だけをオクターブ上げて（あるいは下げて）演奏することができます。

1. レイヤーオクターブシフトの設定に入る

　キーセッティング画面（→96ページ）で［MENU］ボタンを押し、レイヤーオクターブシフトの設定ページを選びます。

```
3-4 ﾚｲﾔｰ ｵｸﾀｰﾌﾞ
= 0
```

2. レイヤーオクターブシフトの設定を変更する

　［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、レイヤーオクターブシフトを設定します。

* レイヤー音色のピッチを上下2オクターブまで変更することができます。
* レイヤーオクターブシフトの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* レイヤーオクターブシフトの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

```
3-4 ﾚｲﾔｰ ｵｸﾀｰﾌﾞ
= 0
```

```
3-4 ﾚｲﾔｰ ｵｸﾀｰﾌﾞ
= +2
```

3. レイヤーオクターブシフトの設定を終わる

　［EXIT］ボタンを押すと、レイヤーオクターブシフトの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

　再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

3-5 レイヤーダイナミクス

レイヤーダイナミクスとはデュアル演奏で2つの音色を重ねて弾くときに、片側の音色(レイヤー音色：ディスプレイの 2 行目に表示されている音色)のタッチ変化の仕方を調整することです。

例えば、「コンサートグランドピアノ」と「ストリングアンサンブル」をデュアルで重ねて演奏するときに、通常の設定ではどちらの音色も同じように強弱が変化しますが、「ストリングアンサンブル」のタッチ変化の度合いを少なくすることにより、ダイナミックなピアノ音色をより強調した演奏をすることができます。

1. レイヤーダイナミクスの設定に入る

キーセッティング画面(→96ページ)で[MENU]ボタンを押し、レイヤーダイナミクスの設定ページを選びます。

```
3-5 ﾚｲﾔｰ ﾀﾞｲﾅﾐｸｽ
= 10
```

2. レイヤーダイナミクスの設定を変更する

[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、レイヤーダイナミクスの設定を選びます。

* レイヤーダイナミクスは、オフ、1～10の範囲で調節できます。
* レイヤーダイナミクスの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* レイヤーダイナミクスの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。(→34ページ、82ページ)

```
3-5 ﾚｲﾔｰ ﾀﾞｲﾅﾐｸｽ
= 10
```

```
3-5 ﾚｲﾔｰ ﾀﾞｲﾅﾐｸｽ
= 5
```

3. レイヤーダイナミクスの設定を終わる

[EXIT]ボタンを押すと、レイヤーダイナミクスの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度[EXIT]ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

3-6 デュアルバランス

デュアル演奏時の主音色と片側の音色（レイヤー音色：ディスプレイの2行目に表示されている音色）の音量バランスを調節します。

* デュアル演奏画面からの調節は、19ページを参照してください。

1. デュアルバランスの設定に入る

キーセッティング画面（→96ページ）で［MENU］ボタンを押し、デュアルバランスの設定ページを選びます。

```
3-6 ﾃﾞｭｱﾙ ﾊﾞﾗﾝｽ
= 5:5
```

2. デュアルバランスの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、音量バランスを調節します。

主音色の音量が上がると、レイヤー音色の音量が下がります。

* デュアルバランスの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* デュアルバランスの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

```
3-6 ﾃﾞｭｱﾙ ﾊﾞﾗﾝｽ
= 5:5
```

```
3-6 ﾃﾞｭｱﾙ ﾊﾞﾗﾝｽ
= 7:3
```

3. デュアルバランスの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、デュアルバランスの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

リズムセッティング

リズムセッティングでは、リズムセクションを使って演奏する際の様々な設定を行います。

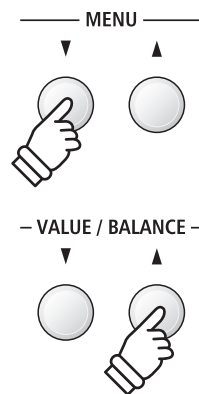
■ リズムセッティングの内容

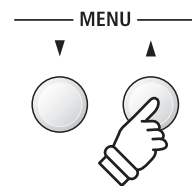
ページ	変更項目	内容	初期設定
4-1	リズムボリューム	リズムセクションの音量を調節します。	5
4-2	オートフィルイン	オートフィルインが入る小節数を選びます。	8小節
4-3	ワンフィンガーアドリブ	「ワンフィンガーアドリブ」機能をオン/オフします。	オフ
4-4	ACCモード	自動伴奏のコード（和音）変更モードを選びます。	ノーマル
	プリセットコード	プリセットコードのコード進行パターンを選びます。	コード1

■ リズムセッティングへ入る

メニューリスト画面に入った後、[MENU]ボタンを押して「リズムセッティング」を選びます。

```
4 リズム セッティング
            →VALUE▲
```

［VALUE/BALANCE▲］ボタンを押すと、「リズムセッティング」の設定画面へ入ります。

■ 変更したい項目を選ぶ

リズムセッティング画面で［MENU］ボタンを押し、変更したい項目を選びます。

4-1 リズムボリューム

鍵盤で弾いた音とバランスをとるために、リズムセクションの音量を調節することができます。

1. リズムボリュームの設定に入る

リズムセッティング画面（→103ページ）で［MENU］ボタンを押し、リズムボリュームの設定ページを選びます。

```
4-1 ﾘｽﾞﾑ ﾎﾞﾘｭｰﾑ
= 5
```

2. リズムボリュームの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、リズムセクションの音量のを調節します。

* リズムボリュームは、1〜10の範囲で選ぶことができます。

* リズムボリュームの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* リズムボリュームの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

```
4-1 ﾘｽﾞﾑ ﾎﾞﾘｭｰﾑ
= 5
```

```
4-1 ﾘｽﾞﾑ ﾎﾞﾘｭｰﾑ
= 8
```

3. リズムボリュームの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、リズムボリュームの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

4-2 オートフィルイン

オートフィルインは設定した小節数の周期で自動的にフィルインを入れることができ、オートフィルイン設定のページで、フィルインの入る小節数を選ぶことができます。オートフィルイン機能を使わない場合は機能をオフすることもできます。

■ オートフィルイン設定の一覧

種類	内容
オフ	オートフィルイン機能を使いません。
4小節	4小節ごとにフィルインが入ります。
8小節（初期設定）	8小節ごとにフィルインが入ります。
12小節	12小節ごとにフィルインが入ります。
16小節	16小節ごとにフィルインが入ります。

1. オートフィルインの設定に入る

リズムセッティング画面（→103ページ）で［MENU］ボタンを押し、オートフィルインの設定ページを選びます。

```
4-2 オート フィルイン
= 8 ショウセツ
```

2. オートフィルインの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、オートフィルインの設定を選びます。

```
4-2 オート フィルイン
= 8 ショウセツ
```

```
4-2 オート フィルイン
= 16 ショウセツ
```

* オートフィルインの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* オートフィルインの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

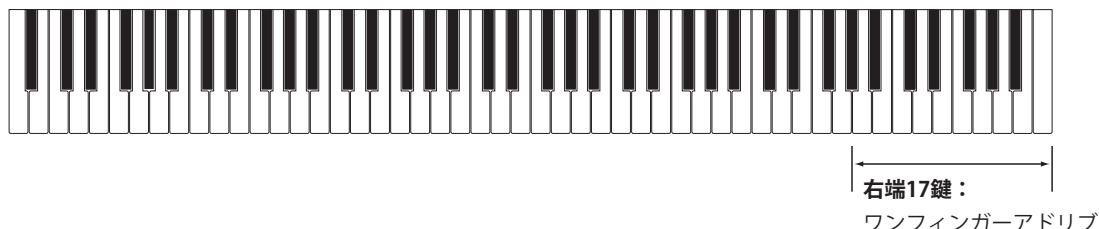
3. オートフィルインの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、オートフィルインの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

4-3 ワンフィンガーアドリブ

ワンフィンガーアドリブとは、指1本で、鍵盤を押している間だけコード（和音）に合ったソロフレーズを簡単に演奏することができる機能です。リズムセッティングで、ワンフィンガーアドリブ機能をオン／オフします。

右端の17鍵に、違ったフレーズが1小節ずつ割当てられており、リズムセクションに合わせて自由に組合せて演奏できます。

■ ワンフィンガーアドリブ設定の一覧

種類	内容
オフ（初期設定）	ワンフィンガーアドリブ機能は使いません。右端の17鍵盤は、音色で発音します。
オン	右端の17鍵盤を押すと、ワンフィンガーアドリブのフレーズが演奏されます。

1. ワンフィンガーアドリブの設定に入る

リズムセッティング画面（→103ページ）で［MENU］ボタンを押し、ワンフィンガーアドリブの設定ページを選びます。

4-3 O.F.ｱﾄﾞﾘﾌﾞ
= ｵﾌ

2. ワンフィンガーアドリブの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ワンフィンガーアドリブの設定を選びます。

* ワンフィンガーアドリブの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

* ワンフィンガーアドリブの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

4-3 O.F.ｱﾄﾞﾘﾌﾞ
= ｵﾌ

4-3 O.F.ｱﾄﾞﾘﾌﾞ
= ｵﾝ

3. ワンフィンガーアドリブの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、ワンフィンガーアドリブの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

4-4 ACCモード（コード指定方法）を選ぶ

ACCモードの設定ページでは、コード（和音）の指定方法を選びます。

* ACCモードの詳細は44ページを参照してください。

■ ACCモードの一覧

種類	内容
ノーマル（初期設定）	低音側の鍵盤でコードを指定、高音側の鍵盤でメロディを演奏します。
フルキーボード	88鍵すべてを使って演奏します。全鍵の演奏状態からコードを認識します。
プリセットコード	それぞれのリズムにあらかじめ設定されているコード進行パターンで演奏されます。

1. ACCモードの設定に入る

リズムセッティング画面（→103ページ）で［MENU］ボタンを押し、ACCモードの設定ページを選びます。

4-4 ACC モード
= ノーマル

2. ACCモードの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ACCモードを選びます。

* ACCモードの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ACCモードの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

4-4 ACC モード
= ノーマル

4-4 ACC モード
= プリセットコード

4-5 プリセットコード

それぞれのリズムには、あらかじめ、お奨めのコード進行パターンが設定されていますが、プリセットコードのページで、他のコード進行パターンに変更することができます。コード進行パターンの一覧は130ページを参照してください。

* プリセットコードのページは、ACCモードで「プリセットコード」が選ばれているときのみ選ぶことができます。

■ プリセットコードを変更する

リズムセッティング画面でACCモードがプリセットコードに設定されているとき、［MENU］ボタンを押してプリセットコードのページを選びます。

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、他のコード進行パターンを選びます。

* ［ACC MODE］ボタン（レコーダーの［A↔B］ボタン）でもACCモードを切り換えることもできます。
「フルキーボード」モードでボタンが点灯し、「プリセットコード」モードでボタンが点滅します。

4-4 プリセット コード
= コード1

4-4 プリセット コード
= コード1

MIDIセッティング

MIDIについて

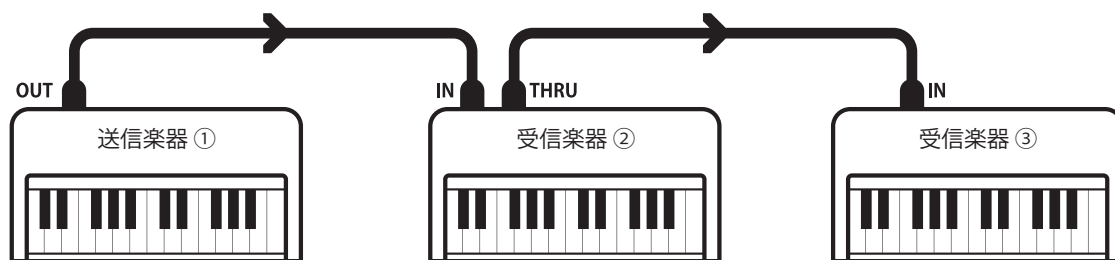
MIDI（ミディ）とは、Musical Instrument Digital Interfaceの略称で、シンセサイザーやシーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするするための世界統一規格です。

■ MIDI端子の種類

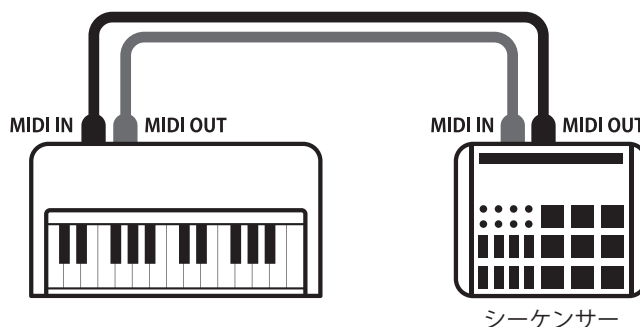
MIDI端子名	機能
MIDI IN	鍵盤情報や音色情報を受信します。
MIDI OUT	鍵盤情報や音色情報を送信します。

■ MIDIチャンネルについて

MIDIにはチャンネルというものがあります。チャンネルには、受信チャンネルと送信チャンネルの2種類があり、通常 MIDI機能をもった楽器はこの両者を備えています。
受信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器から情報を受信する場合のチャンネルで、送信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器へ情報を送信する場合のチャンネルです。

例えば 3 台の楽器を次のように接続して演奏するとします。

送信楽器①は送信チャンネルと共に鍵盤情報などを受信楽器②・③に送ります。
受信楽器②・③には①からの情報が送られてきます。基本的には受信楽器②・③の受信チャンネルと送信楽器①の送信チャンネルが一致していれば送られた情報を受け取りますが、一致していなければ受け取らないということになります。
チャンネル番号は、送信 / 受信とも 1 ～ 16 までの番号を使用することができます。

■ MIDIの使用例

図の様にシーケンサーに接続すれば、ES7の演奏をシーケンサーに録音し、それを再生することができデジタルピアノの練習に役立てることができます。また、ES7の設定をマルチティンバーオンにして録音/再生を行えば、ピアノ、ハープシコード、ビブラフォンなど複数の音色によるアンサンブル演奏を楽しむことができます。

■ MIDI機能

ES7の MIDI機能は以下の通りです。

鍵盤情報の送信・受信

ES7を弾いてMIDIで接続したシンセサイザー等から音を出したり、その逆が可能です。

送信・受信チャンネルの設定

送信受信チャンネルを1～16の範囲で設定することができます。

エクスクルーシブデータの送信・受信

フロントパネルの操作や設定モードで変更した設定をエクスクルーシブデータとして送信受信ができます。

マルチティンバーの設定

ES7が受信楽器になっているとき、複数の異なるチャンネルで鍵盤情報を受信して、各々別の音を出すことができます。

プログラム（音色）ナンバーの送信

ES7を弾いてMIDIで接続したシンセサイザーの音色を変えたり、その逆が可能です。

ペダル情報の送信・受信

ダンパーペダル、ソフトペダル、ソステヌートペダルのON/OFF情報の送信・受信ができます。

ボリューム情報の受信

シンセサイザー等を弾いて、ES7の音を出しているとき、シンセサイザーでES7の音量をコントロールすることができます。

* ES7のMIDI機能についての詳細は、「MIDIインプリメンテーションチャート」（P.134）をご覧ください。

■ MIDIセッティングの内容

ページ	変更項目	内容	初期設定
5-1	MIDIチャンネル	MIDI送受信チャンネルを設定します。	1
5-2	プログラムナンバー送信	1～128のプログラムチェンジを送信します。	1
5-3	ローカルコントロール	本体の鍵盤を弾いて音を出すか・出さないかを設定します。	オン
5-4	プログラムナンバー送信のオン／オフ	音色を変更した時にプログラムチェンジを送信するか・しないかを設定します。	オン
5-5	マルチティンバーモード	複数のMIDIチャンネルを受信して異なる音色を同時に出すことができます。	オフ
	チャンネルミュート	MIDIチャンネル毎に、受信するか・しないかを設定します。	全てプレイ

■ MIDIセッティングへ入る

メニューリスト画面に入った後、［MENU］ボタンを押して「MIDIセッティング」を選びます。

［VALUE/BALANCE▲］ボタンを押すと、「MIDIセッティング」の設定画面へ入ります。

```
5 MIDI ｾｯﾃｨﾝｸﾞ
        →VALUE▲
```

■ 変更したい項目を選ぶ

MIDIセッティング画面で［MENU］ボタンを押し、変更したい項目を選びます。

ページ番号

```
5-1 MIDI ﾁｬﾝﾈﾙ
= 1 (ｿｳｼﾞｭｼﾝ)
```

様々な設定を操作する

5-1 MIDI送受信チャンネル

接続されたMIDI楽器といろいろな情報をやりとりするために楽器同士のチャンネルを合わせておくことが必要です。チャンネルは送信チャンネルと受信チャンネルの2種類がありますが、ES7では送受信を別々のチャンネルに設定することはできません。1つのチャンネルを設定してそれが送信・受信両チャンネルを兼ねています。

1. MIDI送受信チャンネルの設定に入る

MIDIセッティング画面（→108ページ）で［MENU］ボタンを押し、MIDI送受信チャンネルの設定ページを選びます。

```
5-1 MIDI ﾁｬﾝﾈﾙ
= 1 (ｿｳｼﾞｭｼﾝ)
```

2. MIDI送受信チャンネルの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、MIDIチャンネルを変更します。

* MDIチャンネルは、1～16チャンネルから選ぶことができます。
* MIDIチャンネルの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* MIDIチャンネルの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

```
5-1 MIDI ﾁｬﾝﾈﾙ
= 1 (ｿｳｼﾞｭｼﾝ)
```

```
5-1 MIDI ﾁｬﾝﾈﾙ
= 5 (ｿｳｼﾞｭｼﾝ)
```

3. MIDI送受信チャンネルの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、MIDIチャンネルの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

■ オムニオン/オムニオフについて

ES7は電源オン時には、1～16のすべてのチャンネルの情報を受信できる状態になっています。これをオムニオンと呼びます。チャンネル設定を行うとオムニオフとなり、設定したチャンネルのみで受信するようになります。オムニオフで1chに設定したい場合は、一度チャンネルを2に設定してから 1 に戻してください。

■ マルチティンバーモードがオンのとき

スプリット演奏時	デュアル演奏時
低音側の演奏は、設定したチャンネル+1チャンネルで送信されます。 例えば、ここでチャンネルを3に設定してマルチティンバーをオンにしたとき、スプリット演奏の低音側の音色の演奏は4チャンネルで送信されます。	第2音色は、設定したチャンネル+1チャンネルで送信されます。 例えば、ここでチャンネルを3に設定してマルチティンバーをオンにしたとき、デュアル演奏の第2音色の演奏は4チャンネルで送信されます。

* チャンネルを 16 に設定した場合は、1 チャンネルで送信します。

5-2 プログラムナンバー送信

ES7では1〜128までのプログラムナンバーを送信することができます。

1. プログラムナンバー送信ページに入る

MIDIセッティング画面(→108ページ)で[MENU]ボタンを押し、プログラムナンバー送信ページを選びます。

5-2 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ#ｿｳｼﾝ
= 1　　→VALUE▼+▲

2. プログラムナンバーを送信する

[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、プログラムナンバーを選びます。

* プログラムナンバーは、1〜128から選ぶことができます。

2つの[VALUE/BALANCE]ボタンを同時に押すと、プログラムナンバーの送信が実行されます。

5-2 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ#ｿｳｼﾝ
= 1　　→VALUE▼+▲

5-2 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ#ｿｳｼﾝ
= 15　　ｿｳｼﾝｼﾏｼﾀ。

3. プログラムナンバー送信を終わる

[EXIT]ボタンを押すと、プログラムナンバー送信を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度[EXIT]ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

5-3 ローカルコントロール

このモードは本体の鍵盤を弾いて音を出すか・出さないかを設定するモードで、ローカルコントロールオン/オフモードと呼びます。

■ ローカルコントロールの設定

種類	内容
オフ	鍵盤を弾いても音は鳴らずMIDI情報を送信するだけで MIDI情報を受信したときのみ音が鳴ります。
オン（初期設定）	通常通り鍵盤を弾けば本体の音が鳴ります。

1. ローカルコントロールの設定に入る

MIDIセッティング画面（→108ページ）で［MENU］ボタンを押し、ローカルコントロールの設定を選びます。

5-3 ローカルコントロール
= オン

2. ローカルコントロールの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、ローカルコントロールをオン/オフします。

* ローカルコントロールの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* ローカルコントロールの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

5-3 ローカルコントロール
= オン

5-3 ローカルコントロール
= オフ

3. ローカルコントロールの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、ローカルコントロールの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

5-4 プログラムナンバー送信のON/OFF

ES7では音色を切り替えることにより、各音色に対応する送受信プログラムナンバーを送信します。
また音色ボタン以外にも、タッチカーブ、デュアル、デジタルエフェクト、リバーブのボタン操作をMIDIエクスクルーシブデータとして送信することができます。

■ プログラムナンバー送信の設定

プログラム送信設定	マルチティンバー設定	内容
オン（初期設定）	オフ、オン1	音色を変更すると、音色リストの左列のプログラムナンバーを送信します。
オン	オン2	音色を変更すると、音色リストの右列のプログラムナンバーを送信します。
オフ	オフ	プログラムチェンジは送信されません。

* 各音色に対応する送受信プログラムナンバーについては付録の一覧（P122）をご参照ください。

1. プログラムナンバー送信の設定に入る

MIDIセッティング画面（→108ページ）で［MENU］ボタンを押し、プログラムナンバー送信の設定を選びます。

```
5-4 トランスプ゚ログ゙ラム
= オン
```

2. プログラムナンバー送信の設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、プログラムナンバー送信をオン/オフします。

* プログラムナンバー送信の設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* プログラムナンバー送信の設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

```
5-4 トランスプ゚ログ゙ラム
= オン
```

```
5-4 トランスプ゚ログ゙ラム
= オフ
```

■ デュアル・スプリットモードのときについて

• デュアル・スプリットモード時には、デュアル・スプリット各モードのオン/オフ情報、音色の設定などをエクスクルーシブで送信しますが、プログラムナンバーは送信しません。

• マルチティンバーモードがオンのときは、プログラムナンバーも送信します。

様々な設定を操作する

5-5 マルチティンバーモード

通常は、前述の方法で設定されたMIDIチャンネル（1～16のどれか1つ）で情報を送受信しますが、マルチティンバーモードをオンすることにより、複数のMIDIチャンネルを受信して各々のチャンネルに対応した異なる音色を同時に出すことができます。

この機能により、外部にシーケンサーを使って、ES7 1台で複数の音色（マルチティンバー）によるアンサンブル演奏が可能です。

■ マルチティンバーモードの設定

種類	内容
オフ（初期設定）	音色を変更すると、音色リストの左列のプログラムナンバーを送信します。
オン1	音色を変更すると、音色リストの左列のプログラムナンバーを送信します。
オン2	音色を変更すると、音色リストの右列のプログラムナンバーを送信します。

* 受信プログラムナンバーに対応した音色は、付録の一覧（P122）をご参照ください。

1. マルチティンバーモードの設定に入る

MIDIセッティング画面（→108ページ）で［MENU］ボタンを押し、マルチティンバーモードの設定を選びます。

```
5-5 マルチティンバー
= オフ
```

2. マルチティンバーモードの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、マルチティンバーモードを設定します。

* マルチティンバーモードの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* マルチティンバーモードの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

```
5-5 マルチティンバー
= オフ
```

```
5-5 マルチティンバー
= オン1
```

3. マルチティンバーモードの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、マルチティンバーモードの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

チャンネルミュート

マルチティンバーモードがオンのときのみ、この画面が表示されます。ここでは、各チャンネルのプレイ・ミュートが設定できます。

■ チャンネルミュートの設定

種類	内容
プレイ（初期設定）	指定されたMIDIチャンネルでMIDI情報を送信します。
ミュート	指定されたMIDIチャンネルはMIDI情報を送信しません。

1. チャンネルミュートの設定に入る

MIDIセッティング画面（→108ページ）で［MENU］ボタンを押し、変更したいチャンネルのチャンネルミュートの設定ページを選びます。

5-5 チャンネル1 ミュート
= プレイ

2. チャンネルミュートの設定を変更する

［VALUE/BALANCE］ボタンを押して、「プレイ」「ミュート」を切り換えます。

* チャンネルミュートの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
* チャンネルミュートの設定内容は、レジストレーションやユーザーメモリーに保存することができます。（→34ページ、82ページ）

5-5 チャンネル1 ミュート
= プレイ

5-5 チャンネル1 ミュート
= ミュート

3. チャンネルミュートの設定を終わる

［EXIT］ボタンを押すと、チャンネルミュートの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度［EXIT］ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

USB MIDIについて（to HOST端子）

■ USBドライバーについて

コンピュータとデジタルピアノをUSB接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア（USB-MIDIドライバー）がコンピュータに組み込まれている必要があります。
お使いのコンピュータのOSによって使用するUSB-MIDIドライバーが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

OS	
Windows ME Windows XP（SPなし, SP1, SP2, SP3） Windows XP 64-bit Windows Vista（SP1, SP2） Windows Vista 64-bit（SP1, SP2） Windows 7 Windows 7 64-bit	Windowsに搭載されている標準USB-MIDIドライバーを使用しますので、パソコンと接続すると自動的にこのUSB-MIDIドライバーがインストールされます。アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合はMIDIデバイスとしてWindows ME / XP / XP 64bitの場合は「USBオーディオデバイス」を、Windows Vista / Vista 64-bit / 7 / 7 64-bitの場合は「USB-MIDI」を指定してください。
Windows 98 SE Windows 2000 Windows Vista（SPなし）	指定の専用USB-MIDIドライバーをコンピュータに追加する必要があります。下記のカワイホームページより専用USBドライバーをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。*Windows Vistaの場合は必ずXP互換モードでインストールしてください。 **http://www.kawai.co.jp/download_demo/driver/** ・パソコンと接続する前に説明書をよく読んで、必ずインストール作業を行ってください。この作業を行わずに接続すると、USB-MIDIドライバーが動作しない場合があります。万一動作しなくなった場合は、OSの「ドライバーの更新」機能によって正しいUSB-MIDIドライバーをインストールするか、「ドライバーの削除」で削除してからインストール作業をやり直してください。 ・アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合はMIDIデバイスとして「KAWAI USB MIDI IN」、及び「KAWAI USB MIDI OUT」を指定してください。
Windows Vista 64-bit（SPなし）	USB-MIDIをサポートしておりません。SP1、またはSP2にアップグレードをしてください。
Macintosh OS X	Macintosh OS Xでは自動的にUSB-MIDIデバイスとして認識されますので、特別なドライバーは必要ありません。アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合は「USB-MIDI」を指定してください。
OS9以前のMacintosh	OS9以前のMacintoshにはサポートしておりません。市販のMIDIインターフェイスを使用して、MIDI接続してください。

■ USBに関するご注意

MIDIとUSBが同時に接続された場合、USBが優先されます。

デジタルピアノとコンピュータをUSBケーブルで接続する場合は、まずUSBケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。

デジタルピアノとコンピュータをUSB接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。

デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータのUSBポートに直接接続してください。

下記の動作中、デジタルピアノの電源オン / オフ、USBケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。
「ドライバーのインストール中」「コンピュータの起動中」「MIDIアプリケーションが動作中」「コンピュータと通信中」「省電力モードで待機中」

お使いのコンピュータの設定によっては、USBが正常に動作しない場合があります。ご使用になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

* “MIDI”は、社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
* Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。
* Macintoshは、Apple Computer.Inc.の登録商標です。
* その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

電源オン/オフの設定

6-1 電源セッティング

ES7では、何も動作していない状態が続いた場合、電源を自動で切る設定を行うことができます。

* 電源セッティングは、ユーザーメモリーには記憶されません。電源オフ時に、自動的に記憶されます。

■ 電源セッティングの設定内容

種類	内容
オフ	電源が切れない設定です。初期値はオフに設定されています。
30min	30分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
60min	60分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
120min	120分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。

1. 電源セッティングの設定に入る

メニューリスト画面に入った後、[MENU]ボタンを押して「デンゲンセッティング」を選びます。

6 ﾃﾞﾝｹﾞﾝ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ
→VALUE▲

[VALUE/BALANCE▲]ボタンを押すと、「デンゲンセッティング」の設定画面へ入ります。

オートパワーオフの設定ページが表示されます。

2. 電源セッティングの設定を変更する

[VALUE/BALANCE]ボタンを押して、オートパワーオフの設定を変更します。

6-1 ｵｰﾄﾊﾟﾜｰｵﾌ
= ｵﾌ

6-1 ｵｰﾄﾊﾟﾜｰｵﾌ
= 60 min.

3. 電源セッティングの設定を終わる

[EXIT]ボタンを押すと、オートパワーオフの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

再度[EXIT]ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

他の機器との接続

ES7デジタルのピアノの背面パネルには、MIDI機器、コンピューター、スピーカー、およびミキサーと接続することができる各種の端子を搭載しています。また、外部のオーディオのソース（MP3プレーヤー、タブレット機器、CDプレーヤーなど）をES7のスピーカーシステムと接続することができます。下図は、代表的な接続例です。

アンプ・スピーカー等

R　L / MONO

音源やシーケンサー等のMIDI楽器

IN　OUT

B端子

A端子

MP3プレーヤー等の
オーディオ機器

LINE IN STEREO　R　L / MONO　LINE OUT　SPEAKER　ON　OFF　DAMPER　DAMPER / SOFT　OUT　MIDI　IN　USB　DC IN 15V　PS-154

USB

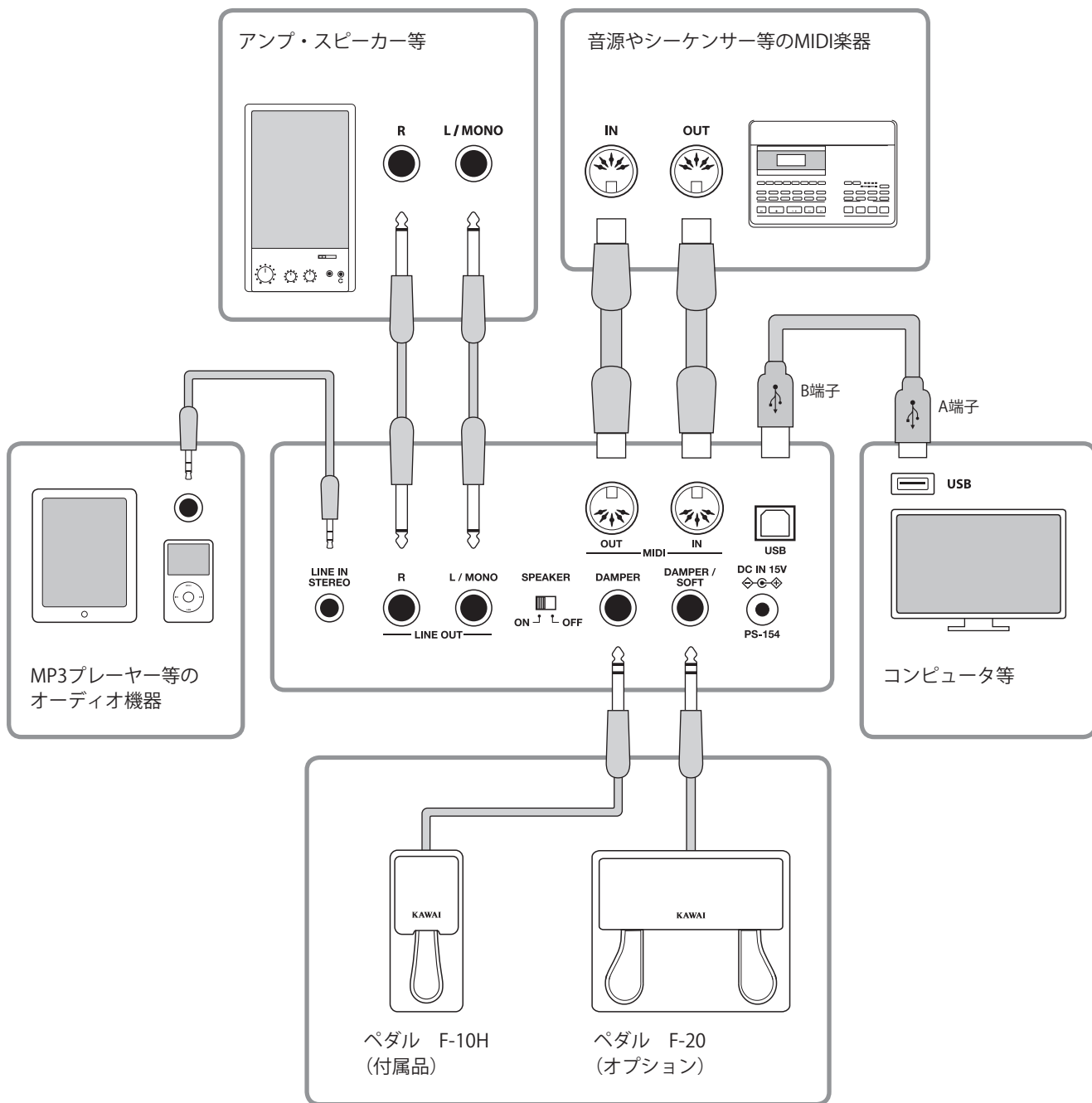
コンピュータ等

KAWAI

ペダル　F-10H
（付属品）

KAWAI

ペダル　F-20
（オプション）

付録

- 他の機器と接続する時はES7の電源を切ってから行ってください。電源が入っている時に行うとノイズ音が発生し、アンプの保護回路が働きES7の音が出なくなることがあります。出なくなった場合はもう一度電源を入れ直して下さい。

- ES7のラインイン（LINE IN）とラインアウト（LINE OUT）を直接ケーブルで接続しないで下さい。発振音が発生し、故障の原因になります。

背面パネル

■ LINE OUT（ライン出力）端子 ＜標準フォーンジャック＞

ES7の音を他の外部機器（アンプ、ステレオ）などで聴いたり、カセットデッキ等に録音する場合に使用する出力端子です。出力レベルは、本体のボリュームで調節できます。Rは右側、L/MONOは左側の出力を示しています。なお、モノラル信号は、L/MONOのみにプラグを接続したときに出力されます。

* マスターボリュームは効きません。出力レベルの調節は77ページを参照してください。

■ LINE IN STEREO（ライン入力ステレオ）端子 ＜ミニステレオジャック＞

他の楽器やオーディオなどのライン出力端子とこの端子を接続すると、接続した機器の音を本機の内蔵スピーカーから出力できます。

この場合、本機側で音量を調節できませんので、外部機器側で調節してください。

■ MIDI IN/OUT（MIDI出入力）端子

MIDI規格対応の機器と接続する端子です。市販のMIDIケーブルをご使用ください。

* 詳細は、108ページを参照してください。

■ SPEAKER ON/OFFスイッチ

ライン出力端子を使用して外部アンプやPA機器と接続する時に、ES7本体のスピーカーの音を消す際に使用します。

音が本体のスピーカーから出ない場合は、このSPEAKERスイッチがONになっているかを確認してください。

■ DAMPER、DAMPER/SOFT端子

付属のペダルF-10Hや、オプションの2本ペダルF-20を接続します。

* 詳細は14ページを参照してください。

■ USB to HOST端子（B端子）

市販のUSBケーブルでコンピュータと接続して、MIDIデータをやりとりすることができます。

USB端子にはA端子とB端子があり、コンピュータはA端子、電子ピアノとはB端子でそれぞれ接続します。

* 詳細は、116ページを参照してください。

前面パネル

■ PHONES端子（ヘッドホン端子） ＜標準ステレオフォーンジャック＞

ヘッドホン端子は、左右の拍子木の下にあります。別売のヘッドホンを接続する端子です。

ヘッドホンは2本まで接続できます。

■ USB to DEVICE端子（A端子）

USBtoDEVICE端子は、前面右拍子木の上にあります。USBメモリーやUSBフロッピーディスクドライブを接続する端子です。

保存されている曲を再生したり、ES7で録音した曲をUSBメモリーに保存することもできます。

■ USBメモリの接続

- 本機はUSB2.0に準拠しています。USB1.1対応の機器も使用できますが、転送スピードはその機器の転送スピードに制限されます。
  この楽器にUSB記憶装置を接続すると、楽器本体で制作したデータをUSB記憶装置に保存したり、USB記憶装置のデータを楽器本体で再生したりできます。
- USB［TO DEVICE］端子には、USBフロッピーディスクドライブを接続できますが、フロッピーディスクドライブは、USBレコーダーでのMP3/WAV録音には使用できません。SMF/内部ソング、レジストレーションのファイル保存にのみ使用できます。
- USB対応の記憶装置（フラッシュメモリー、フロッピーディスクドライブ）動作確認済みUSB機器については、ご購入の前に弊社ホームページにてご確認ください。動作確認済み以外のUSB機器（マウス、コンピューターのキーボード、ハブなど）は、接続しても使えません。
- USB記憶装置の中には、この楽器で使用する前にフォーマットが必要なものがあります。USB［TO DEVICE］端子にUSB記憶装置を接続したとき（またはUSB記憶装置にフロッピーディスクなどのメディアを挿入したとき）に、フォーマットを促すメッセージが表示された場合は、フォーマットを実行してください。フォーマットを実行すると、そのメディアの中身は消去されます。
  必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。
  他の機器で使用したUSBメモリには本機で表示されないデータが保存されている場合があります。フォーマットするときには十分ご注意ください。
- USB記憶装置を外すときは、保存/コピー/削除/フォーマットなどデータのアクセス中でないことをあらかじめ確認したうえで外してください。

困ったときは？

	症状	考えられる原因と解決方法	参照ページ
電源	電源が入らない	電源ケーブルが本体とACアダプターに正しく接続されていますか？ （コンセント側と本体側をご確認ください）	p. 15
	電源が突然切れた	「オートパワーオフ」機能が設定されていませんか？ （「電源セッティング」をご確認ください。）	p. 117
発音	電源が入っているのに、音が出ない	音量が0になっていませんか？	p. 15
		ヘッドホンが接続されていませんか？	p. 14
		スピーカーのスイッチがOFFになっていませんか？	p. 14
		ローカルコントロールがオフになっていませんか？	p. 112
	特定の演奏、特定の音域で音が歪む	ボリュームを大きくすると、演奏によっては音が歪む場合があります。その場合、音量を小さくして使用してください。	p. 15
		ラインアウト端子を使って外部ミキサー等を使用している場合は、ベーシックセッティングの「ラインアウトボリューム」の設定を、使用する外部機器に合わせて調節してください。	p. 77
	特定のピアノ音色で異音やノイズが聴こえる	本体の下に紙や薄い布等の異物がありませんか？	p. 15
		グランドピアノの音は様々な響きが複雑に混ざり合うことで豊かな音色を実現しています。それらの響きの中には、金属的な音やノイズ系の音も含まれています。また1鍵1鍵異なる響きをもっています。本機はピアノに限りなく近い音を実現させているため、このような音も聴こえることがあります。これは異常ではありません。 なお、本機はピアノ音や各種共鳴音を細かく調整することが可能です。 「コンサートチューナー」の下記の設定をご確認ください。 ノイズや金属的な音がする。→ ボイシング P.87、ダンパーレゾナンス P88、ダンパーノイズ P89 ピッチがずれて聴こえる。→ ユーザー音律 P.95	p. 84
	高音でダンパーが効かない	ピアノにおいて、一番高い領域の鍵盤18音には”ダンパー”という止音装置が付いておりません。ES7ではその機構を忠実に再現しているため、その鍵盤についてはダンパーペダルを踏んでも踏まなくても音が伸びますので、その場合は故障ではありません。	–
ヘッドホン	ヘッドホンの音量が小さい	ご使用のヘッドホンの仕様をご確認の上、ヘッドホンのインピーダンスが100Ω以下の場合は、ベーシックセッティングの「ヘッドホンボリューム」を、「オオキイ」に設定してください。	p. 76
USB	USBメモリが認識されない、または動作しない	動作確認されているUSBメモリをご使用下さい。（弊社ホームページから使用できるUSB装置を確認出来ます。）	p. 119
	USBメモリを挿したとき、しばらく時間がかかる	8Gバイト以上などの大容量のUSBメモリーを挿したとき、認識に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。	p. 119
MP3／WAV／SMFオーディオ	曲（MP3,WAVE）を再生しても音が出ない	USB AUDIO PLAYERのボリュームが0になっていませんか？	p. 55
		再生不可能なデータフォーマットである可能性があります。”オーディオ再生フォーマット仕様”の表をご確認ください。	p. 54
	USBメモリに保存されている曲が再生できない	再生不可能なデータフォーマットである可能性があります。”オーディオ再生フォーマット仕様”の表をご確認ください。	p. 54
		お使いのUSBメモリーの転送スピードが、オーディオファイル再生には不十分な可能性があります。USB2.0Hi-Speed規格に対応した他のUSBメモリーをお試しください。	p. 119
	USBメモリに保存されているSMFが変な音で再生される	ES7はGM規格には対応しておりません。一部のSMF（スタンダードMIDIファイル）は、GM機器と異なる音色で再生されることがありますが、故障ではありませんのでご了承ください。	p. 56
	MP3/WAVで録音したオーディオファイルの音量が小さすぎる、または大きすぎる（歪んでいる）	ベーシックセッティングの「オーディオ録音レベル」の設定を調節してください。	p. 78

デモ曲一覧

音色名	曲名	作曲者名
メインデモ	オリジナル	カワイ

PIANO 1		
コンサートグランド	オリジナル	カワイ
スタジオグランド	オリジナル	カワイ
メローグランド	ソナタ第30番	ベートーベン
ブライトピアノ	オリジナル	カワイ

PIANO 2		
コンサートグランド2	子犬のワルツ	ショパン
スタジオグランド2	オリジナル	カワイ
メローグランド2	亜麻色の髪の乙女	ドビュッシー
ロックピアノ	オリジナル	カワイ

E. PIANO		
クラシックE.ピアノ	オリジナル	カワイ
モダンE.ピアノ	オリジナル	カワイ

ORGAN		
ドローバーオルガン	オリジナル	カワイ
ジャズオルガン	オリジナル	カワイ
チャーチオルガン	コラール前奏曲“目覚めよ、と呼ぶ声あり”	バッハ

HARPSI / MALLETS		
ハープシコード	フランス組曲第6番	バッハ
ビブラフォン	オリジナル	カワイ
クラビ	オリジナル	カワイ

STRINGS / CHOIR		
スローストリングス	オリジナル	カワイ
シンセストリングス	オリジナル	カワイ
ストリングアンサンブル	四季“春”	ヴィヴァルディ
クワイア	オリジナル	カワイ
クワイア2	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
ファンタジー	オリジナル	カワイ

BASS		
ウッドベース	オリジナル	カワイ
フレットレスベース	オリジナル	カワイ
W.ベース&シンバル	オリジナル	カワイ

RHYTHM SECTION		
リズムセクションデモ	オリジナル	カワイ

* オリジナルデモ曲の楽譜は用意されておりませんので、ご了承ください。

送受信プログラムナンバー一覧

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時	マルチティンバーオン2の時		
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンクMSB	バンクLSB
PIANO 1				
コンサートグランド	1	1	121	0
スタジオグランド	2	1	121	1
メローグランド	3	1	121	2
ブライトピアノ	4	2	121	0
PIANO 2				
コンサートグランド2	5	1	95	16
スタジオグランド2	6	1	95	17
メローグランド2	7	1	95	18
ロックピアノ	8	2	121	1
E. PIANO				
クラシックE.ピアノ	9	5	121	0
60's E.ピアノ	10	5	121	3
モダンE.ピアノ	11	6	121	0
クラシックE.ピアノ2	12	5	121	1
DRAWBAR				
ドローバーオルガン	13	17	121	0
ジャズオルガン	14	18	121	0
オクターブプリンシパル	15	20	95	24
チャーチオルガン	16	20	121	0
HARPSI / MALLETS				
ハープシコード	17	7	121	0
ビブラフォン	18	12	121	0
クラビ	19	8	121	0
マリンバ	20	13	121	0
STRINGS / CHOIR				
スローストリングス	21	45	95	1
シンセストリングス	22	49	95	8
メローストリングス	23	49	95	1
ストリングアンサンブル	24	49	121	0
クワイア	25	54	95	53
クワイア2	26	53	121	0
ファンタジー	27	89	121	0
ファンタジー2	28	100	121	0
BASS & GUITAR				
ウッドベース	29	33	121	0
エレクトリックベース	30	34	121	0
フレットレスベース	31	36	121	0
W.ベース&シンバル	32	33	95	1

音色名	マルチティンバーオン1の時	マルチティンバーオン2の時		
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンクMSB	バンクLSB
MIDI受信のみ				
コンサート グランド RS	33	1	95	22
スタジオ グランド RS	34	1	95	23
スタジオ グランド 2 RS	35	1	95	24
クラシック E. ピアノ RS	36	5	95	3
ビブラフォン RS	37	12	121	1
ストリング アンサンブル RS	38	49	95	2
ウッドベース RS	39	33	95	2
エレクトリックベース RS	40	34	95	1
フレットレス ベース RS	41	36	95	1
ドローバー オルガン 3 RS	42	17	95	1
ジャズ オルガン RS	43	18	95	1
パーカス オルガン RS	44	18	121	1
ロック オルガン RS	45	19	121	0
ナイロン ギター RS	46	25	121	0
バラード ギター RS	47	26	95	6
モダン ジャズ ギター RS	48	27	95	10
カッティング ギター RS	49	28	95	3
カッティング ギター 3 RS	50	28	95	5
ミュート ギター RS	51	29	121	0
オーバードライブギター RS	52	30	121	0
ウッドベース 4 RS	53	33	95	5
エレクトリックベース 3 RS	54	34	95	6
フィンガースラップベース RS	55	34	121	1
ピックベース RS	56	35	121	0
シンセ ベース 2 RS	57	40	121	0
シンセ ベース 4 RS	58	40	121	1
スフォルツァンド ストリングス RS	59	49	95	9
ストリング アンサンブル 2 RS	60	50	121	0
ユーロ ヒット RS	61	56	121	3
シンセ ブラス RS	62	63	121	0
ジャンプ ブラス RS	63	63	121	3
シーケンス アナログ RS	64	82	121	4
ブライト ウオーム パッド RS	65	90	95	1
ボウド パッド RS	66	93	121	0
マルチ スイープ RS	67	96	95	1
ブライトネス 2 RS	68	101	95	1
ギター カッティング ノイズ RS	69	121	121	1
ギター カッティング ノイズ 2 RS	70	121	95	1
アナログ セット RS	71	d26	-	-
アンビエンス セット RS	72	d33	-	-
プラチナム セット RS	73	d1	-	-
バラード セット RS	74	d9	-	-

* RS = Rhythm Section/マルチティンバーオンの時のみ選べます。

付録

ドラム音色一覧

		アナログ セット RS	アンビエンス セット RS	プラチナム セット RS	バラード セット RS
	C#	Snare Roll	Snare Roll	Snare Roll	Snare Roll
	D	Finger Snap	Finger Snap	Finger Snap	Finger Snap
	D#	High Q	High Q	High Q	High Q
	E	Slap	Slap	Slap	Slap
	F	Scratch Push	Scratch Push	Scratch Push	Scratch Push
	F#	Scratch Pull	Scratch Pull	Scratch Pull	Scratch Pull
	G	Sticks	Sticks	Sticks	Sticks
	G#	Square Click	Square Click	Square Click	Square Click
	A	Metronome Click	Metronome Click	Metronome Click	Metronome Click
	A#	Metronome Bell	Metronome Bell	Metronome Bell	Metronome Bell
	B	Analog BD2	Ambi BD2	Plat BD2	Bala BD2
C1	C	Analog BD1	Ambi BD1	Plat BD1	Bala BD1
	C#	Analog Rim	Ambi Rim	Plat Rim	Plat Rim
	D	Analog SD1	Ambi SD1	Plat SD1	Bala SD1
	D#	Hand Clap	Ambi Clap	Ambi Clap	Ambi Clap
	E	Analog SD2	Ambi SD2	Plat SD2	Bala SD2
	F	Analog LowTom2	AmbiLowTom2	FunkLowTom2	FunkLowTom2
	F#	Analog HHC	Ambi HHC	Funk HHC	Funk HHC
	G	Analog Low Tom1	AmbiLowTom1	FunkLowTom1	FunkLowTom1
	G#	Analog HHP	Ambi HHP	Funk HHP	Funk HHP
	A	Analog Mid Tom2	AmbiMidTom2	FunkMidTom2	FunkMidTom2
	A#	Analog HHO	Ambi HHO	Funk HHO	Funk HHO
	B	Analog Mid Tom1	AmbiMidTom1	FunkMidTom1	FunkMidTom1
C2	C	Analog Hi Tom2	AmbiHiTom2	FunkHiTom2	FunkHiTom2
	C#	Analog Crash1	Ambi Crash1	Funk Crash1	Ambi Crash1
	D	Analog Hi Tom1	AmbiHiTom1	FunkHiTom1	FunkHiTom1
	D#	Ride Cymbal 1	Ambi Ride1	Ambi Ride1	Ambi Ride1
	E	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal
	F	Ride Cup	Ambi Cup	Ambi Cup	Ambi Cup
	F#	Tambourine	Tambourine	Tambourine	Tambourine
	G	Splash Cymbal	Funk Splash	Funk Splash	Funk Splash
	G#	Analog Cowbell	Cowbell	Cowbell	Cowbell
	A	Crash Cymbal 2	Funk Crash2	Funk Crash2	Funk Crash2
	A#	Vibra-slap	Vibra-slap	Vibra-slap	Vibra-slap
	B	Ride Cymbal 2	Ambi Ride2	Ambi Ride2	Ambi Ride2
C3	C	High Bongo	High Bongo	High Bongo	High Bongo
	C#	Low Bongo	Low Bongo	Low Bongo	Low Bongo
	D	Analog Hi Conga	Mute Hi Conga	Hi Conga	Hi Conga
	D#	Analog Mid Conga	Open Hi Conga	Mid Conga	Mid Conga
	E	Analog Low Conga	Low Conga	Low Conga	Low Conga
	F	High Timbale	High Timbale	High Timbale	High Timbale
	F#	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale
	G	High Agogo	High Agogo	High Agogo	High Agogo
	G#	Low Agogo	Low Agogo	Low Agogo	Low Agogo
	A	Cabasa	Cabasa	Cabasa	Cabasa
	A#	Analog Maracas	Maracas	Maracas	Maracas
	B	Short Whistle	Short Whistle	Short Whistle	Short Whistle
C4	C	Long Whistle	Long Whistle	Long Whistle	Long Whistle
	C#	Short Guiro	Short Guiro	Short Guiro	Short Guiro
	D	Long Guiro	Long Guiro	Long Guiro	Long Guiro
	D#	Analog Claves	Claves	Claves	Claves
	E	Hi Wood Block	Hi Wood Block	Hi Wood Block	Hi Wood Block
	F	Low Wood Block	Low Wood Block	Low Wood Block	Low Wood Block
	F#	Mute Cuica	Mute Cuica	Mute Cuica	Mute Cuica
	G	Open Cuica	Open Cuica	Open Cuica	Open Cuica
	G#	Mute Triangle	Mute Triangle	Mute Triangle	Mute Triangle
	A	Open Triangle	Open Triangle	Open Triangle	Open Triangle
	A#	Shaker	Shaker	Shaker	Shaker
	B	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell
C5	C	Bell Tree	Bar Chimes	Bar Chimes	Bar Chimes
	C#	Castanets	Castanets	Castanets	Castanets
	D	Mute Surdo	Mute Surdo	Mute Surdo	Mute Surdo
	D#	Open Surdo	Open Surdo	Open Surdo	Open Surdo

リズム名一覧

ビート/音楽ジャンル	リズム名
16th スウィング	ファンクシャッフル 1
	ファンクシャッフル 2
	ヒップ ホップ 1
	ヒップ ホップ 2
	ヒップ ホップ 3
	ヒップ ホップ 4
	16 シャッフル 1
	16 シャッフル 2
	16 シャッフル 3
16th ファンク	ファンキービート 1
	ファンキービート 2
	ファンキービート 3
	ファンク 1
	ファンク 2
	ファンク 3
16th ストレート	ジャズ ファンク
	16 ビート 1
	16 ビート 2
	16 ビート 3
	16 ビート 4
	リム ビート
	ロール ビート
	ライト ライド1
	デキシーロック
16th ラテン	スルド サンバ
	ラテン グルーブ
	ライト サンバ
	ソンゴ
	サンバ
	メレンゲ
16th ダンス／テクノ	ファンキービート 4
	16 ビート 5
	ディスコ 1
	ディスコ 2
	テクノ 1
	テクノ 2
	テクノ 3
	ヘヴィ テクノ
16th バラード	バラード 1
	バラード 2
	バラード 3
	バラード 4
	バラード 5
	ライト ライド 2
	エレクトロポップ1
	エレクトロポップ2
	16 シャッフル 4
8th バラード	スロー ジャム
	スロー ロック
	R&B バラード
	50'sトリプレット
	R&B トリプレット

ビート/音楽ジャンル	リズム名
8th ストレート	8 ビート 1
	8 ビート 2
	スムース ビート
	ポップ 1
	ポップ 2
	ライド ビート
	スリップ ビート
8th ロック	ジャズ ロック
	8 ビート 3
	ロック ビート 1
	ロック ビート 2
	ロック ビート 3
	ロック ビート 4
	ブルース/ロック
	ヘヴィ ビート
	ハード ロック
	サーフ ロック
	リズム&ブルース
8th スウィング	モータウン 1
	ファスト シャッフル
	モータウン 2
	ゴスペルシャッフル
	ラグタイム
	カントリー&ウェスタン
トリプレット／ワルツ	3レン ロック 1
	3レン ロック 2
	ベンベ
	ロック シャッフル
	ブギ
	トリプレット 1
	トリプレット 2
	レゲエ
	ゴスペル
	ワルツ
ジャズ	H.H. スウィング
	ライド スウィング
	ファスト4ビート
	アフロ キューバン
	ジャズ ワルツ 1
	ジャズ ワルツ 2
	5/4 スウィング
ラテン	H.H. ボサノバ
	ライド ボサノバ
	ビギン
	マンボ
	チャ チャ
	タンゴ
	ハバネラ

コード名一覧

リズムセクション機能（36ページ）で、コード進行を演奏する時に使います。

●印の鍵盤を押さえると、各コードネームのコードが演奏できます。Majコード、min、M7、7の各コードは、★印の鍵盤を押さえるだけでも、コードが演奏できます。押さえる鍵盤の音域は、低音側（F#2から下）であればどこでも構いません。

コード名	押さえ方	コード名	押さえ方	コード名	押さえ方
C Maj		D♭ Maj (C♯)		D Maj	
C sus4		D♭ sus4 (C♯)		D sus4	
C aug		D♭ aug (C♯)		D aug	
C min		D♭ min (C♯)		D min	
C M7		D♭ M7 (C♯)		D M7	
C 6		D♭ 6 (C♯)		D 6	
C m7		D♭ m7 (C♯)		D m7	
C mM7		D♭ mM7 (C♯)		D mM7	
C m6		D♭ m6 (C♯)		D m6	
C 7		D♭ 7 (C♯)		D 7	
C 7(♭5)		D♭ 7(♭5) (C♯)		D 7(♭5)	
C 7(♯5)		D♭ 7(♯5) (C♯)		D 7(♯5)	
C 7sus4		D♭ 7sus4 (C♯)		D 7sus4	
C m7(♭5)		D♭ m7(♭5) (C♯)		D m7(♭5)	
C dim		D♭ dim (C♯)		D dim	

コード名	押さえ方
E♭ Maj (D♯)	
E♭ sus4 (D♯)	
E♭ aug (D♯)	
E♭ min (D♯)	
E♭ M7 (D♯)	
E♭ 6 (D♯)	
E♭ m7 (D♯)	
E♭ mM7 (D♯)	
E♭ m6 (D♯)	
E♭ 7 (D♯)	
E♭ $7^{(\flat 5)}$ (D♯)	
E♭ $7^{(\sharp 5)}$ (D♯)	
E♭ 7sus4 (D♯)	
E♭ $m7^{(\flat 5)}$ (D♯)	
E♭ dim (D♯)	

コード名	押さえ方
E Maj	
E sus4	
E aug	
E min	
E M7	
E 6	
E m7	
E mM7	
E m6	
E 7	
E $7^{(\flat 5)}$	
E $7^{(\sharp 5)}$	
E 7sus4	
E $m7^{(\flat 5)}$	
E dim	

コード名	押さえ方
F Maj	
F sus4	
F aug	
F min	
F M7	
F 6	
F m7	
F mM7	
F m6	
F 7	
F $7^{(\flat 5)}$	
F $7^{(\sharp 5)}$	
F 7sus4	
F $m7^{(\flat 5)}$	
F dim	

コード名一覧

コード名	押さえ方
G♭ Maj (F♯)	
G♭ sus4 (F♯)	
G♭ aug (F♯)	
G♭ min (F♯)	
G♭ M7 (F♯)	
G♭ 6 (F♯)	
G♭ m7 (F♯)	
G♭ mM7 (F♯)	
G♭ m6 (F♯)	
G♭ 7 (F♯)	
G♭ 7$^{(\flat 5)}$ (F♯)	
G♭ 7$^{(\sharp 5)}$ (F♯)	
G♭ 7sus4 (F♯)	
G♭ m7$^{(\flat 5)}$ (F♯)	
G♭ dim (F♯)	

コード名	押さえ方
G Maj	
G sus4	
G aug	
G min	
G M7	
G 6	
G m7	
G mM7	
G m6	
G 7	
G 7$^{(\flat 5)}$	
G 7$^{(\sharp 5)}$	
G 7sus4	
G m7$^{(\flat 5)}$	
G dim	

コード名	押さえ方
A♭ Maj (G♯)	
A♭ sus4 (G♯)	
A♭ aug (G♯)	
A♭ min (G♯)	
A♭ M7 (G♯)	
A♭ 6 (G♯)	
A♭ m7 (G♯)	
A♭ mM7 (G♯)	
A♭ m6 (G♯)	
A♭ 7 (G♯)	
A♭ 7$^{(\flat 5)}$ (G♯)	
A♭ 7$^{(\sharp 5)}$ (G♯)	
A♭ 7sus4 (G♯)	
A♭ m7$^{(\flat 5)}$ (G♯)	
A♭ dim (G♯)	

コード名	押さえ方
A Maj	
A sus4	
A aug	
A min	
A M7	
A 6	
A m7	
A mM7	
A m6	
A 7	
A 7(♭5)	
A 7(♯5)	
A 7sus4	
A m7(♭5)	
A dim	

コード名	押さえ方
B♭ Maj (A♯)	
B♭ sus4 (A♯)	
B♭ aug (A♯)	
B♭ min (A♯)	
B♭ M7 (A♯)	
B♭ 6 (A♯)	
B♭ m7 (A♯)	
B♭ mM7 (A♯)	
B♭ m6 (A♯)	
B♭ 7 (A♯)	
B♭ 7(♭5) (A♯)	
B♭ 7(♯5) (A♯)	
B♭ 7sus4 (A♯)	
B♭ m7(♭5) (A♯)	
B♭ dim (A♯)	

コード名	押さえ方
B Maj	
B sus4	
B aug	
B min	
B M7	
B 6	
B m7	
B mM7	
B m6	
B 7	
B 7(♭5)	
B 7(♯5)	
B 7sus4	
B m7(♭5)	
B dim	

プリセットコードパターン一覧

リズムセクションのプリセットコード機能（45ページ）で使われているコード進行です。

コードパターンは、8、12、16小節のいずれかでできています。1小節2拍ごと表記してあり、空白は前のコードと同じであることを表わしています。ただし、ディスプレイ表示のコード名とは一部異なり簡略化してある場合があります。また、一部のコードパターンにD/Cのような表記があります。この場合、コードはDですがベースパートはC音で鳴ります。

表示名	小節数	コードパターン															
		1 (9)		2 (10)		3 (11)		4 (12)		5 (13)		6 (14)		7 (15)		8 (16)	
コード1	8	CM7		Bm7(♭5)	B♭7	Am7		Gm7	C7	FM7		Em7	A7	Dm7		G7sus4	G7
コード2	12	F♯m7(♭5)		B7		Em7		A7		F♯m7(♭5)		B7		Em7		A7	
		Dm7				G7sus4											
コード3	8	C								F							
コード4	8	C7						F7		B♭7		G7		C7			
コード5	8	C7				A♭7		B♭7		C7				A♭7		G7	
コード6	16	Cm7						G7sus4		Cm7						G7(♯5)	
		E♭M7		D7(♯5)		G7sus4		G7		Cm7		F7		B♭M7		G7(♯5)	
コード7	12	CM7	Am7	Dm7	G7sus4	CM7	Am7	Dm7	G7sus4	CM7	Am7	Dm7	G7sus4	CM7	Am7	Dm7	G7sus4
		Em7	Am7	Em7	Am7	Dm7		G7sus4									
コード8	8	CM7		Dm7		CM7		Dm7	G7	Gm7	C7	FM7		Fm7	B♭7	CM7	
コード9	8	C7				B♭7				C7				G7		F7	
コード10	16	C7				E♭7				F7				C7			
		C7				E♭7				F7				G7			
コード11	8	C7				F7		C7		C7				F7			G7
コード12	8	Cm7				F7				Cm7				F7			
コード13	8	A♭M7		D♭M7		Gm7		C7		A♭M7		Gm7		F♯dim		G7(♯5)	
コード14	8	A♭7		G7(♯5)		Cm7		F7		A♭7		G7(♯5)		F7			
コード15	8	C7								E♭7		F7		C7			
コード16	16	A♭M7				Gm7				A♭M7				Gm7		C7sus4	C7
		A♭M7				Gm7				A♭M7				G7sus4		G7	
コード17	8	C		CM7		C7		FM7		FmM7		CM7		F♯m7(♭5)		G7sus4	G7
コード18	8	Cm7				Dm7		Gaug		Cm7				Dm7		Gaug	
コード19	16	A♭M7		B♭7		E♭M7		A7		A♭M7		Gaug		Cm7		F7	
		A♭M7		B♭7		Gm7		C7		A♭M7		G7(♯5)		F7			
コード20	8	C				D/C				B♭/C				F/C			
コード21	8	C		G		B♭		F		A♭		E♭		Dm7		G7	
コード22	8	CM7		B7(♯5)	B7	B♭6		A7		A♭M7		Dm7	G7	CM7	Am7	Dm7	G7
コード23	8	A♭/B♭		CM7		A♭/B♭		E♭M7		BM7		B♭7		F/A	Dm7(♭5)/A♭	G7	G7(♯5)
コード24	8	C7						G7								C7	
コード25	8	F7				C7				F7				G7			
コード26	8	CM7		G7(♯5)		Gm7	C7	FM7		Fm7	B♭7	CM7		Am7	D7	G7	
コード27	8	C7sus4								B♭7sus4							
コード28	16	CM7				C7				CM7				C7			
		F♯m7(♭5)		B7		Em7		A7		F♯m7(♭5)		B7		Em7			
コード29	8	Cm	CmM7	Cm7	Am7(♭5)	A♭M7		G7(♯5)		Cm	CmM7	Cm7	Am7(♭5)	A♭M7		G7(♯5)	
コード30	16	Fm7		B♭7		E♭M7		A♭M7		Dm7(♭5)		G7(♯5)		Gm7(♭5)		C7	
		Fm7		B♭7		E♭M7		A♭M7		Dm7(♭5)		G7(♯5)		Cm7			
コード31	8	C		Dm		G	F	C		A7		Dm		G	F	C	
コード32	8	C		G7		Am		Am7/G		F		D7		G7			
コード33	8	C		G7		F				D7		G7		Am			
コード34	16	C7				F7				C7				F7			
		G7		F7		G7		F7		C7							
コード35	8	C		A♭M7		B♭		Gm7		C		A♭M7		B♭		Gm7	
コード36	8	A♭M7				E♭M7				A♭M7				E♭M7		D7	D♭M7
コード37	16	C		Em7		Fm7		C				Em7		Fm7		C	
		Am7		Em7		Am7		G7		Am7		Em7		G7sus4		G7	
コード38	8	Em7				Dm7				Em7				Dm7			
コード39	8	C7								B♭7sus4							
コード40	8	C7				B♭m7		B♭7		C7				B♭m7		D♭7	
コード41	8	C7		B♭/C		A♭/B♭		B♭		C7		B♭/C		A♭/B♭		B♭	
コード42	8	C7				Cm7		Gm7/C		F/C		A♭/C		Gsus4/C			
コード43	8	C7				E♭7		D7		F7		E7		A7			
コード44	12	FM7				Bm7(♭5)				Em7				E♭M7			
		Dm7		G7		C6											
コード45	8	C		Am		F		C	G	C		Am		F		G7	
コード46	8	Em7		Am7		Dm7		G7		Em7		A7		Dm7		G7	
コード47	8	FM7		Em7		FM7		Am7		Fm7	B♭7	E♭M7	A♭M7	Dm7		G7sus4	
コード48	8	FM7		Em7		FM7		Em7	C7sus4	FM7		Em7		FM7	E7	Dm7	G7sus4
コード49	8	CM7		FM7		CM7		FM7		Bm7	E7	AM7		GM7		FM7	G7sus4
コード50	8	A♭M7		Gm7		B♭m7		A♭M7	A♭7	D♭M7		Cm7		Dm7(♭5)		G7	

表示名	小節数	コードパターン															
		1 (9)		2 (10)		3 (11)		4 (12)		5 (13)		6 (14)		7 (15)		8 (16)	
コード51	8	C		G/B		Gm/B♭		F/A		A♭6		C/G		F#m7(♭5)		G7	
コード52	8	F		F#dim		C/G		E7/G#		Am7		D7		Dm7		G7sus4	G7
コード53	8	CM7		B♭M7		CM7		B♭M7		Am7		D7		Dm7		G7	G7(#5)
コード54	8	F#m7(♭5)		F7		Em7		A7	A7(#5)	Dm7		G7	G7(#5)	CM7		Gm7	C7
コード55	8	FM7		FmM7		Em7	E7	Am7		Dm7		G7sus4		CM7			
コード56	8	CM7		FM7		Bm7(♭5)	E7	Am7	C7	FM7		Em7	Am7	Dm7		G7sus4	G7
コード57	8	C	G/B	F/A	C/G	F	C/E	D7/F#	G7	C	G/B	F/A	C/G	D7/F#	D7	G7sus4	G7
コード58	8	CM7		FM7		Dm7		G7sus4	G7	FM7	G7	Em7	Am7	Dm7		G7sus4	G7
コード59	8	FM7		CM7		FM7		CM7		Em7(♭5)	A7	Dm7		Fm7		G7sus4	G7
コード60	8	C		F		C		F			Am	Dm		G			
コード61	8	C		F		C		F			G	Am		F	G	C	
コード62	8	C	Am	Dm	G	C	Am	Dm	G	Em	Am	Dm	G7	Em	Am	Dm	G7
コード63	8	Cm7	Gm7	Cm7	Gm7	Cm7	Gm7	Cm7	Gm7	Fm7				G7	A♭7	G7	
コード64	8	C		CM7		C7		F		Dm7		Am7		D7		G7	
コード65	16	Cm7				F7				Cm7				F7			
		Fm7		B♭7		Cm7		C7		Fm7		F#dim		G7(#5)			
コード66	8	C				Am				Dm		G		C			
コード67	16	Am7		D7		G7sus4		C		Am7		D7		G7sus4		C	
		Fm7		E7		Am7		D7		G7sus4				C			
コード68	16	C7								F7							
		C7												G7		F7	
コード69	8	Cm7								B♭7sus4							
コード70	8	Dm7				E♭7sus4				Dm7				E♭7sus4		E♭sus4	
コード71	8	C7				F7				B♭7		G7		C7		F7	
コード72	8	C7				E♭7				B♭		F		C		G7	
コード73	12	C				F				C				G		F	
		C		F		C		F									
コード74	8	Cm							B♭	A♭7				Cm		D♭7	
コード75	16	C				F7				C				B♭		C	
		G7				C7				G7				C7			
コード76	8	C7				B♭7				C7				B♭7		F7	
コード77	8	C		G7		C7		F7		C		F	G7	C	F	C	G7
コード78	16	C				CM7				C7				F			
		Dm7		G7		Em7		Am7		Dm7		G7		C			
コード79	8	C7		F7		C7		F7		D7		G7		D7		G7	
コード80	16	C		G7				C				G7				C	
		F		C		G7		C	C7	F		C		D7		G7	
コード81	16	C		C7		F		C						G7			
		C		C7		F		C				G7		C			
コード82	8	C7		F7		C7				F7		Dm7		G7		F7	
コード83	8	C				E♭		D		F				A♭		G	
コード84	8	C7sus4	C7	C7sus4		B♭7sus4	B♭7	B♭7sus4		A♭7sus4	A♭7	A♭7sus4		G7sus4	G7	G7sus4	
コード85	8	C				G				F			B♭	C		G	
コード86	12	C6						C7		F7				C6			
		G7		F7		C6											
コード87	8	C	G	Em7	Am7	Dm7	D7	G7		C	G	Em7	A7	Dm7	G7	C	
コード88	16	C		CM7	C7	F		Fm6		Em7		A7		Dm7		G7	
		C		CM7	C7	F		Fm6		Em7	A7	Dm7	G7	C	Fm6	C	
コード89	16	F		G7		Em7		Am7		Dm7		G7		C	CM7	C7	
		F		Fm6		Em7		A7		D7sus4		D7		G7sus4		G7	
コード90	8	C		F		C		G7		C		F		C	G7	C	
コード91	16	C				G				B♭				Am			
		F				C				D7				G7			
コード92	12	C9		F13		C9				F13				C9		A7(♭13)	
		Dm9		G13		C9	A7(♭13)	Dm9	G13								
コード93	16	C		CM7		C7		FM7		Dm		DmM7		Dm7		G7	
		C		CM7		Em7(♭5)		A7		Dm7		Fm7		Em7	A7	Dm7	G7
コード94	16	Fm7		B♭7		E♭M7		E♭6		E♭m7		A♭7		D♭M7		D♭6	
		C#m7		F#7		Bm7		E7		Am7		D7		Dm7		G7	
コード95	16	Cm7		Fm7		B♭7		E♭M7	A7	A♭M7		Dm7(♭5)		G7	G7(#5)	Cm7	C7
		Fm7		B♭7		Gm7		C7	C7(#5)	Fm7		B♭7		E♭6		G7	G7(#5)
コード96	8	Cm7															
コード97	8	A♭m7	D♭7	G♭M7	C♭M7	A♭m7	D♭7	G♭M7		Fm7	B♭7	E♭M7	A♭M7	Fm7	B♭7	G7	G7(#5)
コード98	16	Cm7	Cdim	B♭M7		Cm7	Cdim	B♭M7		Gm7		C7	C7(#5)	Fm7		Fm7(♭5)	
		E♭M7	Dm7	D♭M7	Cm7	E♭M7	Dm7	D♭M7	Cm7	G7		G7(#5)		Cm6		Cm7	
コード99	16	C		D7		Dm7	G7	C		C		D7		Dm7	G7	C	
		C	CM7	C7		F	Fm	C		C	A7	D7		Dm7	G7	C	
コード100	16	Cm		G7				Cm				G7				Cm	
		Fm		Cm		G7		Cm	C7	Fm		Cm		D7		G7	

付録

主な仕様

項目		内容
鍵盤		88鍵　レスポンシブ・ハンマー・アクション2（RH2） アイボリータッチ、レットオフフィール
音源		プレグレッシブ・ハーモニック・イメージング（PHI）　88鍵ステレオサンプリング
音色	32音色 MIDI のみ： 38 音色（RS 音色） +4 ドラムキット	PIANO1：コンサートグランド、スタジオグランド、メローグランド、ブライトピアノ PIANO2：コンサートグランド2、スタジオグランド2、メローグランド2、ロックピアノ E.PIANO：クラシックE.ピアノ、60's E.ピアノ、モダンE.ピアノ、クラシックE.ピアノ2 ORGAN：ドローバーオルガン、ジャズオルガン、オクターブプリンシパル、チャーチオルガン HARPSI / MALLETS：ハープシコード、ビブラフォン、クラビ、マリンバ STRINGS / CHOIR：スローストリングス、シンセストリングス、メローストリングス、 ストリングアンサンブル、クワイア、クワイア2、ファンタジー、ファンタジー2 BASS：ウッドベース、エレクトリックベース、フレットレスベース、W.ベース&シンバル
同時発音数		最大256音（音色により異なる）
演奏モード		デュアル、スプリット、4ハンズ（連弾演奏）　*音量バランス調整可
リバーブ	タイプ：	ルーム、ラウンジ、スモールホール、コンサートホール、ライブホール、カテドラル
	パラメーター：	リバーブタイム、リバーブデプス
エフェクト	タイプ：	ステレオディレイ、ピンポンディレイ、トリプルディレイ、コーラス、クラシックコーラス、トレモロ、 クラシックトレモロ、オートパン、クラシックオートパン、フェイザー、ロータリー、 コンビネーションエフェクトx4
	パラメーター：	ドライ/ウェット、タイム、スピード、フィードバック、ハイダンプ、デプスなど（エフェクトタイプによる）
アンプシミュレーター	タイプ：	S.Case I、S.Case II、L.Cabinet
	パラメーター：	ドライブ、レベル、EQロー、EQハイ
コンサートチューナー	タッチカーブ：	ライト+、ライト、ノーマル、ヘビー、ヘビー+、オフ、ユーザー1、ユーザー2
	ボイシング：	ノーマル、メロー1、メロー2、ダイナミック、ブライト1、ブライト2
	ピアノエフェクト：	ダンパーレゾナンス、ダンパーノイズ、ストリングレゾナンス、キーオフエフェクト、 キーアクションノイズ、ハンマーディレイ
	音律設定：	平均律（ピアノ）、純正律〈長調/短調〉、ピタゴラス音律、中全音律、ヴェルクマイスター第III法、 キルンベルガー第III法、平均律（フラット）、平均律（ストレッチ）、ユーザー音律、ストレッチチューニング、 音律の主音
内部レコーダー		2パート x 10ソング、総記憶音数　約90,000音
USBファンクション	再生：	MP3（ビットレート：8k〜320kbps、サンプリング周波数：44.1kHz，48kHz，32kHz）、 WAV（44.1kHz、16bit）、SMF
	録音：	MP3（ビットレート：192kbps固定、サンプリング周波数：44.1kHz）、WAV（44.1kHz，16bit）
	その他：	オーディオ変換、内部ソング セーブ/ロード、SMF セーブ、レジストレーション セーブ/ロード、 ファイルリネーム、ファイルデリート、フォーマット
メトロノーム		1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子　*ボリューム/テンポ調整可
リズムセクション	スタイル：	100リズム（×2バリエーション）、4パート、100プリセットコード
	機能：	リズムボリューム、オートフィルイン、ワンフィンガーアドリブ、ACCモード、プリセットコード、 リズムパートセレクト
デモ曲		メインデモ、リズムセクションデモ、音色デモ x 25（計27曲）
その他機能		キー/ソングトランスポーズ、イコライザー、ウォールEQ、スピーカーボリューム、ヘッドホンボリューム、 ラインアウトボリューム、オーディオ録音レベル、チューニング、ダンパーホールド、4ハンズ、ユーザーメモリー、 ファクトリーリセット、ロワーオクターブシフト、ロワーペダル、スプリットバランス、レイヤーオクターブシフト、 レイヤーダイナミクス、デュアルバランス、MIDIチャンネル、プログラムナンバー送信、ローカルコントロール、 プログラムチェンジ送信のON/OFF、マルチティンバーモード、チャンネルミュート、オートパワーオフ、 スピーカーオン/オフ
ディスプレイ		16 文字 x 2 行　液晶ディスプレイ（LCD）
外部端子		ヘッドホン（2系統）、MIDI（IN，OUT）、USB端子（TO HOST，TO DEVICE）、LINE OUT（L/MONO，R）、LINE IN（ステレオミニ）、 DAMPER（for F-10H）、DAMPER/SOFT（for F-20）
スピーカー	スピーカー：	（8 x 12 cm）x 2
	出力：	15 W x 2
消費電力		35 W
寸法		136.5（W）x 36.5（D）x 15.0（H）cm
重量		22.0 kg

MIDIエクスクルーシブデータ一覧

1st バイト	2nd バイト	3rd バイト	4th バイト	5th バイト	6th バイト	7th バイト	8th バイト	9th バイト	10th バイト
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

バイト	ID	説明
1	F0	エクスクルーシブ・ステータス
2	40	KAWAI ID ナンバー
3	00 - 0F	MIDI チャンネル
4	10, 30	ファンクションナンバー（30：マルチティンバーオン / オフ）
5	04	電子ピアノ ID
6	02	CA/ES モデル ID
7	データ 1	下表参照
8	データ 2	
9	データ 3	
10	F7	エンド・オブ・エクスクルーシブ

データ 1	データ 2	データ 3	機能
00	00	-	マルチティンバーオフ
01	00	-	マルチティンバーオン 1
02	00	-	マルチティンバーオン 2
0F	00 - 7F	-	スプリットポイント
14	00 - 7F	-	デュアル / スプリットバランス
16	1F - 60	-	チューニング 40=440Hz
17	00, 7F	-	00：プログラムチェンジオフ、7F：プログラムチェンジオン
18	00 - 07	-	00：ライト、01：ノーマル、02：ヘビー、03：オフ、04：ライト +、 05：ヘビー +、06：ユーザー 1、07：ユーザー 2
19	00 - 03	-	ロワーオクターブシフト
20	00 - 1F	00 - 1F	デュアル、データ 2：主音色、データ 3：レイヤー音色
21	00 - 1F	00 - 1F	スプリット、データ 2：アッパー音色、データ 3：ロワー音色
22	00 - 1F	00 -1F	4 ハンズ、データ 2：アッパー音色、データ 3：ロワー音色
25	00 - 08	00 - 0B	データ 2：音律、データ 3：音律の主音
26	00, 7F	00 - 0F	マルチティンバー、データ 2：00（ミュート）、7F（プレイ）、データ 3：チャンネル

MIDIインプリメンテーションチャート

◇KAWAI［Model ES7］MIDIインプリメンテーションチャート

Date：March 2012 Version：1.0

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシックチャンネル	電源 ON 時	1	1	
	設定可能	1 - 16	1 - 16	
モード	電源 ON 時	モード 3	モード 1	電源 ON 時オムニオン。MIDI チャンネル設定操作によりオムニオフ。
	メッセージ	×	モード 1, 3	
	代用	＊＊＊＊＊＊＊＊＊	×	
ノートナンバー		9 - 120**	0 - 127	** トランスポーズ設定範囲を含みます。
	音域	＊＊＊＊＊＊＊＊＊	0 - 127	
ベロシティ	ノート・オン	○	○	
	ノート・オフ	○	○	
アフタータッチ	キー別	×	×	
	チャンネル別	×	×	
ピッチ・ベンド		×	×	
コントロールチェンジ	0, 32	○	○	バンクセレクト *1
	7	×	○	ボリューム
	10	×	○	パンポット
	11	×	○	エクスプレッション
	64	○	○	ダンパー
	66	○ *2	○	ソステヌート
	67	○ *3	○	ソフトペダル
プログラムチェンジ		○ 0-127	○	*1
	設定可能範囲	＊＊＊＊＊＊＊＊＊		
エクスクルーシブ		○	○	送信選択可能
コモン	ソングポジション	×	×	
	ソングセレクト	×	×	
	チューン	×	×	
リアルタイム	クロック	×	×	
	コマンド	×	×	
その他	ローカル ON/OFF	×	○	
	オールノートオフ	×	○（123 - 127）	
	アクティブセンシング	×	○	
	リセット	×	×	
備　考		*1 プログラムチェンジ対応表参照 *2 F-301（オプションの 3 本ペダル）接続時 *3 F-20（オプションの 2 本ペダル）、F-301 接続時		

モード 1：オムニオン、ポリ　　モード 2：オムニオン、モノ　　○：あり
モード 3：オムニオフ、ポリ　　モード 4：オムニオフ、モノ　　×：なし

株式会社 河合楽器製作所

電 子 楽 器 事 業 部

〒430-8665 浜 松 市 中 区 寺 島 町200番 地

TEL. 053-457-1277 / FAX. 053-457-1279

h t t p : / / w w w . k a w a i . c o . j p /

■ お問合せ先について

ご不明な点などがございましたら、下記のお客様相談室をご利用下さい。

◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp
電話受付時間　9：00〜12：00 / 13：00〜17：00
（土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。）

◆お客様サポート・お問合せフォーム

http://www.kawai.co.jpの「お客様サポート」よりお進みください。

故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店、もしくはお近くのフィールドサポート担当までご連絡ください。
詳細は同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」の冊子をご参照ください。

817438
KPSZ-0511-R101
Printed in Indonesia

2012 年 3 月発行